

令和3年度 消防年報



四日市市消防本部

はじめに

この年報は、四日市市及び受託する三重郡朝日町、川越町にかかるとる主な消防業務を令和3年中又は令和3年度を中心に収録し、将来の参考に資すると共に、広く消防事象を紹介するためにとりまとめたものです。

住民のみなさん及び関係者の方に広く活用され、本市消防行政に対する認識を一層深めていただければ幸いと存じます。

令和4年6月

四日市市消防本部

目 次

四日市市の位置	1
四日市市の沿革・消防概要	2
四日市市の地勢	3
四日市市消防の沿革	4~7
歴代消防長	7
四日市市消防機構図	8
総 務	
一 目 統 計（総務）	9
令和3年度・4年度消防費歳出予算	10
消防費に対する人口世帯当たり額	11
過去10年間の消防費の推移	11
消防職員の推移	12
消防職員特殊技能資格取得状況	12
階級別・所属別消防職員配置状況	13
消防職員年令別分布	14
消防職員勤続年数別分布	15
消防車両配置状況	16
消防用資機材配置状況	17
救急用資機材配置状況	17
職員研修実施状況	18
プリセプターシッププログラム	19~21
令和3年度主要記録	22
令和4年度消防重点事業	23・24
相互応援協定	25
警 防	
一 目 統 計（火災）	26
令和3年中の火災概要	27
火災概要	28
火災発生状況比較	29
出火率比較	29
地区別火災発生状況	30
月別・曜日別・時間帯別火災発生状況	31
出火原因別火災発生概況	32
過去10年間年別主な火災原因	33
過去10年間の火災発生状況	34
海上・沿岸防災等（IBK、上野マリタイム・ジャパン株式会社委託状況）	35
火災・救助以外の消防車両の出動	36
消防水利状況	37
開発行為に関する事前協議等	38
緊急消防援助隊の派遣体制	39
四日市市消防支援隊の活動状況	40
防災教育センター利用状況	41
四日市市防災指導員制度（指導状況）	42
防火・防災教室の経緯と現状	43
救助・救急	
一 目 統 計（救助）	44
救出・救助活動状況	45
水難救助隊の災害出動概要	46
一 目 統 計（救急）	47
令和3年中の救急業務の概要	48・49
救急概要	50
救急発生状況比較	51
過去10年間の救急発生状況	51
地区別救急出場状況	52
月別救急出場状況	53
応急手当の普及計画	54
応急手当普及啓発活動の状況	54
心肺機能停止傷病者の救命率	55

通信・気象

一 目 統 計 (通 信)	56
指令事務の共同運用・消防通信施設の概要	57
119番通報受付取扱状況	58
通信施設保有状況	59
無線配置状況	59
警報・注意報・情報等の発表状況	60

予 防

一 目 統 計 (予 防)	61
広報活動状況	62
広報用印刷物	62
建築同意状況及び防火対象物の推移	63
建築同意件数	63
消防用設備等届出状況	63
危険物仮貯蔵・仮取扱申請承認状況	63
危険物施設数及び設置許可数の推移	64
危険物関係事務処理状況	64
火災予防条例等に基づく届出事務処理状況	65
防火対象物状況(階層別)	66
防火対象物状況(消防用設備別)	67
防火対象物状況(地区別)	68
数量・類別危険物施設設置状況	69
地区別危険物施設設置状況	70
事業所等別危険物施設状況	71
コンビナート概要	72
特定防災施設	72
コンビナート防災体制	73・74
四日市臨海地区特定事業所配置図	75・76

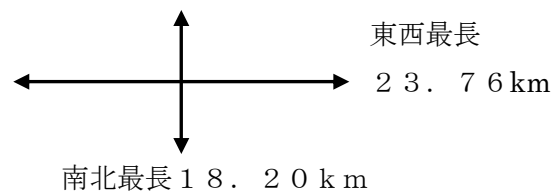
消 防 団

四日市市消防団の沿革	77・78
歴代消防団長	78
消防団員の配置状況	79
消防団員の状況	80
消防団員出動状況	81
消防団訓練・研修実施状況	81
サルビア分団活動状況	82
消防団防災支援員の登録状況	82

四日市市の位置



北緯 34° 57'
東経 136° 38'
面積 206.50km²



四日市市の沿革

四日市市は三重県の北部に位置し、西は鈴鹿山系、東は伊勢湾に面した温暖な地域です。すでに旧石器時代から人々が住み、市内には縄文から弥生時代の遺跡も数多く存在しています。市内各所に古墳が築かれ、なかでも志氏神社古墳は市内唯一の前方後円墳として知られています。8～10世紀には智積廃寺や上品寺の釈迦如来座像など四日市地域への仏教文化の広がりが認められ、また、多度神宮寺伽藍縁起并資財帳によれば条理が整備されていた様子うかがえ、平安から鎌倉時代には伊勢平氏の活躍の舞台でありました。それだけに鎌倉、南北朝、室町時代には時の指導者がその被官を北伊勢に配置しました。

1473年の外宮庁宣に「四ヶ市庭浦」の地名が出てきます。この頃すでに定期市「四日市」が立っていたことがうかがえます。江戸時代、市場町・湊町の四日市に「宿場町」「陣屋・代官所の町」が加わり、北勢の行政・商業の中心地として知られるようになりました。幕末から明治にかけ、菜種油・肥料の生産や取り引きの盛んな町として栄え、四日市港の修築を機に、生糸、紡績を中心とした繊維工業へ、さらに機械工業や化学工業の進出が相次ぎ、日本の近代工業化への歩みを模したかのような形で四日市地域が商工業の都市に進展しました。明治30年に市制を施行し、昭和5年に塩浜、海蔵の両村を合併して以来、周辺町村を併合し平成17年2月の楠町との合併で現在の市域になりました。昭和30年代以降石油化学工場等の進出は、大気汚染等の公害をもたらしましたが、今では環境浄化に努力し、自然との調和を目指した街づくりにまい進しています。

消防概要

本市消防体制は、消防本部に総務課・消防救急課・予防保安課・情報指令課・救急救命室・防災教育センターを設置し、市街地に中消防署・北消防署・南消防署の3消防署を置くとともに、海上・沿岸地域に港分署、市中央部に中央分署、市北部に北部分署、市南部に南部分署、市西部に西分署、北西出張所及び西南出張所を、受託地域の三重郡朝日町に北消防署朝日川越分署をそれぞれ配置して有事即応体制の確立を図っています。

これに対応する消防力として、消防職員381名、消防車両92台のほか、1消防団及び市内各地区に25分団・団員620名・27分団車両を配備しています。

また、南消防署の改築に着手するとともに、大規模な災害に対応するため緊急消防援助隊の三重県代表消防本部としても広域応援訓練に参加します。さらに、住民による自主防災組織の活性化を図り、住民と一体で安心・安全なまちづくりを目指します。

四日市市の地勢と消防機関の配置

(令和4年4月1日)

署別・地区別	面積 (km ²)	世帯数	人 口	人口密度(1km ² あたり)	
合 計	221.21	154,273	335,844	1,518	
中 消 防 署 管 内	小 計	68.09	62,803	132,967	1,953
	共 同	1.10	4,293	7,667	6,970
	同 和	0.12	347	703	5,858
	中 央	0.52	1,062	2,062	3,965
	港	1.80	942	1,548	860
	浜 田	3.00	6,774	11,848	3,949
	橋 北	2.62	2,716	5,313	2,028
	海 蔵	3.65	6,121	13,525	3,705
	常 磐	4.89	14,061	28,356	5,799
	川 島	7.89	4,800	11,679	1,480
	神 前	7.40	2,946	6,723	909
	桜	12.02	6,043	14,456	1,203
	県	11.25	2,712	6,569	584
	三 重	11.83	9,986	22,518	1,903
北 消 防 署 管 内	小 計	65.94	50,666	114,157	1,731
	羽 津	8.80	8,194	17,899	2,034
	富 田	4.88	5,858	12,449	2,551
	富洲原	2.02	3,904	8,456	4,186
	大矢知	6.89	9,452	21,065	3,057
	八 郷	10.21	5,405	12,569	1,231
	下 野	7.57	3,905	8,688	1,148
	保 々	10.86	2,767	6,734	620
	朝日町	5.99	4,227	11,014	1,839
	川越町	8.72	6,954	15,283	1,753
南 消 防 署 管 内	小 計	87.18	40,686	88,511	1,015
	塩 浜	8.30	3,182	6,015	725
	日 永	7.23	8,896	18,739	2,592
	四 郷	8.40	10,838	22,943	2,731
	内 部	12.31	7,722	18,401	1,495
	河原田	5.12	2,188	4,799	937
	小山田	18.35	1,929	4,314	235
	水 沢	19.63	1,152	2,928	149
	楠	7.84	4,779	10,372	1,323
四日市市	206.50	142,974	309,338	1,498	
受託2町	14.71	11,299	26,506	1,802	

四日市市消防の沿革

明治19年	四日市に初めて火防組1組が組織される 消防夫59人
明治20年	火防組12組 消防夫864人となる
明治24年	火防組が消防組と改名される
明治25年	消防組23組 消防夫1,396人となる
明治27年2月	勅令をもって消防規則が公布される
明治28年12月26日	各町自警消防組を統合し、新たに四日市町消防組として発足 四日市町消防組 第1番組 川原町、末永、浜一色(橋北地区) 第2番組 西町、久六町、比丘尻町、堅町、南町、北町、上新町 (共同地区) 第3番組 中町、境町、八幡町、中新町、四ツ谷新町、南新町 (同和地区) 第4番組 浜町、北条町、下新町、新町(同盟地区) 第5番組 蔵町、北納屋町、中納屋町、桶ノ町、袋町、高砂町、 稲葉町、南納屋町(港地区) 第6番組 浜田、赤堀(浜田地区) 配置人員 組頭1人 小頭6人 消防手193人 合計200人 配備器具 ポンプ6 大水桶12 小水桶64 梯子6 鳶口31 刺又6 釣瓶13 斧6 大縄6 纏6 旗6 高張提灯6 弓張提灯62 消口札6
明治30年	市制実施とともに四日市町消防組も市に引き継がれる
大正6年10月	第5番組(港地区)に初めてガソリンポンプを配置
大正12年1月	総ての組にガソリンポンプを配置
大正15年	初めて自動車ポンプを購入し、組頭直属のもとに自動車隊が登場
昭和5年	市域の拡大に伴って第7番組(海蔵地区) 第8番組(塩浜地区)が本市消防組に編入
昭和7年	本市上水道工事が完成し、消火栓355基を設置
昭和14年1月	政府は準戦時体制から戦時体制に切替え、警防団令を発令した
昭和14年4月1日	昭和6年頃に結成され、防空活動を行っていた防護団と消防組を合体一本化し、四日市警防団を設置した 警防団は消防組と同一区画の8分団とした 定員 622人(うち本部消防部16人) 分団に警防、消防、救護の3部を置く 初代警防団長 九鬼紋七氏
昭和15年1月16日	分団とは別に常備の本部消防部が組織され、部員が任命され事務所を市役所に置く 本部消防部定員16人(部長1副部長1警防員14) 警防団の装備 自動車ポンプ 5台(うち本部所属1台) 三輪自動車ポンプ1台 ガソリンポンプ2台 サイドカー1台(本部所属1台) 初代部長 東 平三氏
昭和15年4月16日	本部消防部の勤務体制を2部制24時間勤務とし、望楼見張勤務を始める
昭和15年6月4日	本部消防部にポンプ自動車配置 日産ポンプ自動車 29AT式KMC2段タービン26馬力 (警防団長 九鬼紋七氏の寄付)
昭和16年8月28日	本部消防部詰所に火災報知専用電話を設置(警察署より移転)
昭和16年	本市が富田町等2町3村を併合
昭和22年4月8日	千歳町に常備消防出張所を開所 ポンプ自動車2台配備 本部員7人(本部と輪転勤務)
昭和23年3月7日	消防組織法が施行され、消防団は大正6年から続いていた警察行政から分離し、自治体消防に形を変える
昭和24年3月29日	四日市市常備消防部を廃止し、四日市市消防本部を設置 消防職員55人 消防自動車4台(速消車1・普通消防車3) 初代消防長に吉田千九郎氏(四日市市長兼務) 就任
昭和26年6月20日	消防本部富田出張所を建設・開所 消防職員定員 70名
昭和29年5月8日	機構改革により消防本部を分離して四日市消防署を設置し、港、富田出張所をその傘下に統一した
昭和29年11月15日	吉田千九郎氏消防長を退任
昭和29年11月16日	2代目消防長に中村松次郎氏就任
昭和29年12月1日	消防本部の機構改革により総務・整備・消防・予防の4係を置く
昭和32年4月1日	消防職員定員 90名
昭和32年11月1日	消防と警察の特別援助協力協定を締結
昭和34年2月24日	消防本部、消防署合同庁舎を新築し移転
昭和35年4月1日	消防職員定員 91名
昭和35年12月15日	救急業務を開始
昭和36年3月31日	中村松次郎氏消防長を退任
昭和36年4月1日	消防職員定員 106名
昭和36年4月15日	3代目消防長に竹内鉄雄氏就任
昭和36年5月1日	機構改革により消防本部に次長を設け、総務・消防の2課、総務・整備・消防・予防の4係を置き、消防署に 総務・消防・予防の3係を置く 富田出張所を北出張所と改称
昭和37年1月20日	南出張所を開所
昭和38年4月1日	消防職員定員 125名
昭和38年5月24日	消防と海上保安部の船舶消防に関する業務協定締結
昭和39年4月1日	消防職員定員 139名
昭和39年10月1日	機構改革により四日市消防署を中消防署と改称、北出張所・南出張所をそれぞれ消防署に昇格

昭和40年10月1日	桜、保々分遣所を開所
昭和41年4月1日	消防職員定員 159名
昭和42年4月1日	消防職員定員 166名
昭和43年3月31日	竹内鉄雄氏消防長を退任
昭和43年4月1日	4代目消防長に富山光三氏就任 消防職員定員 171名
昭和43年7月1日	四日市市と楠町、川越町、朝日町の救急業務に関する応援協定を締結
昭和44年3月31日	一斉指令装置を設置
昭和44年4月1日	消防職員定員 176名
昭和45年4月1日	機構改革により、本部の2課4係にあらたに予防課を設け、総務・消防・予防の3課、庶務・装備・消防・通信・救急・予防・危険物の6係とした 中消防署港出張所を同署港分署に昇格 消防職員定員 185名
昭和45年5月21日	中消防署港分署に双胴型消防艇「あさかぜ」を配備
昭和46年4月1日	消防職員定員 190名
昭和46年4月6日	北消防署庁舎改築(鉄筋コンクリート造2階建、建築延面積760.31㎡、監視用テレビカメラ装置付)
昭和46年5月22日	消防と海上保安部の船舶消防に関する業務協定を改定締結
昭和47年3月31日	富山光三氏消防長を退任
昭和47年4月1日	5代目消防長に倉谷徳助氏就任
昭和49年4月1日	消防職員定員 191名
昭和49年6月4日	南消防署庁舎改築(鉄筋コンクリート造2階建、建築延面積759.9㎡)
昭和50年3月31日	倉谷徳助氏消防長を退任
昭和50年4月4日	6代目消防長に松村佳美氏就任 消防職員定員 193名
昭和50年10月1日	小山田分遣所を開所
昭和50年10月22日	四日市市、桑名市、鈴鹿市、亀山市及び長島町の高速度道路における消防相互応援協定を締結
昭和51年4月1日	消防職員定員 194名
昭和51年4月16日	機構改革により、本部予防課に指導査察係を置く
昭和52年3月25日	石油コンビナート等災害防止法に基づき、高所放水車・大型化学車・泡原液搬送車の3点セットを 中消防署に配備
昭和52年4月1日	消防職員定員 197名
昭和52年7月1日	機構改革により、本部に警防技監・主幹・主任を、消防署に副署長・主任の設置制度及び中消防署に 消防第3係を設け、本部通信救急係を通信指令室に改めた
昭和53年3月31日	通信指令室に防災指令装置を設置 松村佳美氏消防長を退任
昭和53年4月1日	消防職員定員 200名
昭和53年4月5日	7代目消防長に渡邊靖三氏就任
昭和53年12月23日	四日市市と楠町、川越町、朝日町の救急業務に関する応援協定を改定締結
昭和54年4月1日	消防職員定員 207名
昭和55年4月1日	機構改革により、本部の主幹を課長補佐に改め主任を廃止し、総務課に企画係を、消防課に防災指導係 を置き、通信指令室を指令第1及び第2係に改めた 消防署の副署長を署長補佐に改め、主任を廃止した 消防職員定員 215名
昭和56年2月26日	中消防署に救助工作車を配備
昭和56年4月1日	消防職員定員 222名
昭和57年4月1日	消防職員定員 227名
昭和57年12月1日	三重県救急医療情報システム地域救急医療情報センターを開設し、運用開始
昭和58年4月1日	消防職員定員 232名
昭和58年9月30日	渡邊靖三氏消防長を退任
昭和58年10月1日	8代目消防長に山口博氏就任
昭和59年4月1日	機構改革により、各消防署の庶務係を予防係に統合し、北・南消防署に消防第3係を置き、 総務課庶務係を総務係に、装備係を施設装備係に、消防課消防係を警防係に、防災指導係を防災係に、 予防課予防係を建築物係にそれぞれ改めるとともに主幹・主査及び副主査制度を設けた 消防職員定員 236名
昭和59年10月31日	消防本部・中消防署合同庁舎改築(本館棟、鉄骨鉄筋コンクリート造5階一部6階建、建築延面積3,829.09㎡)
昭和60年4月1日	消防職員定員 235名
昭和60年10月18日	桜分遣所改築
昭和62年4月1日	機構改革により消防本部に副参事を設け、研修所及び総務課企画係を統合し企画研修室とした 消防課指令係に第3係を増設し、3係制とした 消防職員定員 240名
昭和62年11月30日	中消防署港分署に配備の消防艇「あさかぜ」を単胴船に更新
昭和63年3月31日	桜分遣所を廃止した
昭和63年4月1日	中消防署西分署を開設(鉄筋コンクリート造平屋建 延べ面積390.85㎡)、4月8日から業務開始、 4月18日竣工式を挙行 機構改革により、西分署に消防第1係、消防第2係、消防第3係を設置し 港分署水上係を水上第1係、水上第2係、水上第3係に改めた 海上分団に普通ポンプ自動車(旧第4号車)を配備した
平成元年10月2日	消防業務のOAシステム(予防)の運用を開始した
平成2年3月31日	山口博氏消防長を退任
平成2年4月2日	9代目消防長に島村隆氏就任
平成2年10月1日	「一人暮らしの老人に対する緊急通報事業」の運用を開始した
平成2年12月6日	中消防署にはしご付消防自動車(45m)を配備
平成3年1月21日	消防業務のOAシステム(指令管制)の運用を開始した
平成3年2月28日	三重郡楠町、朝日町及び川越町と四日市市との間において消防事務委託に関する付属協定書・ 同覚書の調印を行った

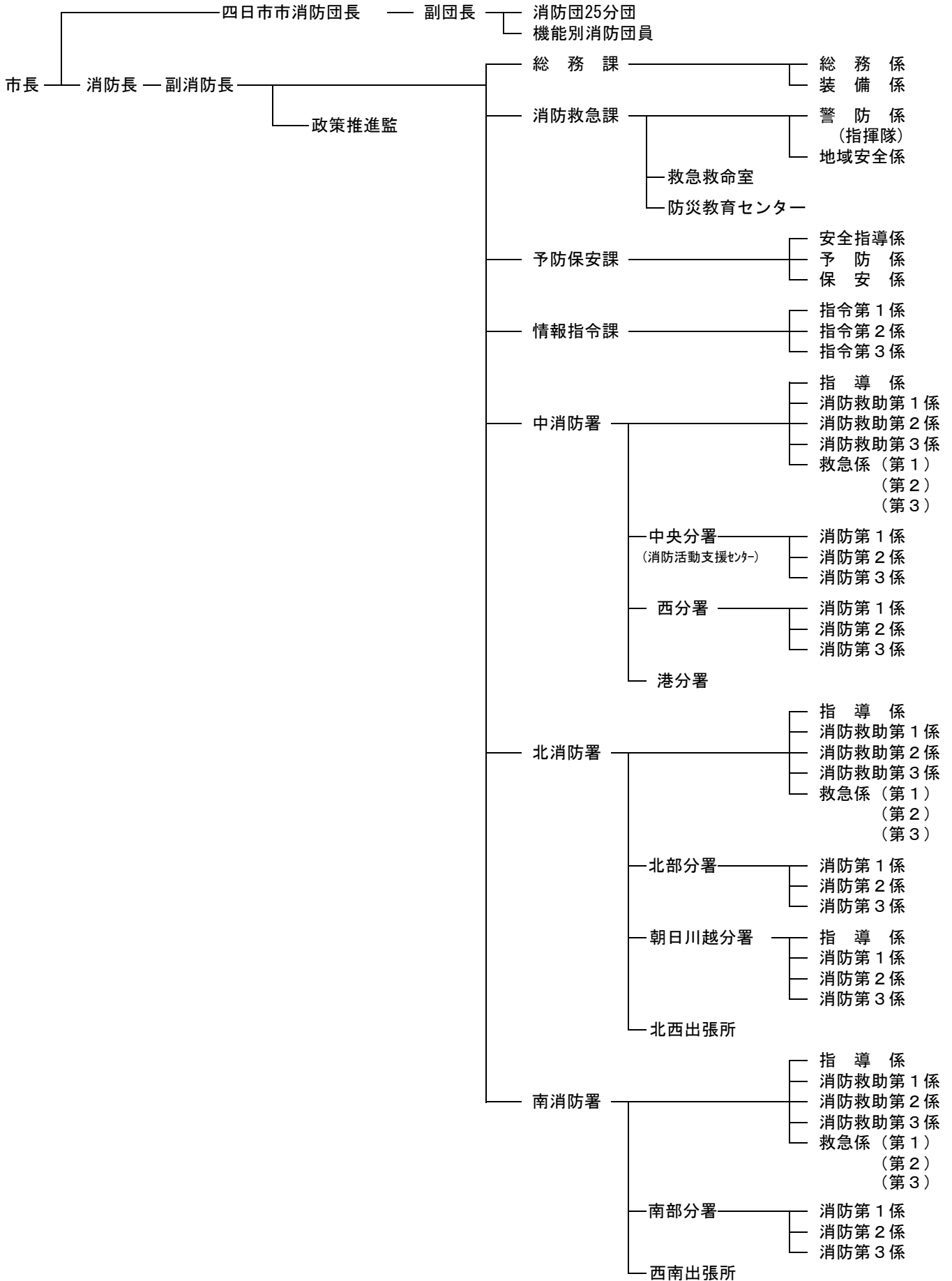
平成3年4月1日	中消防署港分署庁舎移転・新築(鉄筋コンクリート造一部2階建延べ面積208.75㎡) 消防職員定員 245名
平成4年4月1日	三重郡楠町、朝日町及び川越町の消防事務受託に伴い消防職員を増員 消防職員定員 274名 県下初の女性消防吏員3名を採用
平成4年4月15日	消防本部次長を2人制とし、消防課に救急救助係を設けた
平成4年6月23日	救急救命中央研修所及び大阪市消防学校において各1名が研修を終了し、4月19日第1回 救急救命士国家試験に合格 県下初の救急救命士 2名誕生
平成5年2月10日	三重郡楠町の消防事務受託に際し、南消防署を一部増築(事務所部分135.18㎡)
平成5年2月26日	三重郡朝日町、川越町の消防事務受託に際し、北消防署朝日川越分署を建設(鉄筋 コンクリート造一部2階建、延べ面積560㎡)竣工式を挙行
平成5年3月1日	三重郡楠町、朝日町、川越町の消防事務を受託し業務開始 北消防署朝日川越分署を開署 水槽付消防ポンプ自動車1台、救急車1台、広報車・軽トラック各1台を配備、予防係、消防第1係、 消防第2係、消防第3係、を設置し分署長以下18名で業務を開始した
平成5年4月1日	機構改革により、消防本部に通信指令室を設け消防課の所管とし消防署に副参事を設けた 中消防署に特別救急隊を設置し、高規格救急車の運用を開始した 消防音楽隊を再結成し、練習・訓練を開始した 消防職員定員 284名
平成6年4月1日	機構改革により、中消防署港分署の水上第3係を廃止した 消防職員定員 286名
平成7年3月 3日	四日市市消防本部・四日市市消防団連名で、消防庁長官表彰・表彰旗を受章
平成7年4月1日	消防職員定員 290名
平成8年3月31日	島村隆氏消防長を退任
平成8年4月1日	10代目消防長に小山佳志氏就任 消防職員定員 294名
平成8年7月12日	消防緊急通信指令システム運用開始
平成9年4月1日	機構改革により、消防本部に防災教育センター、中消防署に特別救急救助第1、第2、第3係を設けた
平成9年4月10日	北消防署、防災教育センター竣工
平成10年2月1日	予防システムのOA機器更新
平成10年4月1日	機構改革により、消防本部総務課の所管として情報指令室を置き、同課施設整備係を装備係に、 消防課を消防救急課に、同課の防災係及び救急救助係を統合し地域安全係とし、予防課を 予防保安課に、同課の建築物係を予防係に、危険物係を保安係に、指導査察係を安全指導係に、 各消防署及び朝日川越分署の予防係を指導係に、中消防署の消防第1～3係及び特別救急救助 第1～3係を消防救助第1～3係及び救急係に改称し、北消防署及び南消防署に救急係を設置した 消防職員定員 293名
平成10年10月5日	北勢地域携帯電話119番通報運用開始
平成11年3月31日	小山佳志氏消防長を退任
平成11年4月1日	消防職員定員 292名
平成11年4月3日	11代目消防長に星合隆毅氏就任
平成12年10月1日	北消防署保々分遣所を廃止し、新たに北消防署北西救急分駐所(職員3名、救急車1台)を開設
平成14年2月27日	中消防署に救助工作車(Ⅲ型)を増強配備した
平成14年3月31日	小山田分遣所を廃止
平成14年4月1日	機構改革により北消防署消防係を消防救助係に改め、救助工作車の運用を開始した
平成14年10月1日	小山田地区市民センター内に、新たに南消防署西南救急分駐所(職員3名、救急車1台)を開設
平成15年3月31日	星合隆毅氏消防長を退任 消防音楽隊活動休止
平成15年4月1日	12代目消防長に鈴木史郎氏就任 四日市市消防本部水難救助隊発足
平成15年4月13日	四日市市消防本部水難救助隊発足式
平成16年4月1日	四日市市消防団防災支援者制度発足
平成16年8月20日	四日市市消防支援隊発足
平成17年1月1日	消防情報支援システムの運用開始
平成17年2月7日	四日市市と楠町が合併し新たな四日市市が誕生
平成17年4月1日	機構改革により消防本部総務課情報指令室を消防本部情報指令課に改組した 消防音楽隊を再編し、活動再開
平成17年8月9日	北勢地域携帯電話からの119番通報がブロック代表受信方式から直接受信方式に切替
平成18年3月31日	鈴木史郎氏消防長を退任
平成18年4月1日	13代目消防長に北川保之氏就任 消防職員定員 310名
平成18年7月10日	四日市市及び桑名市消防通信指令事務協議会の設置
平成19年4月1日	消防職員定員 320名 四日市市、桑名市消防本部が、桑名市消防本部内で消防指令センターの共同運用を開始 機構改革により消防本部消防救急課の指揮支援隊の24時間体制を開始、南消防署消防係を 消防救助係に改め救助工作機能付消防ポンプ自動車の運用を開始した
平成20年4月1日	消防職員定数 320名 特別救助隊に替えて中消防署に高度救助隊を導入
平成20年11月1日	中消防署中央分署(消防活動支援センター)を開署(鉄筋コンクリート造3階建 敷地面積 5, 227㎡) 11月10日から業務開始 11月16日開署式を挙行

平成22年3月31日	北川保之氏消防長を退任 楠町消防団解団
平成22年4月1日	14代目消防長に川北悟司氏就任 四日市市消防団の1元化を図るとともに機能別消防団員の 신설および各分団定数を図り定数620名とする 職員6名を国際消防救助隊(IRT)へ登録 西南および北西救急分駐所へ消防ポンプ自動車を配備し、西南及び北西出張所に名称変更した
平成23年4月1日	機構改革により消防次長制を改め副消防長を設置した
平成24年4月1日	機構改革により消防本部消防救急課に救急救命室を設置した
平成25年1月15日	救急ワークステーション試行運用開始
平成26年3月31日	川北悟司氏消防長を退任
平成26年4月1日	15代目消防長に後藤善博氏就任 救急ワークステーション本格運用開始
平成27年3月26日	ドラゴンハイパー・コマンドユニット(エネルギー・産業基盤災害即応部隊)の中核となる大型放水砲車及び 大容量送水ポンプ車を配備した
平成27年3月31日	後藤善博氏消防長を退任
平成27年4月1日	16代目消防長に山本良也氏就任 消防職員定員 361名
平成28年4月1日	四日市、桑名、菰野消防本部が中消防署中央分署内で消防指令センターの共同運用開始
平成29年3月31日	山本良也氏消防長を退任
平成29年4月1日	17代目消防長に坂倉啓史氏就任 消防本部消防救急課の指揮支援隊を指揮隊とした 南消防署南部分署開署
平成30年4月1日	北消防署北部分署開署
平成30年11月1日	北消防署と南消防署に特別救助隊を設置した
平成31年3月28日	南消防署に救助工作車(Ⅱ型)を更新配備した
平成31年4月1日	ドローン隊の運用を開始した 消防職員定員 381名
令和2年3月27日	重機と重機搬送車を中央分署に配備した
令和3年3月31日	坂倉啓史氏消防長を退任
令和3年4月1日	18代目消防長に人見実男氏就任
令和3年12月10日	南消防署南部分署及び北消防署北部分署において消防隊と救急隊の2隊運用を開始

歴 代 消 防 長

代	氏名	在 職 期 間
初	吉 田 千 九 郎	昭和24年3月29日～昭和29年11月15日
2	中 村 松 次 郎	昭和29年11月16日～昭和36年3月31日
3	竹 内 鉄 雄	昭和36年4月15日～昭和43年3月31日
4	富 山 光 三	昭和43年4月1日～昭和47年3月31日
5	倉 谷 徳 助	昭和47年4月1日～昭和50年3月31日
6	松 村 佳 美	昭和50年4月4日～昭和53年3月31日
7	渡 邊 靖 三	昭和53年4月5日～昭和58年9月30日
8	山 口 博	昭和58年10月1日～平成2年3月31日
9	島 村 隆	平成2年4月2日～平成8年3月31日
10	小 山 佳 志	平成8年4月1日～平成11年3月31日
11	星 合 隆 毅	平成11年4月3日～平成15年3月31日
12	鈴 木 史 郎	平成15年4月1日～平成18年3月31日
13	北 川 保 之	平成18年4月1日～平成22年3月31日
14	川 北 悟 司	平成22年4月1日～平成26年3月31日
15	後 藤 善 博	平成26年4月1日～平成27年3月31日
16	山 本 良 也	平成27年4月1日～平成29年3月31日
17	坂 倉 啓 史	平成29年4月1日～令和3年3月31日
18	人 見 実 男	令和3年4月1日～現在

四日市市消防機構図



総務

一 目 統 計

(三重郡朝日町・川越町消防事務受託分含む)

消 防 予 算	5,179,336,000 円 (市予算 3.95%)
一 般 会 計 総 予 算	130,920,000,000 円
消 防 職 員 定 数	381 人 以 内
市 職 員 定 数	3,441 人 以 内
人 口 (委 託 2 町 含 む)	335,844 人
人口の最も多い地区 (四日市市)常磐地区	28,356 人
人口の少ない地区 (四日市市)水沢地区	2,928 人
消 防 車 両 等	
(常 備) はしご自動車	2 台
化学消防自動車	2 台
水槽付ポンプ自動車	10 台
消防ポンプ自動車	9 台 (救助工作機能付1台含む)
小型動力消防ポンプ付水槽車	1 台
大型化学高所放水車	1 台
はしご機能付高所放水車	1 台
泡原液搬送車	2 台
救助工作車	3 台
高規格救急自動車	16 台
大容量送水ポンプ車	1 台
大型放水砲車	1 台
人員搬送車	1 台
軽救命消防車	3 台
水難救助車	1 台
その他車両	38 台
(非常備) 消防ポンプ自動車	24 台
水槽付ポンプ自動車	1 台
資機材搬送車	2 台
参 考 (受 託 2 町 非 常 備)	
(朝日町) 水槽付ポンプ自動車	1 台
可搬式ポンプ積載車	5 台
救助資機材搭載型車両	1 台
(小型動力消防ポンプ積載車)	
(川越町) 水槽付ポンプ自動車	1 台
可搬式ポンプ積載車	11 台
救助資機材搭載型車両	1 台
(小型動力消防ポンプ積載車)	

令和3年度・令和4年度消防費歳出予算(当初予算額)

(千円)

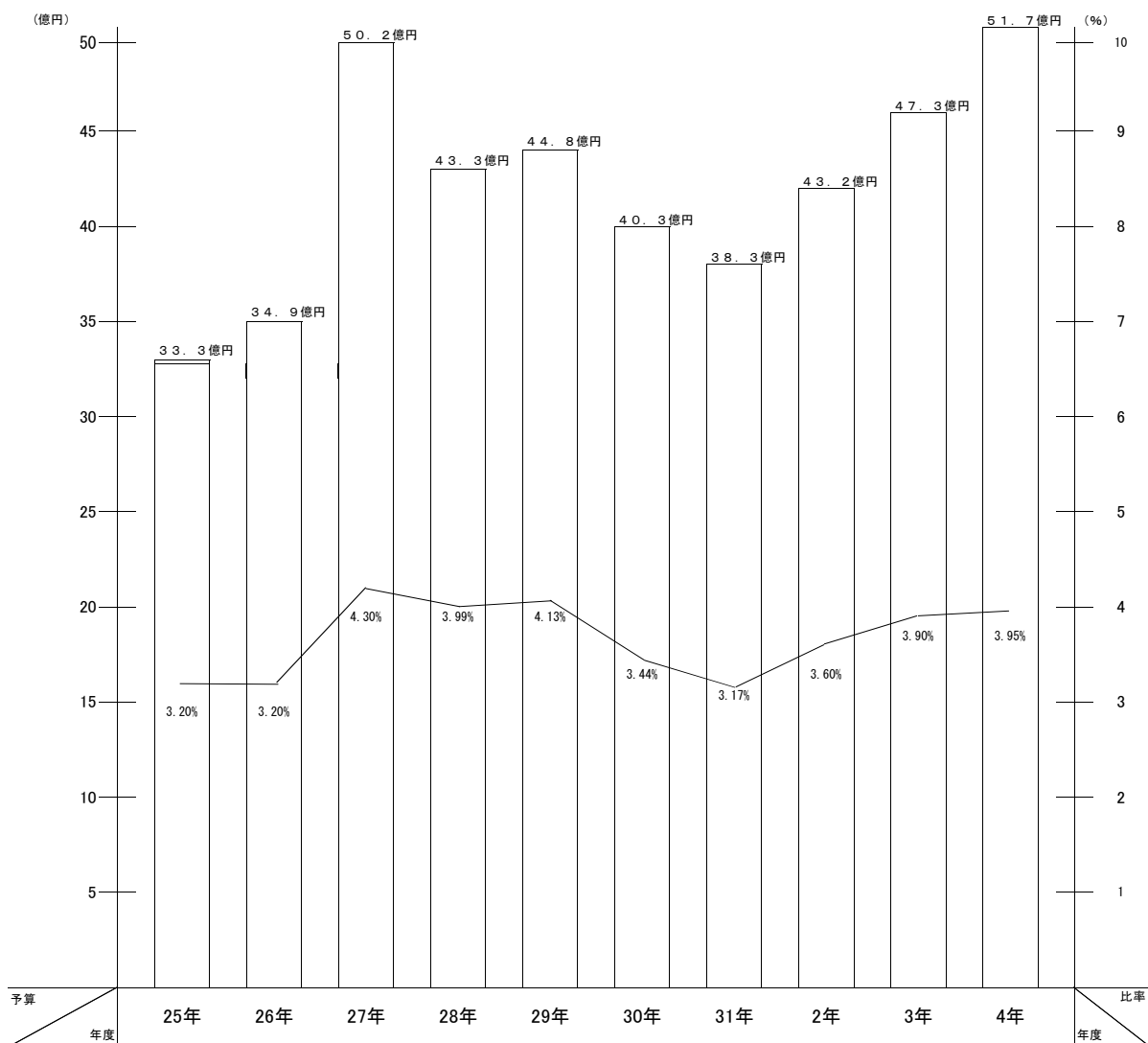
款 項 目	節	令和3年度	令和4年度	比較増△減
消 防 費		4,727,781	5,179,336	451,555
消 防 費		4,727,781	5,179,336	451,555
常備消防費		3,851,624	3,748,262	△ 103,362
	報 酬	9,367	9,451	84
	給 料	1,398,662	1,394,938	△ 3,724
	職 員 手 当	1,438,989	1,312,490	△ 126,499
	共 済 費	521,318	515,841	△ 5,477
	報 償 費	1,445	1,436	△ 9
	旅 費	7,657	6,888	△ 769
	需 用 費	129,355	197,039	67,684
	役 務 費	8,897	11,792	2,895
	委 託 料	101,251	98,116	△ 3,135
	使用料及び賃借料	5,364	5,106	△ 258
	工 事 請 負 費	69,708	44,647	△ 25,061
	原 材 料 費	88	44	△ 44
	備 品 購 入 費	13,956	6,829	△ 7,127
	負担金補助及び交付金	95,549	90,609	△ 4,940
	補償補填及び賠償金	50,000	53,000	3,000
	公 課 費	18	36	18
非常備消防費		145,758	167,124	21,366
	報 酬	21,689	91,239	69,550
	共 済 費	14,171	14,171	0
	災 害 補 償 費	2,700	2,700	0
	報 償 費	11,410	10,422	△ 988
	旅 費	70,387	5,029	△ 65,358
	需 用 費	14,162	14,464	302
	委 託 料	2,301	2,222	△ 79
	使用料及び賃借料	503	503	0
	工 事 請 負 費	1,089	34	△ 1,055
	備 品 購 入 費	120	18,385	18,265
	負担金補助及び交付金	7,226	7,955	729
消防施設費		728,752	1,262,294	533,542
	需 用 費	0	700	700
	役 務 費	784	1,515	731
	委 託 料	24,560	61,899	37,339
	使用料及び賃借料	708	985	277
	工 事 請 負 費	446,321	808,300	361,979
	備 品 購 入 費	256,379	388,895	132,516
水 防 費		1,647	1,656	9
	需 用 費	983	992	9
	原 材 料 費	664	664	0

消防費に対する人口世帯当り額

	消防費（千円）	人口（人）	世帯	1人当り額（円）	1世帯当り額（円）
平成30年度	4,029,055	337,575	147,457	11,935	27,324
平成31年度	3,833,800	337,335	149,562	11,365	25,634
令和2年度	4,316,398	337,600	151,560	12,785	28,479
令和3年度	4,727,781	336,907	153,159	14,032	30,868
令和4年度	5,179,336	335,844	154,273	15,422	33,573

過去10年間の消防費の推移

%は、市一般会計予算額に対する消防費の比率



消 防 職 員 の 推 移

(令和4年4月1日現在)

年 度 別	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
定 員	361	381	381	381	381	
実 員	消防吏員	339	338	350	358	357
	再任用/その他の職員	19	17	17	16	19
	合 計	358	355	367	374	376
消防職員定員増減	0	20	0	0	0	

(県出向職員・再任用・その他の職員は合計数に含む、市長部局への出向職員・嘱託職員は合計数に含まず)

消 防 職 員 特 殊 技 能 資 格 取 得 状 況

(令和4年4月1日現在)

階 級 別 資格種別		合 計	消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士
			自動車免許 免 許	大 型	263	1	5	12	50	89
	けん引	8			1	3	1	3		
	大 型 特 殊	17			1	3	8	3		2
自動車整備士		5			2		2	1		
小型船舶操縦士1級		9			1	1	2	5		
小型船舶操縦士2級		67	1	2	1	5	25	28		5
小型移動式クレーン		309		1	6	31	80	117		74
玉掛資格		354		4	14	51	89	122		74
ガス溶接資格		241		3	10	50	88	83		7
無線 技 士	第2級海上特殊無線技士	4					3	1		
	レーダー級海上特殊無線技士	4				1	3			
	陸上特殊無線技士	365	1	6	14	53	93	124		74
救 急	救急I課程	5		2	1	1		1		
	救急II課程(標準課程含む)	272	1	2	9	39	62	86		73
	救急救命士	88		2	4	13	31	37		1
応急手当指導員		365	1	6	14	53	93	124		74
第2種衛生管理者		30		2	5	11	7	5		
酸素欠乏危険作業主任者		50		2	6	17	15	10		
潜水士		59			1	9	17	27		5
予 防 技 術 資 格 者	防火査察	82	1	4	4	10	25	29		9
	消防用設備	40	1	1	2	10	12	12		2
	危険物	38		3	3	10	9	9		4
危 険 物 取 扱 者	甲種	9				1	6	1		1
	乙種	353		4	6	27	89	143		84
消 防 設 備 士	甲種	12					3	3		6
	乙種	38		1	1	2	11	22		1
防火対象物点検資格者		3				1	1	1		
フォークリフト運転技能資格		20			1	1	10	6		2
重機(3トン以上)運転技能資格		18					4	12		2
ドローン操縦資格		32				4	17	11		

(県出向職員・再任用・その他の職員は合計数に含む 市長部局への出向職員・嘱託職員は合計数に含まず)

階級別・所属別消防職員配置状況

(令和4年 4月 1日)

階級別		合計	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	事務吏員	
所属別												
合計		376(12) [3]<17>⑩①	1	6	14[2]	531<1>	93<5>	124(1)<7>⑧		84(10)<4>	⑨[1]	
消防本部	消防長	1	1									
	副消防長	1		1								
	政策推進監兼同和行政推進監	1			1							
	小計	25(12)<1>①[1]		1		4(1)	4	5(1)<1>①		10(10)	1[1]	
	総務課	課長補佐	1		1							
		課長補佐	1				1					
		総務課付	12(12)				1(1)		1(1)		10(10)	
		総務係	6<1>①				1	2	3<1>①			
		設備係	4				1	2	1			
	課員	1[1]									1[1]	
	小計	29<4>④		1	1	7<1>	11<1>	9<2>④				
	消防救急課	課長補佐	1		1							
		課長補佐	1				1					
		警防係	18<2>②				4	8<1>	6<1>②			
		地域安全係	5<1>①				1	2	2<1>①			
	救急救命室	4<1>①			1	1<1>	1	1①				
	小計	1[1]③			1[1]						③	
	防災教育センター	所長	[1]			[1]						
		所員	③									③
	小計	19[1]<2>②			1	3[1]	5<1>	10<1>②				
予防保安課	課長補佐	1		1								
	課長補佐	1				1						
	予防係	5<1>①				1	1	3<1>①				
	保安係	5<1>				1	1<1>	3				
安全指導係	7[1]①				[1]	3	4①					
小計	14②			4	3	4	3②					
指令課	課長	1			1							
	課長補佐	3			3							
	指令係	10②				3	4	3②				
小計	105[1]<4>④		1	3[1]	12	28<1>	40<1>④		21<2>			
消防本部	小計	57[1]<2>①		1	[1]	7	16<1>	21①		12<1>		
	署長	1		1								
	副署長	[1]			[1]							
	指導係	4<1>①				1		2①		1<1>		
	消防救助係	40				3	12	14		11		
	救急係	12<1>				3	4<1>	5				
	計	29<2>②			1	3	6	13<1>②		6<1>		
	分署長	1			1							
	消防係	28<2>②				3	6	13<1>②		6<1>		
	計	17①			1	2	5	6①		3		
分署長	1			1								
消防係	16①				2	5	6①		3			
計	2			1		1						
分署長	1			1								
分署員	1											
小計	100<5>③		1	3	13	24<2>	32<1>③		27<2>			
消防本部	署長	45<4>①		1	1	6	11<2>	16<1>①		10<1>		
	副署長	1		1								
	指導係	4<1>①			1		1	2<1>①				
	消防救助係	30<2>				3	7<1>	12		8<1>		
	救急係	9<1>				2	3<1>	2		2		
計	36<1>②			1	3	10	9②		13<1>			
分署長	1			1								
消防係	35<1>②				3	10	9②		13<1>			
計	19			1	4	3	7		4			
分署長	1			1								
指導係	2				1		1					
消防係	16				3	3	6		4			
小計	81<1>②		1	1	11	17	25<1>②		26			
消防本部	署長	45①		1		8	9	15①		12		
	副署長	1		1								
	指導係	4①				1		2①		1		
	消防救助係	30				3	6	10		11		
	救急係	9				3	3	3				
	計	36<1>①			1	3	8	10<1>①		14		
分署長	1			1								
消防係	35<1>①				3	8	10<1>①		14			
市部局へ出向	4			1	1	1	1					

() は県派遣職員および消防学校入校職員、<> は女性消防吏員、○数字は再任用職員、[] はその他の職員をそれぞれ内数で表す。市長部局への出向職員、●数字の嘱託職員は合計数に含まず。 [] は兼務である。

消 防 職 員 年 令 別 分 布

(令和4年 4月 1日現在)

階級別 年令	合 計	消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	事 務 吏 員
合 計	376	1	6	14	53	93	124	0	84	1
18	1								1	
19	5								5	
20	7								7	
21	7								7	
22	10								10	
23	6								6	
24	12								12	
25	13						3		10	
26	15						3		12	
27	4								4	
28	9						4		5	
29	6						6			
30	8						6		2	
31	3						2		1	
32	10						8		2	
33	5						5			
34	7					2	5			
35	7					1	6			
36	7					2	5			
37	15					7	8			
38	15					5	10			
39	17					8	9			
40	18					10	8			
41	8					4	4			
42	9					8	1			
43	9				1	5	3			
44	5				3	2				
45	10				7	2	1			
46	11				3	5	3			
47	8			1	4	2	1			
48	7			1	4	2				
49	8				6	2				
50	10				8	2				
51	12			3	4	2	3			
52	8		1		3	2	2			
53	9				3	6				
54	12			2	3	7				
55	3			1		2				
56	5			3	2					
57	8		3	3	1	1				
58	5	1	1		1	2				
59	3		1			2				
60	7						7			
61	3						2			1
62	2						2			
63	4						4			
64	3						3			

(県出向職員・再任用・その他の職員は合計数に含む 市長部局への出向職員、嘱託職員は合計数に含まず)

平均年齢 **39.7** 歳

消 防 職 員 勤 続 年 数 別 分 布

(令和4年4月1日現在)

階級別 勤続年数	合 計	消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	事 務 吏 員
合 計	376	1	6	14	53	93	124	0	84	1
0～1	11								10	1
1～2	14								14	
2～3	14								14	
3～4	9								9	
4～5	9								9	
5～6	14						4		10	
6～7	21						6		15	
7～8	11						9		2	
8～9	3						3			
9～10	4						3		1	
10～11	6						6			
11～12	4						4			
12～13	5					1	4			
13～14	17					2	15			
14～15	28					10	18			
15～16	19					8	11			
16～17	12					10	2			
17～18	13				1	9	3			
18～19	8				1	6	1			
19～20	7					5	2			
20～21	9				2	5	2			
21～22	7				2	3	2			
22～23	7				5		2			
23～24	4				4					
24～25	13				5	4	4			
25～26	4			1	1		2			
26～27	10			1	3	6				
27～28	6			1	4	1				
28～29	6				4	2				
29～30	12			1	6	4	1			
30～31	25		2	3	10	9	1			
31～32	5				2	2	1			
32～33	4			2	1	1				
33～34	2				2					
34～35	0									
35～36	7		3	1		1	2			
36～37	2	1				1				
37～38	0									
38～39	2			2						
39～40	5			2		1	2			
40～41	7					2	5			
41～42	5		1				4			
42～43	4						4			
43～44	1						1			
44～45	0									

(県出向職員・再任用・その他の職員は合計数に含む 市長部局への出向職員、嘱託職員は合計数に含まず)

平均勤続年数 **17.3** 年

消 防 車 両 配 置 状 況

(令和4年4月1日現在)

区分		所 属 別													合計	消防団
		消防本部	中消防署	中央分署	西分署	港分署	北消防署	北部分署	朝日川越分署	北西出張所	南消防署	南部分署	西南出張所	防災教育センター		
消 防 車	消防ポンプ自動車	-	1	1	-	-	1	1	-	1	1	1	1	-	8	24
	救助機能付消防ポンプ自動車	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
	水槽付ポンプ自動車	-	1	1	2	-	1	1	2	-	1	1	-	-	10	1
	化学消防ポンプ自動車	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	2	
	小型動力消防ポンプ付水槽車	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
	はしご自動車	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2	
	はしご機能付高所放水車	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	
	大型化学高所放水車	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
	泡原液搬送車	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	
	救助工作車	-	1	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	3	
	大容量送水ポンプ車	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	
大型放水砲車	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1		
高規格救急自動車		-	3	2	1	-	2	2	1	1	2	1	1	-	16	
そ の 他 の 車 両	指揮車	2	1	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	5	
	支援車	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
	水難救助車	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
	泡原液運搬車	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	
	資機材搬送車	1	-	1	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	4	2
	重機搬送車	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
	火災原因調査車	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
	立入検査車	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
	広報車	7	1	1	1	-	1	1	1	-	1	1	-	-	15	
	防災指導車	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	2	
	人員輸送車	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
	軽救命消防車	-	1	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	3	
	軽四トラック	-	1	-	1	-	1	-	1	-	1	-	-	-	5	
	乗用車	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
その他	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1		
合計		15	13	10	5	1	12	8	5	2	14	4	2	1	92	27

消防用資機材配置状況

(令和4年4月1日現在)

区分 / 所属	消防本部	中消防署	中央分署	西分署	港分署	北消防署	北部分署	朝川分署	南消防署	南部分署	合計
空気呼吸器		31	19	12		28	20	12	29	13	164
酸素呼吸器		4				5					9
エンジンカッター		3	3	3		2	2	1	2	1	16
高発泡器		1		1		2					4
大容量泡放射砲(1S)		1				1			1		3
可搬式放水銃		3	2	3		2		2	1		14
耐熱服		2				4	5		6		17
ガス測定器	1	6	1	1		5	1	1	5	1	23
各種測定器	4	12		6		10			19		51
救命ボート		4	1	1		3	1	1	2	1	14
油圧切断機		2	2			1	1		1		6
チェーンソー		2	1	1		1	2	1	1	1	12
ボートパワー			1			1					2
救命索発射銃		1				1			1		3
ガス溶断器		1	1			1		1	1		5
発動発電機		8	9	4	1	8	4	2	7	5	47
排送風機		2	1	2		2		1	2		10
エアソー等		2	2	2		1			1		8
救助幕		2									2
油圧スプレッター		2	2			1			1		6
マット型空気ジャッキ		1	1			1			1		4
削岩機		1				1			1		3
耐電衣		8				5			8		21
防毒衣		8				8			46		62
マンホール救助器具		1				1			1		3

高度救助用資機材

画像探索機 1型		1									1
画像探索機 2型						1			1		2
熱画像直視装置		2				1	2	1	2	1	8
地中音響探知機		1									1
夜間用暗視装置		3									3
エアラインマスク		1									1
地震警報器		1				1					2
潜水器具						32					32
高圧空気充てん機		1				1					2

救急用資機材配置状況

(令和4年4月1日現在)

区分 / 所属	消防本部	中消防署	中央分署	西分署	港分署	北消防署	北部分署	朝川分署	南消防署	南部分署	合計
AED	1	7	4	3	2	6	4	3	6	4	40
AEDトレーナー	7	11	3	3		7	4	4	7	4	50
指導用訓練人形 成人	7	11	5	9		13	4	12	20	4	85
小児	4	4	5	6		5	4	5	6	4	43
乳児	5	5	5	5		5	4	5	5	4	43
救急隊員教育訓練人形	1	1	1			1		1	1		6

令和3年度職員研修実施状況

研修別	研修名	研修日	計(人)
派遣研修	1 消防大学校		
	1 指揮隊長コース (第25回) 2 火災調査科 (第40期) 3 N B Cコース (第11回) 【中止】	4/12-4/20 5/31-7/16 (2/7-2/22)	1 1
	2 三重県消防学校		
	1 初任科 (58期) 2 救急科救急課程 (24期) 3 救助科水難救助課程 (21期) 4 救助科救助課程 (31期) 5 特別科指揮課程 (10期) 6 上級幹部科 (9期) 7 火災調査科火災調査課程 (19期) 8 警防科警防課程 (33期) 9 特殊災害科特殊災害課程 (9期) 10 中級幹部科 (30期) 11 気管挿管追加講習 (ビデオ喉頭鏡) 12 救助フォローアップ研修会 13 救急救命士ブラッシュアップ講習 14 気管挿管フォローアップ	4/6-8/17. 10/13-12/3 8/18-10/12 5/24-6/4 8/23-9/22 12/13-12/17 1/11-1/14 1/24-2/4 1/31-2/10 2/14-2/22 2/24-3/4 7/13-14 3/8 中止 6/25	14 14 3 3 1 1 4 3 1 1 1 1 4 1
	3 救急救命士養成所		
	1 救急救命士東京研修所 (前期) 新規養成 2 救急救命士九州研修所 (前期) 新規養成 3 救急救命士九州研修所 (後期) 新規養成 4 名古屋市救急救命養成所 新規養成	4/5-10/4 4/5-10/11 9/3-3/14 8/25-3/14	1 1 1 1
	4 国際文化アカデミー		
	1 自治体における SNS の活用	7/7-7/9	1
	5 市役所 (職員研修所等) が企画する研修		
	1 新規採用職員研修 2 新任係長級職員研修・係長級職員Ⅱ部研修 3 新任課長補佐級職員研修 4 新任課長級職員研修・新所属長研修 5 準管理職候補者研修 6 管理職候補者研修 7 ステージ研修49才54才	4/2 5月～6月、10月～11月 4月～6月 4月～6月 8月 8月～11月 1月	14 20 9 4 10 7 3
	6 全国消防長会/消防協会東海支部が主催する講習会		
	1 消防長研修会 2 違反是正事例発表会	11/8 10月 (web 聴講)	1
	7 三重県消防長会が関係する研修		
	1 違反是正発表会 1 違反是正研修会 2 違反是正に関する事例研究会 3 J P T E C プロバイダーコース 4 水難救助フォローアップ研修会 5 救助オープンカレッジ	10/22 (web 聴講) 中止 1/19 中止 10/19 (web 聴講、実技中止) 12/8	3 2
	8 三重県指導者セミナー		
	1 P E M E C コース 2 P C E C コース 3 M C L S コース 4 病院前救護体制における指導医及び事後検証に係る関係者研修	中止 10/5、10/13 中止 10/24	3 2
	9 危険物セミナー		
	1 危険物行政実務研究会 2 危険物事故防止対策セミナー 3 屋外タンク実務担当者講習会 4 石油コンビナート事務担当者研修会	5/21、10/15 (書面開催) 10月29日 12/1～1/31 (Web 聴講) 3/14～3/18 (youtubeにて限定公開)	1
	10 その他派遣研修		
	1 消防職員安全衛生管理研修会 2 救助隊員シンポジウム 3 ハラスメント等相談窓口相談員向けWEB研修 4 国際消防救助隊員連携訓練 5 ポストコロナで求められる公共施設マネジメントの進め方 6 N B C 災害担当消防職員等に対する教養研修 7 日本救急医学会中部学術集会(第23回) WEB 8 スイフトウォーターレスキューテクニシャンレベルⅠ (SRT-1)	12/16、12/17 12/13 11/1 12/7-12/9 11/5 2/1 12/4 10/13-10/15	2 1 1 1 1 1 1 2
資格取得研修	11 資格取得など		
1 大型自動車運転免許 (新規) 2 潜水士免許 (新規) 3 第2種衛生管理者免許 4 2級小型船舶操縦士免許 (新規取得) 5 2級小型船舶操縦士免許 (更新/失効再交付) 6 酸素欠乏・硫化水素危険業務作業主任技能講習 7 防火対象物点検資格者講習 8 危険物取扱者保安講習 9 予防技術資格者 (新規) 10 車両系建設機械運転技能講習会 (解体用) 11 車両系建設機械運転技能講習会 (整地、運搬、積込) 12 安全運転管理者講習	随時 7/14 8/16 随時 随時 1/26-1/28 11/9-11/12 8月 12/5 9/7 6/17-6/24 随時	8 3 3 3 6 2 1 3 7 9 4 7	
視察研修	12 先進都市視察など		
1 宮城県仙台市ほか 2 岡山県岡山市 3 兵庫県神戸市	11/16-11/17 11/18 11/16-11/17	1 2 2	
本部研修	13 消防本部で実施する研修		
1 新規採用職員研修 2 プリセプター研修 3 救急救命士就業前病院研修 4 救急科救急課程修了後病院研修 5 気管挿管病院前研修 (ビデオ喉頭鏡) 6 気管挿管病院前研修	11/24 11/24 12/6 11/8-11/22 11/24-3/4	14 9 2 14 1 1	

消防プリセプターシッププログラム

プリセプター研修について

四日市市消防本部では、新人消防職員の育成と能力開発を図り、住民に質の高い消防行政サービスの維持・向上を図るため、プリセプターシッププログラムによる新人教育を実践しています。

他の業種では、看護職場が1990年初期から質の高いサービスを安定的に提供するため、新人をバックアップする体制としてプリセプターシップを取り入れています。

プリセプターシップとは、新人職員の業務遂行に必要な能力開発を効果的に効率よく達成するための、組織内教育制度です。「努力と根性」を長い間ポリシーとしてきた日本のスポーツ界でも、辛い練習を延々と続けることを強いる時代から「科学的な個別の練習メニュー」を尊重する時代になり成果を上げています。プリセプターシップに求めていることも同様です。仕事の特性と人材の特徴を捉えて、無理なく効果的に、そして達成感を味わいながら、新人職員が成長を続けていける人材教育システムがプリセプターシップです。

さらに、プリセプターシップは、新人職員だけでなく、先輩職員のキャリアアップの一環としても機能するものです。先輩がプリセプターとして後輩を教育指導することにより、対人関係能力や指導能力の成長が図られ、その役割遂行を通じて、準備や能力開発の努力をして、消防観の確立を図る効果があります。

消防本部では、消防行政サービスの維持・向上を図るため、平成20年度から「消防プリセプターシッププログラム」を策定し、新人教育体制の確立を図りました。

消防プリセプターシッププログラム策定の目的

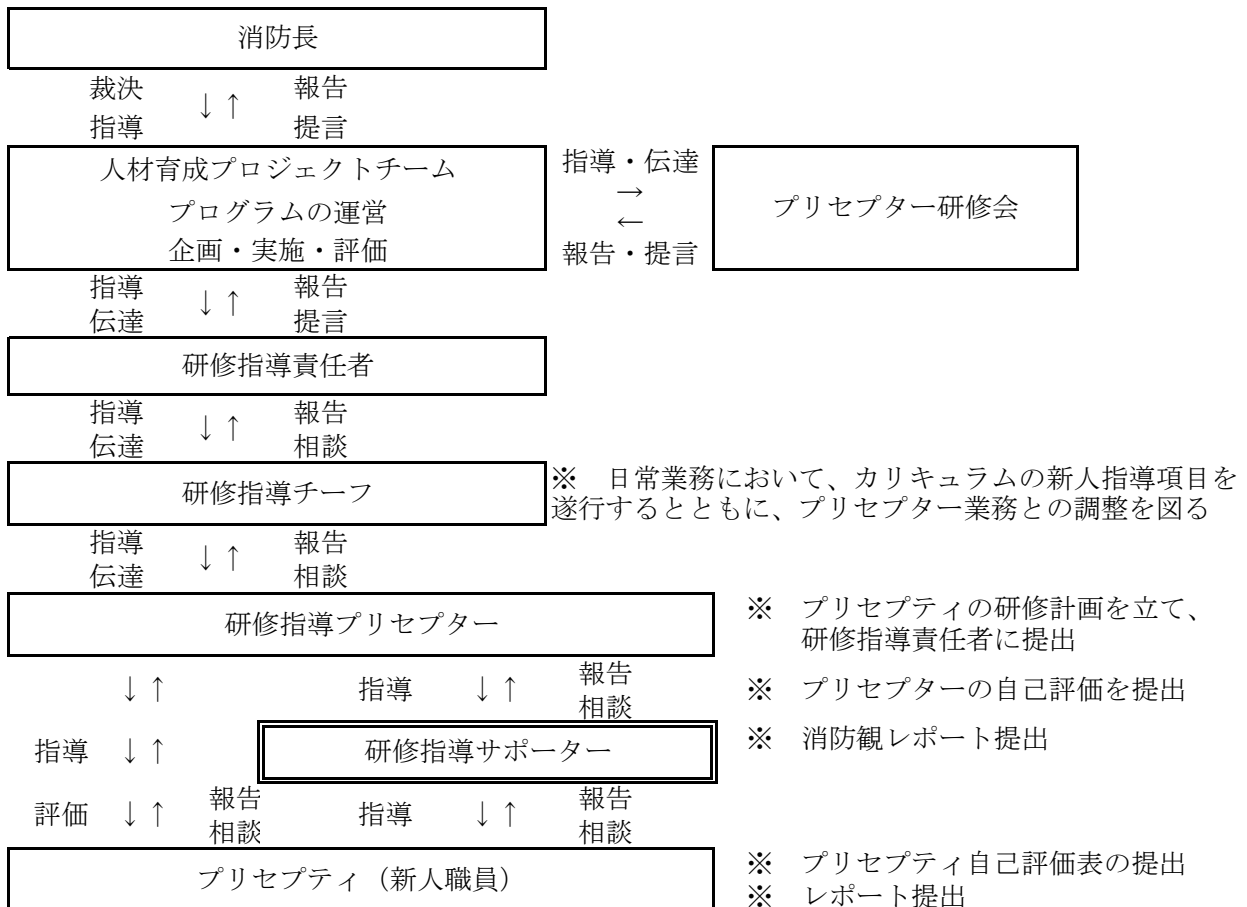
- 1 消防学校を卒業した新人消防士（プリセプティ）に対して、リアリティショックを緩和し、早く職場に適応することができるよう促す。
- 2 消防士長以上の階級職員を新人研修指導者とし、その役割遂行を通して、指導能力の育成および消防観の確立を図る。
- 3 警防・救急業務に関して、消防実践能力を習得し、消防実務者としての役割が取れるようにサポートシステムを形成する。

消防プリセプターシッププログラム運営の方法

- 1 目的の1、2については、プリセプターシップ研修プログラムを用いて、目的の達成を図る。
- 2 目的の3については、分野別指導カリキュラムを用いて、職場全体で取り組む。

プログラムの管理運営

- 1 プログラムの管理責任 消防長
- 2 プログラムの管理運営体制



3 プログラムの運営

「人材育成プロジェクトチーム」

(1) 構成

責任者 総務課長
委員長 政策推進監

(2) 機能

- ① 研修プログラムの運営（企画・実施・評価）を行う。
- ② 消防長に対して、プリセプターシップ研修プログラムに関する報告・提言を行う。
- ③ 研修部署の指導責任者およびプリセプター研修会に対して、指導・伝達を行う。
- ④ プリセプター研究会（隔月1回）が、自主的・効果的に運営されるよう指導する。
- ⑤ 研修部署から提出されたプリセプター評価表および指導観レポート等に基づき研修目標に対する達成度を評価する。
- ⑥ 研修プログラムの総合評価を行い、消防長に報告する。

4 各部署の指導体制

「新人職員人材育成体制」のとおり。

消防プリセプターシップ 新人職員人材育成体制

区分	役割・機能	備考
人材育成の責任者	消防長	
人材育成の運営	人材育成プロジェクトチーム	
人材育成計画・実施・評価		
研修指導責任者	所属長	
研修指導チーフ	係長	プリセプターの相談に対し、助言・指導する。
	新人職員が属する系の係長	
研修指導プリセプター	新人職員が属する系の消防士長以上で、所属長が指名する。	プリセプティーに対する研修指導担当で、プリセプティー1人に対し、プリセプター1人の体制を原則とする。
研修指導サポーター	新人職員が属する系の採用2年目以上の職員	プリセプティーに対する研修支援・補助者
受講者	採用1年目の職員	
研修指導期間	消防学校卒業後、各所属に配属された12月から翌年の11月までの1年間	
研修指導内容	新人職員指導カリキュラム	
プリセプター養成研修	消防士長以上受講	プリセプターは必ずプリセプター養成研修を受講
プリセプターフォローアップ研修	12月から毎月実施、4月以降3ヶ月に1回実施	プリセプター・プリセプティー・チーフ・所属長

令和3年度主要記録

月	内 容
4	三重県消防学校 14名入校 三重県消防長会総会 三重県消防職員意見発表会 全国消防長会東海支部総会(書面会議)
5	三重県内高速道路消防連絡協議会全員協議会(書面会議) 四日市市防火協会総会(書面会議) 優良防火管理事業所表彰(6事業所) 三重県医療情報センター会議(書面会議) 四日市市、桑名市及び三重郡菟野町消防通信指令事務協議会(書面会議) 防火管理者講習(6月,11月,12月,2月の4回)開催 延べ甲249名,乙45名,甲再講習47名の受講 防災管理者講習(7月,2月の2回)開催 延べ新規25名,甲再講習8名の受講
6	危険物安全管理強調月間 全国消防長会総会(書面会議) 優良危険物事業所表彰及び危険物事業所研修会(中止)
7	安全講演会(中止) 四日市市消防団操法競技大会(中止) 消防救助技術東海地区指導会(中止)
8	四日市市消防職員委員会
9	石油コンビナート・海上防災訓練(中止) 救急講演会(WEB開催) 救急フェスタ(中止) 三重県内高速道路消防連絡協議会研修会(中止)
10	衛生講演会(WEB開催) 全国消防救助技術大会(中止) 特別消防訓練(日永カヨ一) 三重県消防長会警防技術交換会(中止) 災害医療情報伝達訓練 全国消防長会危険物委員会(書面会議) 車両構造講習会 消防職員安全衛生研修会
11	防火ポスター・防火習字入賞者表彰 三重県消防長会消防長研修会(中止)及び定例会(WEB開催) 四日市市市民総ぐるみ総合防災訓練(中止) 緊急消防援助隊全国訓練(中止) 三重県内高速道路消防連絡協議会消防訓練(中止) 全国女性消防団員活性化大会(中止) 救急発表会(中止)
12	近畿二府七県合同防災訓練・緊急消防援助隊近畿ブロック合同訓練 企業防災対策指導研修会 年末特別警戒
1	四日市市消防出初式 朝日町・川越町合同出初式 文化財防火デー 四日市市、桑名市及び三重郡菟野町消防通信指令事務協議会
2	警防技術訓練査閲(消防長査閲)(中止) 公安系公務員合同就職説明会 春ふえす(中止)
3	三重県消防大会

令和4年度消防重点事業

新年度予算における基本的な方針

災害から市民の生命、身体及び財産を守るため、総合計画の基本的政策に掲げる「市民を守る消防救急体制の確立」に向けた取り組みを進める。

このことから、消防活動拠点の機能強化を図るため、南消防署庁舎の改築工事の最終年度として整備を行うとともに、北消防署北西出張所の独立した庁舎の整備や13mブーム付多目的消防ポンプ自動車を含む消防車両の更新等に取り組む。

また、老朽化した北消防署併設の防災教育センターの設備の刷新を図り、多様な災害に対応した体験型施設を備えた防災教育センターの整備を図る。

さらに、救命率の向上を目指して、次世代高速通信（5G）やIoTなどの先端技術の活用に向けた救急業務の実証試験に取り組むとともに、新型コロナウイルス感染症対策として、引き続き救急業務における感染防止や、消防職員の健康管理など職場内での感染防止の徹底を図る。

加えて、地域防災の中核となる消防団の充実強化を目指し、消防団車庫の改築や、消防団員の防火外套の更新を行う。

1. 消防活動拠点の整備及び消防力の強化について

本市の南部臨海地域における消防活動拠点の機能強化を図るため、令和元年度から4ヶ年事業として進めている南消防署の整備について、令和4年度末の完成を目指し、改築工事を進める。

また、本市の西部地域に設置している北西出張所の機能強化を図るため、保々地区市民センター併設の北西出張所について、旧保々ふれあい会館跡地への独立庁舎整備に向けた実施設計を行う。

さらに、消防車両更新計画に基づき、老朽化したコンビナート災害対応の大型高所放水車や消防ポンプ自動車等を更新するとともに、中消防署中央分署の水槽付き消防ポンプ自動車を13mブーム付多目的消防ポンプ自動車に更新し、中層火災に対する消防活動の充実強化を図る。

【主な事業】南消防署整備事業費	675,419千円
消防出張所整備事業費	15,967千円
消防車両整備事業	393,320千円

2. 防火・防災教育の充実について

北消防署併設の防災教育センターについては、新型コロナウイルス感染症収束後の施設のあり方を検討した中で、リモートによる情報発信やVR等の最新技術を活用するなど、市民が災害を身近に感じることができ、実践的な対応を学ぶことができる機材の導入や施設の改修に向けた実施設計を進める。

また、災害に強い人づくりを目指して、引き続き、管内の小中学生を対象とした防火防災教室を実施する。

【主な事業】防災教育センターリニューアル事業費	15,100千円
-------------------------	----------

3. 救急業務の高度化について

迅速な救急搬送と医療機関の受け入れ体制の確保を行うため、救急隊が傷病者の生体情報（脈拍、血圧、心電図等）や怪我の状態などを映像により救命救急センターへリアルタイムに伝送を行うシステムの整備に向けた実証試験を行う。

また、引き続き新型コロナウイルス感染症対策として、救急隊が使用する感染防止資器材を確保するほか、保健所等との連携強化を図る。

さらに、救急現場での対応力向上のため、救急ワークステーションでの研修の継続や医療機関と

の連携強化を推進するとともに、計画的な救急救命士の養成を行い、救急車に複数の救急救命士が乗車できる体制の確保に取り組む。

【主な事業】救急業務高度化事業費	1, 700千円
救急ワークステーション事業	459千円
救急救命士養成事業	7, 770千円

4. 消防団の充実強化について

消防団の防火外套について、令和4年度から6年度までの3年間に分けて更新する計画としており、令和4年度については207着を更新する。

また、地域における消防力・防災力の向上に大きな役割を果たしている消防団について、老朽化した消防分団車庫の改築を進めるなど、消防団員が活動しやすい環境づくりを推進するとともに、消防団員の確保に向け、準中型自動車免許取得を促進するとともに、消防団活動のPRや機能別団員の充実強化に取り組む。

【主な事業】消防団員防火外套更新事業	18, 330千円
消防分団車庫整備事業費	80, 863千円
消防団運営交付金	6, 434千円

5. 火災予防対策の推進について

コンビナート事業所や防火対象物への立入検査や消防訓練等の防火安全指導を行うとともに、消防法令に係る違反対象物の是正を推進する。

また、建物火災による被害を軽減するために、引き続き、住宅防火対策に努めるとともに、市民の防火意識の高揚を図るため、火災予防の啓発活動を実施する。

【主な事業】火災予防関係事業活動費	1, 206千円
-------------------	----------

6. 消防指令センターの共同運用について

四日市市、桑名市及び三重郡菰野町の3消防本部で共同運用している三重北消防指令センターの円滑な運用と適切なシステムの維持管理を図る。

【主な事業】消防指令センター共同運用事業費	52, 438千円
-----------------------	-----------

相 互 応 援 協 定

当該市町村だけでは対処し得ない大規模広域災害や市町村境界付近で発生した災害等に対し、応援協定を締結して、円滑有効な防ぎよ活動を実施し、災害による被害を最小限にとどめるため、本消防本部においては下記に示すとおり各市町村と応援協定を締結し、消防力の効率的な運用を図っている。

(1) 消防相互応援協定

協 定 名	締 結 年 月 日	協 定 市 町 村
三重県内消防相互応援協定	平成19年3月1日締結	四日市市長ほか県内28市町長、5消防組合管理者及び三重県知事

(2) 船舶消防に関する応援協定

協 定 名	締 結 年 月 日	協 定 市 町 村
船舶消防に関する業務協定	昭和46年5月22日締結	四日市市消防本部、四日市海上保安部

(3) 高速道路における消防応援協定

協 定 名	締 結 年 月 日	協 定 市 町 村
三重県内高速道路等における消防相互応援協定	平成31年1月31日締結	桑名市・四日市市・鈴鹿市・亀山市・津市 松阪市・伊勢市・木曾岬町・東員町・朝日町・川越町・菰野町・多気町・玉城町・大台町・大紀町・紀北町・松阪地区広域消防組合・紀勢地区広域消防組合・三重紀北消防組合

警

防

一 目 統 計

令和3年中

火 災 件 数		74 件
損 害 額		114,536 千円
出 火 率		2.2 件
建 物 焼 損 床 面 積		1,484 m ²
建 物 焼 損 表 面 積		92 m ²
最も多かった火災原因	放火（放火の疑いを含む）	9 件
火災種別件数		
建 物 火 災		37 件
林 野 火 災		1 件
車 両 火 災		12 件
船 舶 火 災		0 件
そ の 他 火 災		24 件 (24件中 枯草火災 9件)
火災多い少ない		
火災の多かった月	2月	13 件
火災の少なかった月	9、10、12月	2 件
火災の多かった時間帯	8時～9時、12時～13時	8 件
火災の少なかった時間帯	2時～3時、3時～4時 16時～17時、21時～22時	0 件
火災の一番多かった日	2月8日、2月11日、3月11日 4月14日、4月28日、11月2日 11月12日、11月24日	2 件

令和3年中の火災概要

1 火災の概要

令和3年中の火災は74件で、前年の90件と比較して16件の減少となりました。

火災種別では、建物火災が37件と全火災の50%を占め、次いでその他火災が24件(32.4%)、車両火災は、12件(16.2%)、林野火災は、1件(1.4%)船舶火災は、発生していません。

火災の損害は、焼損床面積が1,484㎡、焼損棟数が54棟、損害額が1億1,453万6千円、死者が2人、負傷者が13人となっています。

損害額は、前年の2億9,001万円と比較して1億7,547万4千円の減少となり、焼損床面積は、前年の1,026㎡と比較して458㎡の増加となっています。

出火率(人口1万人当たりの出火件数をいう。)は、2.2件で、前年の2.7件と比較して0.5件の減少となっています。

月別発生状況は、2月が13件と最も多く、次いで11月が11件となっています。一方、9、10、12月が2件と最も少ない月となっています。

2 出火原因

出火原因の第1位は放火(放火の疑いを含む。以下同じ。)が9件と全体の12.2%を占め昨年に引き続き出火原因第1位となっています。第2位はたき火の6件で全体の8.1%を占めています。続いて、たばこ、こんろ、ストーブが5件で全体の6.8%を占めています。

3 火災による死者

火災による死者は、2人発生し、前年より1人の増加となりました。

また、年齢別でみると、30歳代の死者が2人となっています。

4 火災による負傷者

火災による負傷者は、13人発生し、前年より2人の増加となりました。

また、年齢別では、30歳代が3人、40歳代が1人、50歳代が2人、60歳代が3人、70歳代が1人、80歳代が2人、90歳代が1人となっています。

負傷者の発生した経過別では、消火中が7人、避難中が1人、作業中が2人、その他が3人となっています。

5 初期消火の実施

74件の火災において45件の初期消火が実施され、成功は23件となっています。

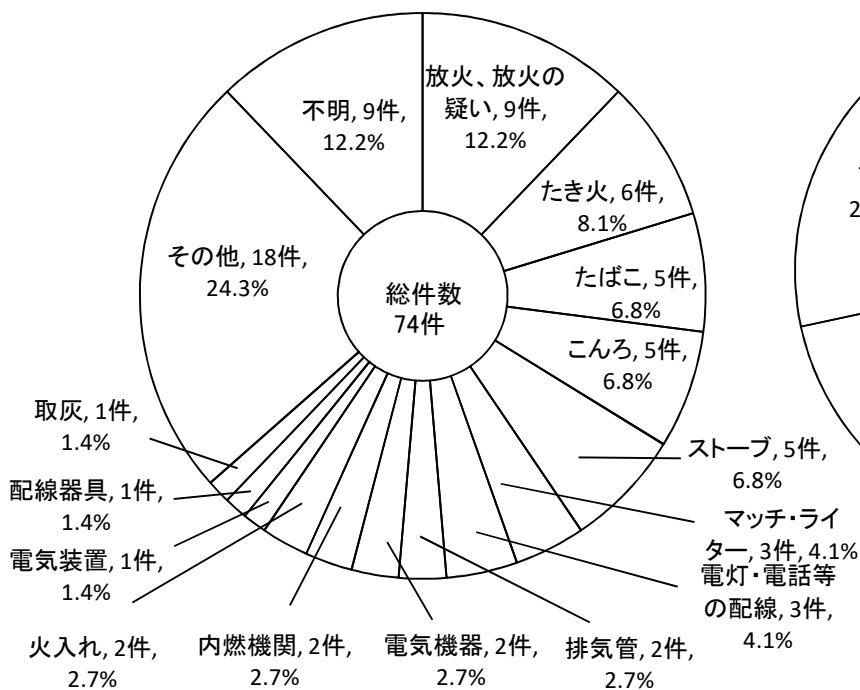
初期消火器具	消火器	消火設備	水道等	衣類をかけた	もみ消した	その他
実施件数	18	0	20	0	2	5
成功	11	0	8	0	2	2

火 災 概 要

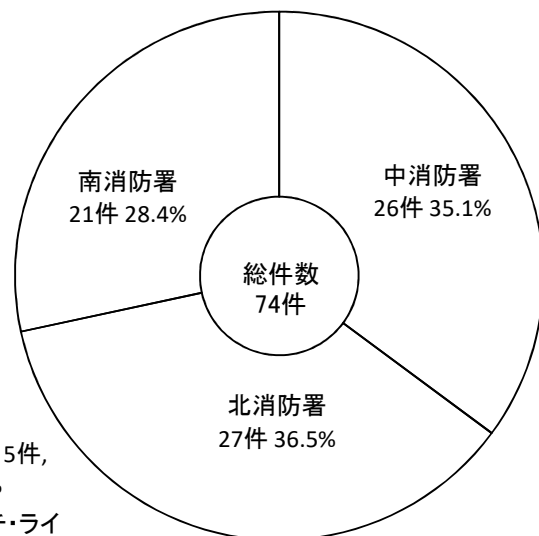
(令和3年中)

火 災 件 数	74 件
建 物 火 災 件 数	37 件
建 物 以 外 火 災 件 数	37 件
建 物 焼 損 床 面 積	1,484 m ²
建 物 焼 損 表 面 積	92 m ²
林 野 焼 損 面 積	3 a
損 害 額	114,536 千円
死 者	2 人
負 傷 者	13 人

原因別火災件数



消防署別火災件数



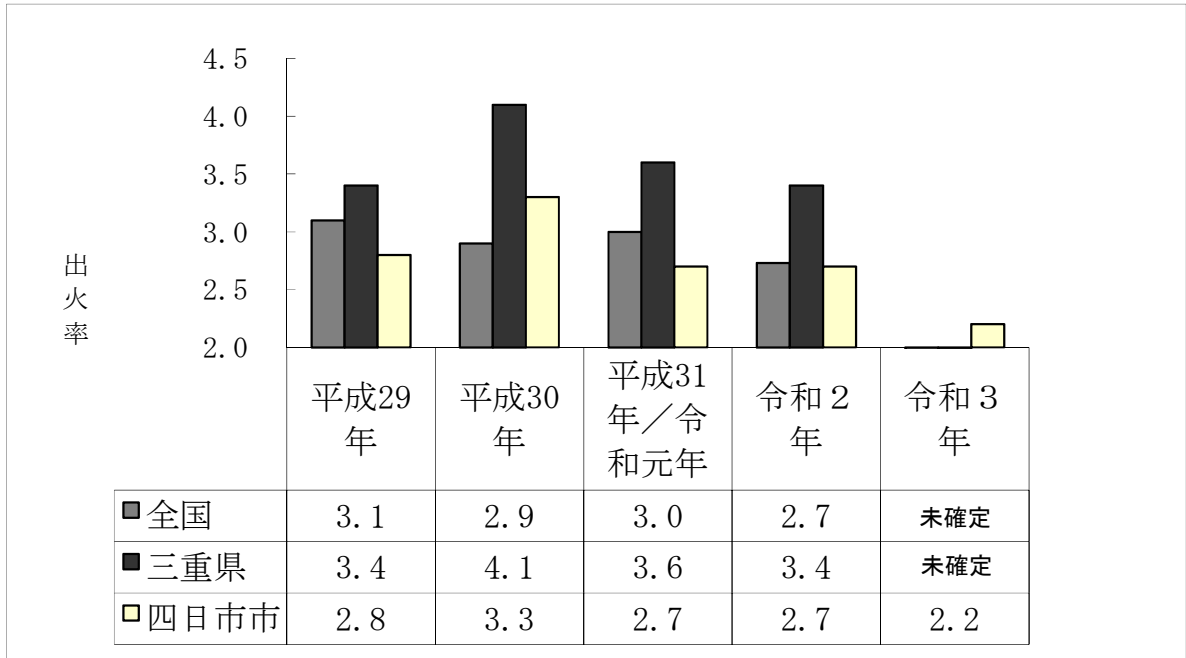
※小数点以下第2位で四捨五入。
 ※四捨五入により100%にならないことがあります。

火 災 発 生 状 況 比 較

区 分	年 別	平成29年	平成30年	平成31年／ 令和元年	令和2年	令和3年
	全 国	火 災 件 数	39,373	37,981	37,683	34,691
出 火 率		3.1	2.9	3.0	2.7	未確定
一件当たり損害額(千円)		2,269	2,228	2,410	2,990	未確定
三 重 県	火 災 件 数	634	738	660	615	未確定
	出 火 率	3.4	4.1	3.6	3.4	未確定
	一件当たり損害額(千円)	1,384	1,954	2,717	2,387	未確定
四日市市 (朝日、 川越町舎)	火 災 件 数	93	110	92	90	74
	出 火 率	2.8	3.3	2.7	2.7	2.2
	一件当たり損害額(千円)	943	1,439	5,239	3,222	1,548

$$\text{出火率} = \frac{\text{出火件数}}{\text{人口}} \times 10,000$$

出 火 率 比 較



地区別火災発生状況

(令和3年中)

火災状況 地区別	火災件数							焼損棟数										り災世帯数				焼損面積			死傷者			損害額 (千円)											
	屋外						計	火元					類焼					全損	半損	小損	り災人員	建物焼損床面積 (㎡)	建物焼損表面積 (㎡)	林野 (a)	死者	30日死者	負傷者	建物		船舶	航空機	車両	林野	その他	爆発	計			
	建物	船舶	航空機	車両	林野	その他		その他(枯草)	全焼	半焼	部分焼	ぼや	計	全焼	半焼	部分焼	ぼや											計	建造物								収容物		
																																						建造物	収容物
合計	37	0	0	12	1	15	9	74	8	5	8	16	37	1	0	6	10	17	8	4	29	41	86	1,484	92	3	2	0	13	62,752	43,225	0	0	7,537	0	1,022	0	114,536	
中消防署管内	計	17	0	0	2	0	4	2	25	2	3	3	9	17	1	0	4	3	8	3	0	20	23	53	344	65	0	1	0	8	35,605	16,987	0	0	151	0	61	0	52,804
	共同	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	84	0	0	0	0	0	0	84	
	同和	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	中央	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	港	2	0	0	1	0	0	0	3	0	1	0	1	2	0	0	0	0	0	1	0	0	1	3	54	0	0	0	0	3	21,392	624	0	0	0	0	0	0	22,016
	浜田	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	橋北	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	海蔵	3	0	0	0	0	0	3	1	0	1	1	3	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	26	15	0	0	0	1	1,588	726	0	0	38	0	0	0	2,352	
	常磐	3	0	0	0	0	1	4	0	1	1	1	3	1	0	0	1	2	1	0	12	13	31	139	1	0	1	0	1	4,200	1,346	0	0	0	0	7	0	5,553	
	川島	1	0	0	0	0	2	4	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	23	0	24	
	神前	2	0	0	0	0	0	2	1	0	0	1	2	0	0	2	2	4	1	0	3	4	9	93	6	0	0	0	0	1,612	108	0	0	0	0	0	0	1,720	
	桜	2	0	0	1	0	0	3	0	1	0	1	2	0	0	1	0	1	0	0	2	2	7	31	10	0	0	0	0	6,311	38	0	0	113	0	0	0	6,462	
	県	2	0	0	0	0	0	2	0	0	1	1	2	0	0	0	0	0	0	2	2	2	2	1	33	0	0	0	1	502	20	0	0	0	0	0	0	522	
	三重	1	0	0	0	0	1	3	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14,040	0	0	0	0	31	0	14,071	
北消防署管内	計	12	0	0	5	0	5	4	26	3	1	4	4	12	0	0	2	1	3	4	3	6	13	19	877	24	0	0	0	3	23,245	25,681	0	0	3,725	0	5	0	52,656
	羽津	3	0	0	0	0	1	5	0	1	0	2	3	0	0	0	1	1	0	3	1	4	8	32	16	0	0	0	1	7,451	272	0	0	0	0	5	0	7,728	
	富田	1	0	0	1	0	0	2	1	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	431	5	0	0	0	0	7,212	24,806	0	0	3,000	0	0	0	35,018	
	富洲原	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	大矢知	3	0	0	0	0	2	5	0	0	2	1	3	0	0	0	0	0	0	0	2	2	3	5	0	0	0	0	0	458	71	0	0	0	0	0	0	529	
	八郷	2	0	0	1	0	0	4	1	0	1	0	2	0	0	1	0	1	4	0	1	5	6	401	3	0	0	0	1	7,984	480	0	0	150	0	0	0	8,614	
	下野	1	0	0	0	0	1	2	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	2	0	0	0	0	0	106	1	0	0	0	0	0	0	107	
	保々	1	0	0	2	0	0	4	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0	1	28	50	0	0	175	0	0	0	253	
	朝日町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	川越町	1	0	0	1	0	1	4	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	6	1	0	0	400	0	0	0	407	
南消防署管内	計	8	0	0	3	1	6	3	21	3	1	1	3	8	0	0	0	6	6	1	1	3	5	14	263	3	3	1	0	2	3,902	557	0	0	1,531	0	556	0	6,546
	塩浜	0	0	0	1	0	3	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	94	0	556	0	650	
	日永	1	0	0	0	0	2	3	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	四郷	4	0	0	0	0	0	4	2	1	1	0	4	0	0	0	4	4	1	1	1	3	6	183	3	0	0	0	1	2,881	93	0	0	0	0	0	0	2,974	
	内部	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	200	0	0	0	200	
	河原田	1	0	0	0	0	1	2	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	388	0	0	0	0	0	0	388	
	小山田	0	0	0	0	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	水沢	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	楠	2	0	0	1	0	0	3	1	0	0	1	2	0	0	0	2	2	0	0	2	2	8	80	0	0	1	0	0	1,021	76	0	0	1,237	0	0	0	2,334	
高速道路		0	0	0	2	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,130	0	400	0	2,530	

月別・曜日別・時間帯別火災発生状況

(令和3年中)

火災状況 月・曜日	出火件数							焼損棟数					焼損面積			死者負傷者		り災世帯数				り災 人員	損害額(千円)									
	計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	計	全焼	半焼	部分焼	ぼや	建物 床面積(m ²)	建物 表面積(m ²)	林野 面積(a)	死者	負傷者	計	全損	半損	小損		計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	爆発		
	合計	74	37	1	12			24	54	9	5	14	26	1,484	92	3	2	13	41	8	4		29	86	114,536	105,977		7,537			1,022	
月別	1月	9	6		1		2	10	3		3	3	848	21			3	6	4		2	9	55,493	55,360		132			1			
	2月	13	8		1		4	10	2		1	7	52	2			4				4	9	1,677	1,564		113						
	3月	10	3	1	2		4	4		1		3	36		3	1	2	2			1	7	1,616	1,410		175				31		
	4月	8	5		1		2	6		2	1	3	63	26			1	4			3	1	7	14,030	14,030							
	5月	6	3		1		2	9	2	1	3	3	143	9		1	1	7	2			5	16	5,893	2,338	3,000					555	
	6月	4	3		1			5	1		1	3	83				2	1				1	3	2,395	1,158		1,237					
	7月	4	1		2			1	1		1	1		33			1	1				1	1	1,182	492		290				400	
	8月	3	1					2	2			1	2				1	2				2	4	114	109						5	
	9月	2	1					1	1			1	78					1				1	3	582	582							
	10月	2	1		1			1	1			1												436	36		400					
	11月	11	3		2			6	3			2	1	99				1	11				11	23	8,601	6,381		2,190				30
	12月	2	2						3	1	1		80	1			2	2	2				4	22,517	22,517							
不明																																
合計	74	37	1	12			24	54	9	5	14	26	1,484	92	3	2	13	41	8	4	29	86	114,536	105,977		7,537			1,022			
曜日別	日曜日	7	3		2		2	5	1		1	2	401	1			1	5	4		1	5	9,461	8,498		540				423		
	月曜日	13	7		2		4	9	1		3	5	83	35			1	6			6	13	3,046	1,715		1,331						
	火曜日	9	5		3			1	9	3		4	2	581	22			11				11	23	44,047	38,781		5,228				38	
	水曜日	12	8	1			3	10		3	3	4	209	10	3		3	4	1	1	2	10	32,118	32,118								
	木曜日	13	4		3			6	4			4	4				3	2				2	6	967	87		325				555	
	金曜日	10	5		2			3	11	2	2	2	5	175	23		1	1	10	2	3	5	20	10,170	10,056		113				1	
	土曜日	9	4					5	6	1		1	4	29	1		1	4	3	1		2	9	14,649	14,644						5	
	不明	1	1					1	1	1			6											78	78							
合計	74	37	1	12			24	54	9	5	14	26	1,484	92	3	2	13	41	8	4	29	86	114,536	105,977		7,537			1,022			
時間帯別	0~1時	2	1		1			1				1	1					1			1	1	230	30		200						
	1~2時	1	1					1				1					1				1	5	20	20								
	2~3時																															
	3~4時																															
	4~5時	1	1					1			1		89					10				10	22	4,906	4,899						7	
	5~6時	4	1				3	1		1			54				1	1	1			3		22,571	22,016						555	
	6~7時	2			2																			1,637			1,637					
	7~8時	1			1																			113			113					
	8~9時	7	2		2			3	3		1		2	32	16			3	4		3	1	8	11,231	7,686		3,140				405	
	9~10時	3	2					1	2				2											1	1		1					
	10~11時	3	3						9	2	1	2	4	143	7		1	1	6	2		4	14	2,723	2,723							
	11~12時	3	2					1	3		1	2		33	10			2				2	3	6,451	6,451							
	12~13時	7	5					2	6		1	1	4	46				3	2		1	1	3	16,864	16,864							
	13~14時	5	1		1			3	1				1					1						197	30		145				22	
	14~15時	5	2	1	1			1	5	2		1	2	96	15	3		1	1			1	3	1,977	1,909		68					
	15~16時	5	2					3	5	2			3	69	3			1	1	1			1	1,086	1,086							
	16~17時																															
	17~18時	4	3		1				4	1		2	1	434	5			1				1	4	34,091	32,101		1,990					
	18~19時	2	2						2				2					1					5	6	6							
	19~20時	2			1			1																								
	20~21時	5	2		1			2	2			1	1		2			2					3	104	10		94				1	
	21~22時																															
	22~23時	2	1					1	1				1					1				1	2	1	1							
	23~0時	1			1																			150			150					
不明	9	6					3	8	2		4	1	487	34			2	7	4		3	9	10,176	10,144						32		

出火原因別火災発生概況

(令和3年中)

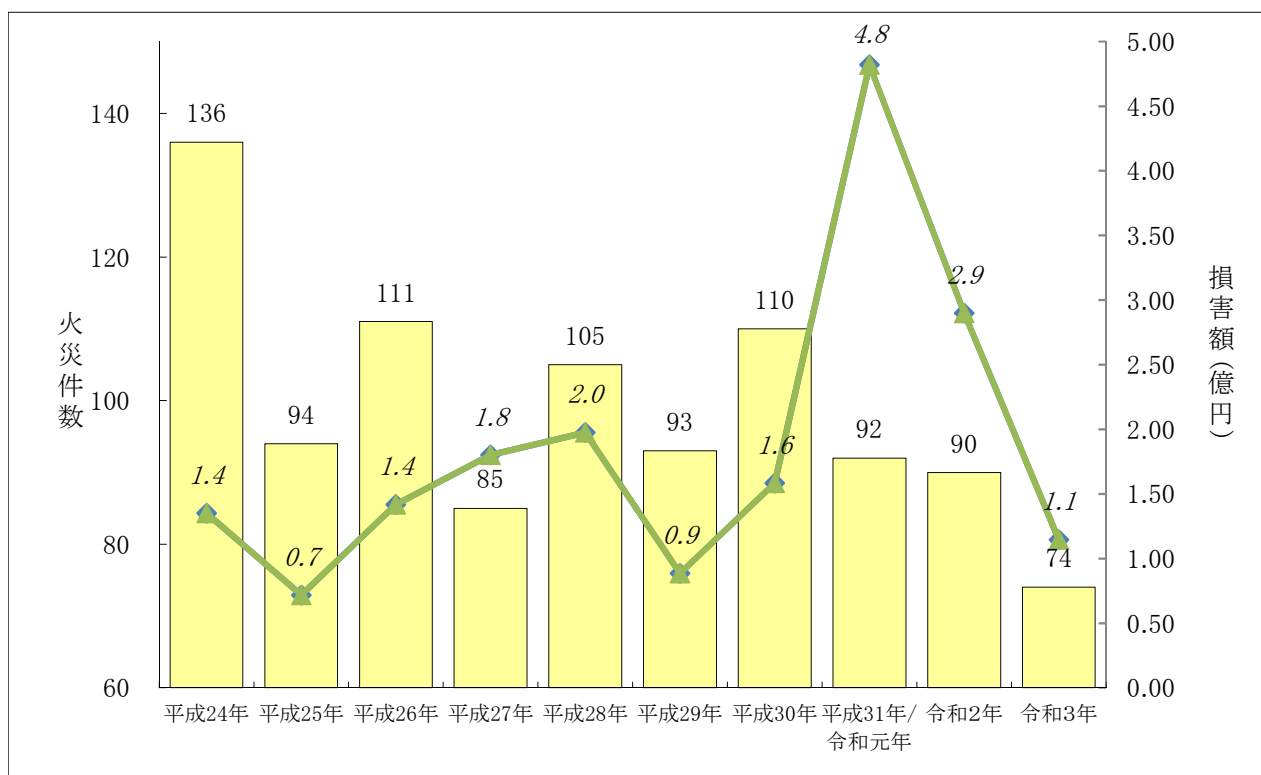
原因別	出火件数							焼損棟数					焼損面積			死者負傷者		り災世帯数				り災 人員	損害額(千円)							
	計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	計	全焼	半焼	部分焼	ぼや	建物	建物	林野	死者	負傷者	計	全損	半損	小損		計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	爆発
													床面積(m ²)	表面積(m ²)	面積(a)															
合計	74	37	1	12			24	54	9	5	14	26	1,484	92	3	2	13	41	8	4	29	86	114,536	105,977		7,537			1,022	
たばこ	5	2		1			2	3	1	1	1	28	1			1	2	1		1	2	2	1,148	948		200				
こんろ	5	5					5			3	2	15				1	3			3	4	1,677	1,677							
かまど																														
風呂かまど																														
炉																														
焼却炉																														
ストーブ	5	5					8	2	2	2	2	507	16			2	7	5	1	1	14	32,658	32,620		38					
こたつ																														
ボイラー																														
煙突・煙道																														
排気管	2			2																			690			290			400	
電気機器	2	1		1			1				1						1			1	4						2			
電気装置	1	1					1			1			2				1			1	2	3		3						
電灯・電話	3	2					1	3		1	1	1	31	10			1			1	2	6,345	6,344						1	
等の配線																														
内燃機関	2			2																			4,990			4,990				
配線器具	1	1					5	1		2	2	93	6				4	1		3	9	1,690	1,690							
火あそび																														
マッチ	3	2		1			4	1			3	43	2			3						730	585		145					
ライター																														
たき火	6						5									3														
溶接機																														
灯																														
衝突の火花																														
取灰	1	1					3	1			2	80					1			1	3	1,077	1,077							
火入れ	2			1			1															52			30				22	
放火	7	3					4	5	1	1	3	50	1		2	1	3	1		2	10	698	666						32	
放火の疑い	2	1					1	1	1			6										78	78							
その他	18	10		2			6	11		2	8	110	49			4	7			3	4	25,537	23,340		1,637			560		
不明	9	3		2			4	4	1		2	1	521	5			11				11	37,161	36,947		207				7	

過去10年間 年別主な火災原因

年 別	火災件数	主 な 火 災 原 因		
平成24年	136件	放 火 34件 (放火の疑い含む)	た ば こ 16件	た き 火 14件
平成25年	94件	た き 火 13件	放 火 11件 (放火の疑い含む)	た ば こ 10件
平成26年	111件	放 火 17件 (放火の疑い含む)	た き 火 13件	た ば こ 各 こ ん ろ 7件
平成27年	85件	放 火 19件 (放火の疑い含む)	た ば こ 10件	溶接機・切断機 5件
平成28年	105件	放 火 15件 (放火の疑い含む)	た ば こ 6件	こ ん ろ 5件
平成29年	93件	放 火 17件 (放火の疑い含む)	た き 火 13件	た ば こ 7件
平成30年	110件	放 火 18件 (放火の疑い含む)	た ば こ 10件	た き 火 7件
平成31年 ／令和元年	92件	放 火 14件 (放火の疑い含む)	た ば こ 9件	た き 火 8件
令和2年	90件	放 火 17件 (放火の疑い含む)	た き 火 8件	た ば こ 7件
令和3年	74件	放 火 9件 (放火の疑い含む)	た き 火 6件	たばこ、こんろ 各 ストーブ 5件

過去10年間の火災発生状況

区分 年別	火 災 件 数						損害額 (千円)	損 害 面 積		死 傷 者	
	合 計	建 物	林 野	車 両	船 舶	そ の 他		建物焼損 表面積(m ²)	林野 (a)	死者	負傷者
平成24年	136	62	5	18	2	49	135,202	1,129	14	2	24
平成25年	94	58	6	6	0	24	71,732	193			
平成26年	111	63	4	12	1	31	141,894	1,235	58	4	9
平成27年	85	50	0	15	0	20	180,097	425			
平成28年	105	70	0	9	0	26	197,464	2,134	23	7	28
平成29年	93	34	7	11	0	41	87,689	511			
平成30年	110	63	2	18	0	27	158,292	2,686	0	3	14
平成31年/ 令和元年	92	60	3	8	1	20	481,993	238			
令和2年	90	50	1	11	0	28	290,017	1,657	60	2	9
令和3年	74	37	1	12	0	24	114,536	347			
平 均	99	55	3	12	0	29	185,892	1,896	14	5	14
								873			
								5,877	69	2	6
								1,033			
								1,026	2	1	11
								2,731			
								1,484	3	2	13
								92			
								2,125	24	3	14
								687			



海上・沿岸防災等
 (I B K、上野マリタイム・ジャパン株式会社委託状況)

(令和3年中)

種 別	月 別	合 計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
災 害 出 動	火 災	0												
	水難救助	0												
	流出油	0												
	その他	0												
警 防	警 備	0												
	警 戒	0												
	警防調査	0												
	その他	0												
予 防	広 報	0												
	予防調査	0												
	その他	0												
訓 練	災害防御	0												
	航 海	0												
	操 船	0												
	水難救助訓練	3											3	
	その他	0												
合 計		3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0

火災・救助以外の消防車両の出動

令和3年中

分類	件数	説明
交通支援	75	国道1号、23号等通行量の多い道路における救急支援のための出動
救急支援	1,580	消防隊・救助隊による上記以外の救急の支援出動
たき火	31	たき火等の怪煙による調査警戒のための出動
交通油漏れ	48	交通事故等により、人的損害を生じ、又はそのまま放置すれば爆発、火災若しくは人的被害を生じる恐れがある危険物が、道路上に漏れ出たものによる出動
その他漏油	10	人的損害を生じ、又はそのまま放置すれば爆発、火災若しくは人的被害を生じる恐れがある危険物が、池、湖、河川、海等に流れ出たものによる出動
ガス漏れ	4	人的損害を生じ、又はそのまま放置すれば爆発、火災若しくは人的被害を生じる恐れがあるガス又は毒劇物等の漏洩による出動
機器発報	167	直接通報、火災通報、即時通報及び自動火災報知設備の発報等による出動で非火災であったもの
虚報	3	出動した結果、いたずら等であったもの
誤報	31	出動した結果、誤報、誤認であったもの
非火災事故	32	火災調査の結果、火災に至らないもの
捜索	0	山岳遭難、水難事故に伴う捜索等による出動
その他	34	「警戒」から「捜索」までに掲げる種別以外による出動
総計	2,015	

消 防 水 利 状 況

(令和4年4月1日)

		合 計	消 火 栓				防 火 水 槽						そ の 他								
			小計	工業用水		上水道		小計	100	60	40	100	40	40	小計	井戸	プールの	池沼	河川	海運河	
				双口	単口	双口	単口		m3耐震	m3耐震	m3耐震	m3以上	m3以上	m3未満							
合 計		7,526	6,677	85	101	46	6,445	621	41	52	208	7	218	95	228	50	70	14	76	18	
中消防署管内	中署	共 同	153	139	0	1	4	134	9	4	0	0	0	4	1	5	3	2	0	0	0
		同 和	14	12	0	0	1	11	2	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0
		中 央	60	52	0	0	1	51	4	2	0	0	0	0	2	4	4	0	0	0	0
		港	128	115	4	3	2	106	5	2	0	0	0	1	2	8	0	0	0	0	8
		浜 田	267	245	4	1	4	236	16	5	1	4	1	3	2	6	3	2	0	1	0
		橋 北	147	127	1	5	2	119	12	3	0	2	0	4	3	8	3	2	0	3	0
		海 蔵	218	202	1	0	0	201	11	1	2	3	0	4	1	5	0	2	0	3	0
		常 磐	308	277	12	4	2	259	19	0	4	4	0	10	1	12	2	3	0	7	0
	中 央	川 島	205	184	0	0	1	183	18	0	2	1	0	13	2	3	0	1	1	1	0
		神 前	213	193	0	0	0	193	17	0	2	4	1	6	4	3	0	3	0	0	0
		県	263	215	0	0	1	214	40	0	2	18	0	15	5	8	0	2	0	6	0
		三重	457	376	5	5	5	361	69	2	5	42	0	12	8	12	0	6	0	6	0
	西	桜	292	265	0	0	0	265	19	0	1	7	0	11	0	8	0	3	0	5	0
	小 計		2,725	2,402	27	19	23	2,333	241	19	19	85	2	85	31	82	15	26	1	32	8
北消防署管内	北署	羽 津	304	283	4	17	5	257	13	2	3	2	0	4	2	8	2	3	1	1	1
		富 田	251	224	4	3	0	217	10	2	1	4	1	1	1	17	9	3	0	3	2
		富洲原	247	216	6	1	0	209	15	3	0	8	0	3	1	16	7	2	0	0	7
		大矢知	305	280	0	1	3	276	19	0	4	9	0	3	3	6	3	2	1	0	0
	北 部	八 郷	298	255	3	3	0	249	40	0	1	14	0	18	7	3	0	3	0	0	0
		下 野	210	190	0	0	0	190	17	0	1	11	0	3	2	3	0	2	0	1	0
		保 々	257	220	0	0	0	220	33	0	0	5	1	17	10	4	0	2	1	1	0
	朝 川	朝日町	285	236	0	13	2	221	46	0	0	6	0	21	19	3	0	3	0	0	0
		川越町	557	522	2	11	0	509	23	0	0	19	0	4	0	12	2	4	0	6	0
	小 計		2,714	2,426	19	49	10	2,348	216	7	10	78	2	74	45	72	23	24	3	12	10
南消防署管内	南署	塩 浜	240	213	8	13	1	191	14	6	1	3	1	2	1	13	8	2	0	3	0
		日 永	304	272	15	5	6	246	16	3	1	4	1	5	2	16	4	3	1	8	0
		内 部	340	309	0	2	1	306	22	0	3	6	0	10	3	9	0	3	1	5	0
		河原田	149	129	5	5	0	119	15	1	0	6	0	8	0	5	0	1	0	4	0
		楠	306	265	11	4	0	250	39	3	16	12	0	6	2	2	0	2	0	0	0
	南 部	四郷	362	334	0	4	5	325	16	2	2	2	0	7	3	12	0	6	0	6	0
		小山田	219	182	0	0	0	182	26	0	0	6	0	15	5	11	0	2	5	4	0
		水 沢	167	145	0	0	0	145	16	0	0	6	1	6	3	6	0	1	3	2	0
	小 計		2,087	1,849	39	33	13	1,764	164	15	23	45	3	59	19	74	12	20	10	32	0

開発行為に関する事前協議等について

概要

本市では、地域の計画的な発展と良好な市街地の形成を図るため、都市計画法（昭和43年法律第100号）の規定に基づき、良質な開発行為等を誘導し、もって住みよいまちづくりの実現と地域住民の健全な生活環境を保全することを目的として、開発許可等に関し必要な事項について四日市市開発許可等に関する条例を定めています。

消防本部としては、四日市市開発許可等に関する条例に基づき、万一の災害が発生しても、安全かつ円滑な災害防ぎょ活動が実施できるよう、消防活動上必要な施設の設置等、宅地開発行為に関し必要な事項の同意、協議について審査、指導をしています。

\		令和2年度	令和3年度
審査件数		64件	79件
指導 内容	水利関係	4件	5件
	消防活動用空地	0件	1件
	その他	0件	0件
	指導件数合計	4件	6件

緊急消防援助隊の派遣体制

緊急消防援助隊は、平成7年1月に発生した阪神・淡路大震災の教訓を踏まえて、平成7年6月に創設されています。各地で大規模災害が発生した場合に、その被災都道府県内の消防力だけでは対応できないときに、緊急消防援助隊に登録している他の都道府県の市町村消防本部から、被災地に応援出動します。三重県隊のうち本市の派遣体制は次のとおりです。

登録隊の種類		登録車両	登録人数
県大隊指揮隊 (統合機動部隊指揮隊) (土砂・風水害機動支援部隊指揮隊) (NBC 災害即応部隊指揮隊)		本部 51 号	5 人 (15 人)
エネルギー・産業基盤災害即応部隊指揮隊		本部 61 号	4 人
消火小隊		北 1 号	4 人
		西 1 号	4 人
		南 1 号	4 人
		北部 2 号	4 人
救助小隊		中 41 号	5 人
救急小隊		西南救急 1 号	3 人
		北救急 1 号	3 人
後方支援小隊		支援 1	3 人
特殊災害小隊	毒劇物等対応小隊	南 41 号	4 人
	大規模危険物 火災等対応小隊	中 10 号	3 人
		中 71 号	2 人
		特装 1	2 人
		特装 2	2 人
特殊装備小隊	震災対応特殊車両小隊	重機 1	2 人
合計		19 隊 (3 隊)	69 人 (15 人)
重複を除く合計		16 隊	54 人

※ () 内は重複

令和4年4月1日現在

四日市市消防支援隊の活動状況

四日市市消防支援隊とは、大規模災害の発生時に迅速な市民対応と安全な市民生活を確保するため、四日市市消防本部の退職者が有する消防及び防災の知識、技術、経験を活かし、消防本部及び消防署等が行う消防、防災活動を支援する制度です。

【 活動内容 】

- (1) 消防本部、消防署及び消防分署の広報活動
 - ア 庁舎、資機材等の管理
 - イ 市民への機材貸出し（のこぎり、バール等の軽量機材）
 - ウ 避難者の応急手当
 - エ 避難者の広域避難地への案内
 - オ 支援物資の管理
- (2) 情報収集
 - ア 自宅周辺の被害状況の報告
 - イ 参集途上の道路、危険箇所及び建築物等の被害状況に係る報告
 - ウ 消防署等における住民からの情報収集
- (3) 消防本部、消防署及び消防分署が行なう災害活動の支援
 - ア 広域応援隊の誘導
 - イ 活動中の消防署員等の食糧及び飲料水等の供給
- (4) 地域防災活動の支援
 - ア 地域の防災リーダーとしての地元自治会が実施する地域防災活動等の支援

【 四日市市消防支援隊登録状況 】

令和4年4月1日現在 108名

防災教育センター利用状況

【概要】

平成9年4月に四日市市北消防署に併設された防災教育センターは、市民の皆様方に防災に関する知識や技術を高め、その行動を楽しみながら体験学習をして頂くことを目的として開設しました。

1階の防災展示体験室には、種々な体験資材を揃え楽しんで学習ができる施設とセミナールームが併設されており視聴覚設備を利用して防火・防災に関する種々なDVDやビデオテープを活用し防災意識を高めて頂き、また、2階の防災センターには、消防防災に関する会議等に利用して頂いております。

今後も、多くの市民の方々に防災意識を高めて頂くよう利用の促進に努めていきたいと考えております。

防災センター利用状況

令和3年度

区分 月別	防災展示体験室											防災センター			
	消防施設見学		自主 防災 隊	消防関係	自治会	会社 関係	官公庁	都市視	家族		個別		計	計	累計
	保・幼稚園	小中学校							子供	大人	子供	大人			
4月	件数					1			4	1		6	1	1	
	人員					10			7	5	1	23	18	18	
5月	件数								1			1	1	2	
	人員								2	2		4	15	33	
6月	件数			1		1			2	1		5	3	5	
	人員			5		29			3	2	1	40	81	114	
7月	件数		3						2			5	2	7	
	人員		88						6	3		97	88	202	
8月	件数		1						8			9	0	7	
	人員		3						14	10		27	0	202	
9月	件数		1									1	15	22	
	人員		4									4	5,323	5,525	
10月	件数	1	1						2	1		5	14	36	
	人員	124	124						1	3	1	253	8,264	13,789	
11月	件数	4	5				1			1		11	9	45	
	人員	178	451				7			6	3	645	629	14,418	
12月	件数		3						4			7	3	48	
	人員		75						6	7		88	75	14,493	
1月	件数								1			1	1	49	
	人員								2	1		3	12	14,505	
2月	件数								3			3	3	52	
	人員								6	5		11	89	14,594	
3月	件数								3			3	3	55	
	人員								4	3		7	72	14,666	
合計	件数	5	14	1		2		1	30	4		57			
	人員	302	745	5		39		7	51	41	6	1,202			

防災展示室月平均利用者数

100名

防災センター月平均利用者数

1,222名

四日市市防災指導員制度

近年、多発する大規模災害は、私たちに数多くの教訓を残しています。その教訓の中で重要性を増しているのが高齢者等の災害時要援護者の人たちへの防災対策です。

四日市市消防本部では災害に強い街づくりを目指して、平成8年度に防災指導員制度を創設しました。防災指導員制度は、防災に関し、豊富な経験と知識を有した者を指導員として任命、主にひとり暮らしの高齢者宅を訪問、防災診断として居宅の危険個所や地震発生時の注意点等を指導しています。

防災診断は平成8年度からスタートし、平成18・19年度には特別診断として住宅用火災警報器の設置を完了させています。市内全地域を3年計画で診断を行い、新たに令和3年度から9巡目の防災診断をスタート、順次更新をすることで、高齢者等の方々への安全・安心な暮らしに寄与するため努めていきます。

防災診断実施状況

令和3年度

診断対象区分		第1～第7回	第8回			第9回			総合計
		(H8.6～H29.3)	(H30年度)	(R1年度)	(R2年度)	(R3年度)	(R4年度)	(R5年度)	
対象世帯数	合計	34,779	1,713	1,361	1,677	1,064			40,594
	ひとり暮らし高齢者	32,928	1,594	1,248	1,546	963			38,279
	寝たきりの高齢者世帯等	1,238	75	87	94	79			1,573
	障害者等	613	44	26	37	22			742
診断世帯数	合計	24,647	1,130	864	976	654			28,271
	ひとり暮らし高齢者	23,215	1,045	778	885	576			26,499
	寝たきりの高齢者世帯等	952	64	74	73	62			1,225
	障害者等	480	21	12	18	16			547

防災指導員による指導状況

指導内容		件数
防火管理	暖房器具の性能、設置場所及び取扱等に問題があり火災予防上危険である。	
	調理器具の性能、設置場所及び取扱等に問題があり火災予防上危険である。	
	風呂釜の性能、設置場所及び取扱等に問題があり火災予防上危険である。	
	たばこの始末及びマッチ、ライター、ロウソク等の火気の管理が適切でない。	
	ガス器具、ガスボンベ及びガス警報機等管理及び付近の整理が適切でない。	
	屋内に灯油等の危険物が放置され、その管理が適切でない。	
	電気配線が適切でない。	
	屋内の整理整頓が必要である。	5
住宅用火災警報器が未設置	205	
地震対策	建物の構造等に問題があり、地震が発生した場合に危険である。	
	就寝場所に家具があるため、地震が発生した場合、家具が転倒し負傷する危険がある。	31
	地震や風水害の発生により避難の必要があるときに、自力で避難することができない。	
	燃焼器具等の燃料タンクが屋内で地震が発生した場合、転倒の危険がある。	
指導件数合計		241

防火・防災教室の経緯と現状

令和4年3月31日

<p>1. 防災教育の目的</p>	<p>阪神・淡路大震災を教訓とした、「災害に強い人づくり」事業として、小・中学校の防災教育をとおり、災害時における行動等について理解を深め、防災意識の高揚を図ります。</p>
<p>2. 活動実績</p> <p>(1)防災教室 (原則として中学1年生を対象として1学期に実施)</p>	<p>管内の中学1年生を対象として平成8年度からモデル校を指定して試行的に実施。</p> <p>平成13年度から管内の中学校（私立中を含む）28校で実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度実施校（27校・3,025人） ・平成30年度実施校（27校・3,031人） ・令和元年度実施校（28校・3,262人） ・令和2年度実施校（7校・749人） ・令和3年度実施校（26校・3,101人）
<p>(2)防火教室 (小学3年生を対象として2学期に実施)</p>	<p>管内の小学3年生を対象として昭和56年度より管内の小学校を対象として実施。</p> <p>平成25年度から管内の小学校（私立小を含む）44校で実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度実施校（43校・3,074人） ・平成30年度実施校（43校・3,068人） ・令和元年度実施校（42校・3,958人） ・令和2年度実施校（42校・4,667人） ・令和3年度実施校（40校・2,883人）
<p>3. 標準カリキュラム</p> <p>(1)防災教室（中学生）</p>	<p>(ア) スライド等を活用した防災講話 (阪神淡路大震災、新潟中越地震、東海豪雨、東日本大震災等)</p> <p>(イ) 応急手当の実技指導（心肺蘇生法）等</p> <p>(ウ) 防災啓発車による地震体験</p>
<p>(2)防火教室（小学生）</p>	<p>(ア) テキスト「みんなで防火」を用いた防火講話</p> <p>(イ) 体験実技</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水消火器による模擬消火体験 ・スモークマシンによる煙体験

救助 ・ 救急

一 目 統 計

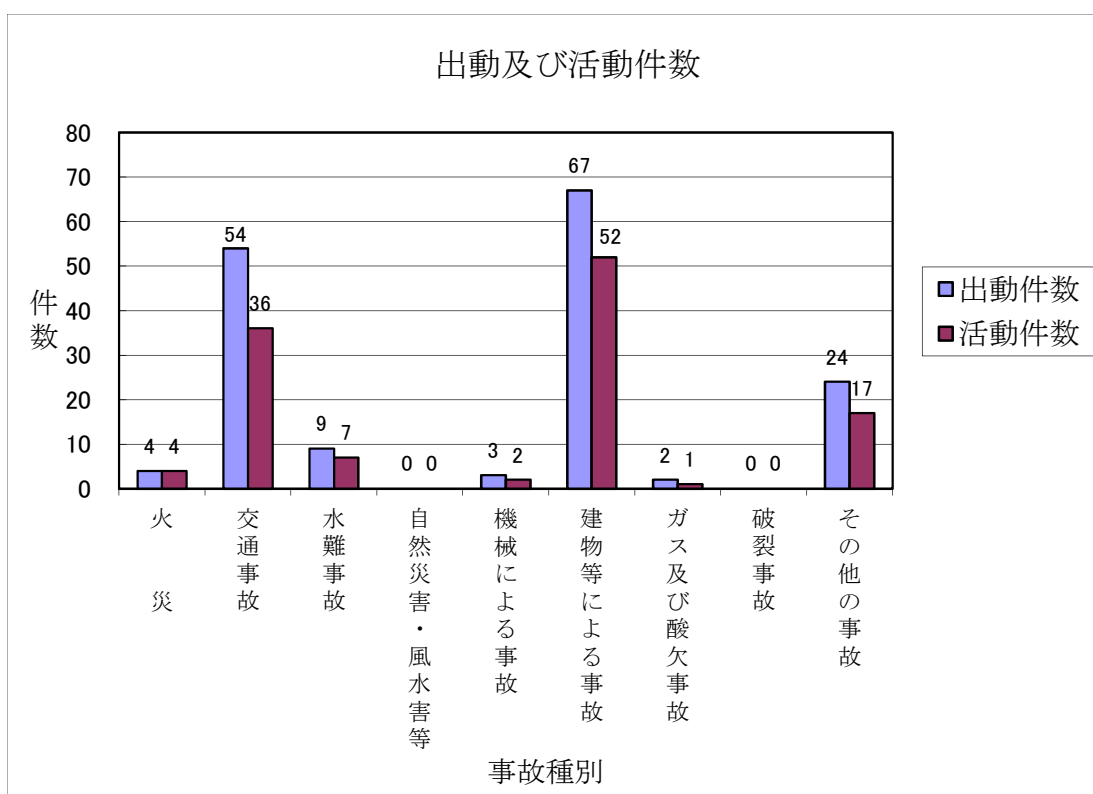
令和3年中

救 助 出 動 件 数		1 6 3 件
	(うち 高度救助隊 出動件数)	1 0 7 件)
救 助 活 動 件 数		1 1 9 件
	(うち 高度救助隊 活動件数)	5 2 件)
活 動 割 合		7 3 %
出 動 延 べ 隊 数		6 7 6 隊
救 助 人 員		1 1 6 人
1 日あたりの平均出動件数		0. 4 件
活動1回あたりの平均救助人員		1 人
出 動 件 数 の 多 か っ た 月	7 月	2 0 件
出 動 件 数 の 少 な っ た 月	1 0 月	8 件
出 動 件 数 の 多 っ た 曜 日	水曜日	3 2 件
出 動 件 数 の 少 な っ た 曜 日	日曜日	1 2 件
出 動 件 数 の 多 っ た 地 区	四郷地区	1 6 件
出 動 件 数 の 少 な っ た 地 区	同和地区	0 件
出 動 件 数 の 多 っ た 時 間 帯	1 0 ~ 1 1、1 5 ~ 1 6 時	1 7 件
出 動 件 数 の 少 な っ た 時 間 帯	2 ~ 3、3 ~ 4 時	1 件
出 動 の 多 っ た 事 故 種 別	建物等による事故	6 7 件
出 動 件 数 の 1 番 多 っ た 日	5 月 5 日	4 件

救出・救助活動状況

(令和3年中)

	火災	交通事故	水難事故	自然災害・風水害等	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	破裂事故	その他の事故	合計
出動件数	4	54	9	0	3	67	2	0	24	163
出動隊数	36	269	66	0	15	181	9	0	100	676
出動延べ人員	170	1,032	206	0	56	675	35	0	379	2,553
活動件数	4	36	7	0	2	52	1	0	17	119
救助人員	2	44	9	0	2	44	1	0	14	116



水難救助隊の災害出動概要

四日市港内、河川などで発生する乗用車の転落、レジャー中の事故等、早期に救助の必要がある水難救助事案に対応するため、平成15年4月に「水難救助隊」が発足し、令和4年4月1日現在、34名の水難救助隊員で活動しています。

水難救助隊は、水中での困難な救助活動を円滑に遂行するため、「潜水」という特殊技能を身に付け、更なる水難救助の知識・技術の向上を目指して日々錬成訓練を実施しています。

水難救助隊の出動回数及び訓練・研修回数

年 別	月別 種別	合計	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
			月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月
平成 29 年	災害出動 水難救助	4	0	0	2	1	0	0	0	0	1	0	0	0
	水難訓練	24	0	2	1	3	3	3	0	0	2	4	3	3
	新人研修	24	2	1	0	0	0	5	2	4	2	4	2	2
平成 30 年	災害出動 水難救助	10	0	0	1	0	2	3	0	1	1	0	2	0
	水難訓練	30	0	3	0	3	3	3	3	3	3	3	3	3
	新人研修	26	2	2	2	0	0	4	3	3	2	2	4	2
31 年 / 元 年	災害出動 水難救助	6	0	0	1	0	1	0	1	0	1	0	0	2
	水難訓練	30	0	3	0	3	3	3	3	3	3	3	3	3
	新人研修	22	0	0	3	0	0	4	2	3	1	3	4	2
令和 2 年	災害出動 水難救助	7	1	3	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1
	水難訓練	32	0	0	3	3	3	5	3	3	3	3	3	3
	新人研修	19	0	0	1	0	0	6	1	2	1	2	4	2
令和 3 年	災害出動 水難救助	9	1	2	0	0	0	0	0	2	3	1	0	0
	水難訓練	19	0	0	3	0	3	1	3	0	0	3	3	3
	新人研修	20	0	0	4	0	0	4	2	2	0	2	4	2

一 目 統 計

令和3年中

救 急 出 動 件 数		14,409件
搬 送 件 数		12,773件
不 搬 送 件 数		1,636件
搬 送 人 員		12,862人
	男	6,977人
	女	5,885人
一日あたりの平均出動件数		39.5件
一日あたりの平均搬送人員		35.2人
救急告示医療機関数		10施設
	四日市市消防本部管内 (四日市市、三重郡朝日町、川越町)	
出動件数の多かった月	8月	1,501件
出動件数の少なかった月	2月	1,036件
出動件数の多かった曜日	月曜日	2,173件
出動件数の少なかった曜日	土曜日	1,973件
出動件数の多かった地区	常磐地区	1,302件
出動件数の少なかった地区	同和地区	18件
出動件数の多かった時間帯	9時～10時	906件
出動件数の少なかった時間帯	3時～4時	235件
出動の多かった事故種別	急病	9,701件
出動件数の一番多かった日	8月23日	70件
出動件数の一番少なかった日	1月27日	20件

令和3年中の救急業務の概要

令和3年中の救急出動件数は14,409件で、前年に比べ806件の増加となりました。

また、搬送人員は12,862人で前年と比べ673人の増加となりました。

救急出動件数を事故種別構成比で見ると、「急病」が9,701件(67.3%)で最も多く、続いて「一般負傷」が2,025件(14.1%)、「交通事故」が1,058件(7.3%)、「転院搬送」が1,044件(7.2%)となりました。

「急病」は昭和47年以降から毎年連続して事故種別のトップを占めております。

救急車の利用状況については、管内の住民約23.4人に1人が救急車を利用したことになり、1日あたり、39.5件出動したことになります。

以下に救急搬送した傷病者について、『年齢層別』『傷病程度別』『地区別』などの観点から眺めた特徴的な傾向について示します。

『年齢層別』の傾向については、前年と比較して全年齢層で増加しました。最も多い年齢区分は「高齢者」で7,413人(57.6%)、続いて「成人」4,438人(34.5%)、「少年」472人(3.7%)、「乳幼児」470人(3.7%)、「新生児」69人(0.5%)となっています。

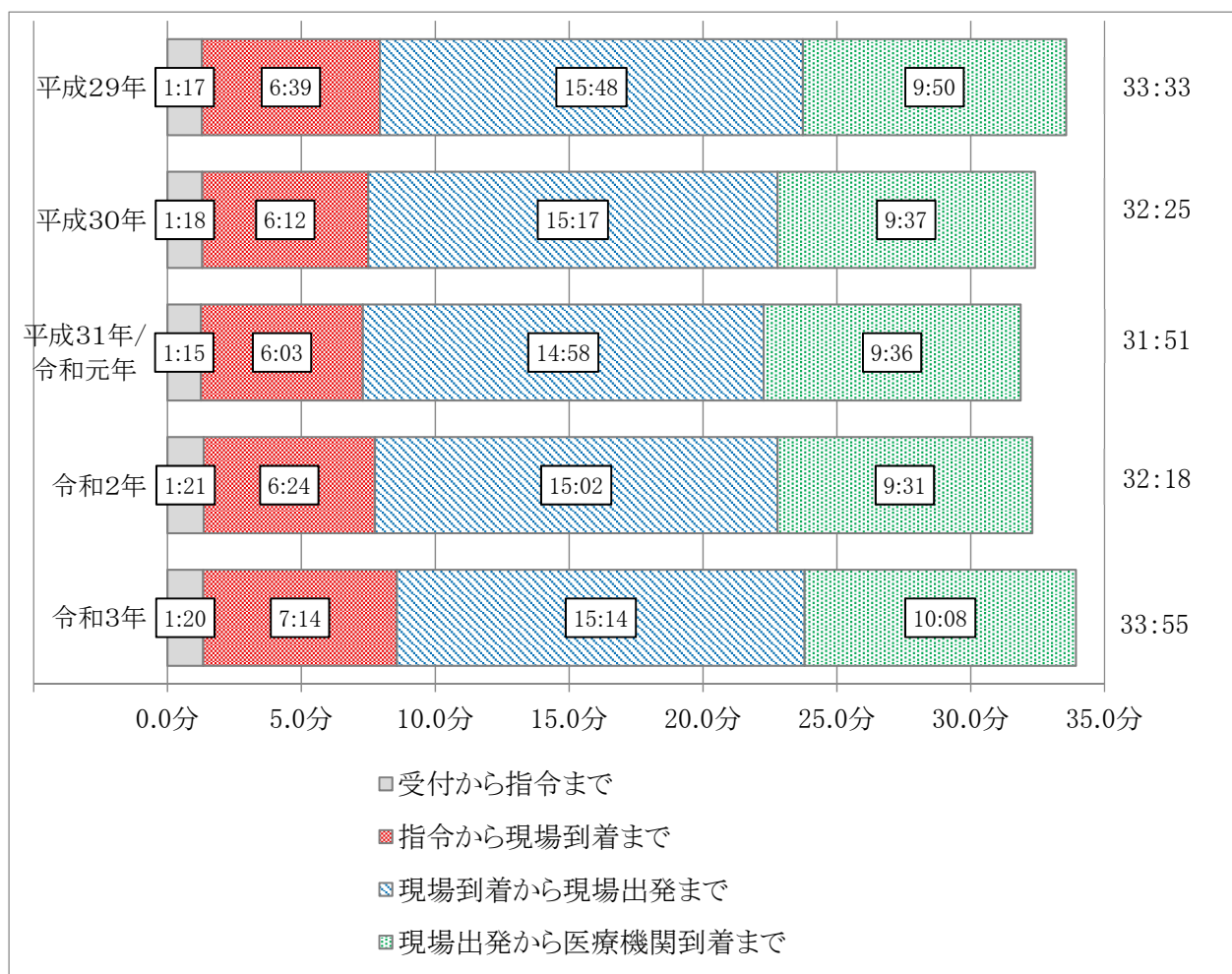
『傷病程度別』の傾向については、「軽症」の割合が一番多く、その比率は58.6%となっています。続いて、「中等症」が26.3%、「重症」が13.2%となっています。

『地区別』の傾向については、「常磐」「日永」「三重」「四郷」の各地区が救急需要の多い4地区となっています。これらの地区は人口も多い地区であることから必然的に救急需要が多くなっています。

今後も増加が予想される救急需要に対して、本市では、3消防署に4台の救急車を、また中央地域、西部地域、南部地域、北部地域、北西地域、西南地域と消防事務を受託している朝日町・川越町地域にそれぞれ1台ずつ、計11台の救急車を配置しています。

今後も都市整備や救急需要の動向などを踏まえて、通報から医療機関到着までの時間短縮を目指します。

過去5年間の傷病者収容所要時間



5分救急の指標

年中	平成29年	平成30年	平成31年/ 令和元年	令和2年	令和3年
所要時間	6分00秒	5分39秒	5分30秒	5分49秒	6分28秒

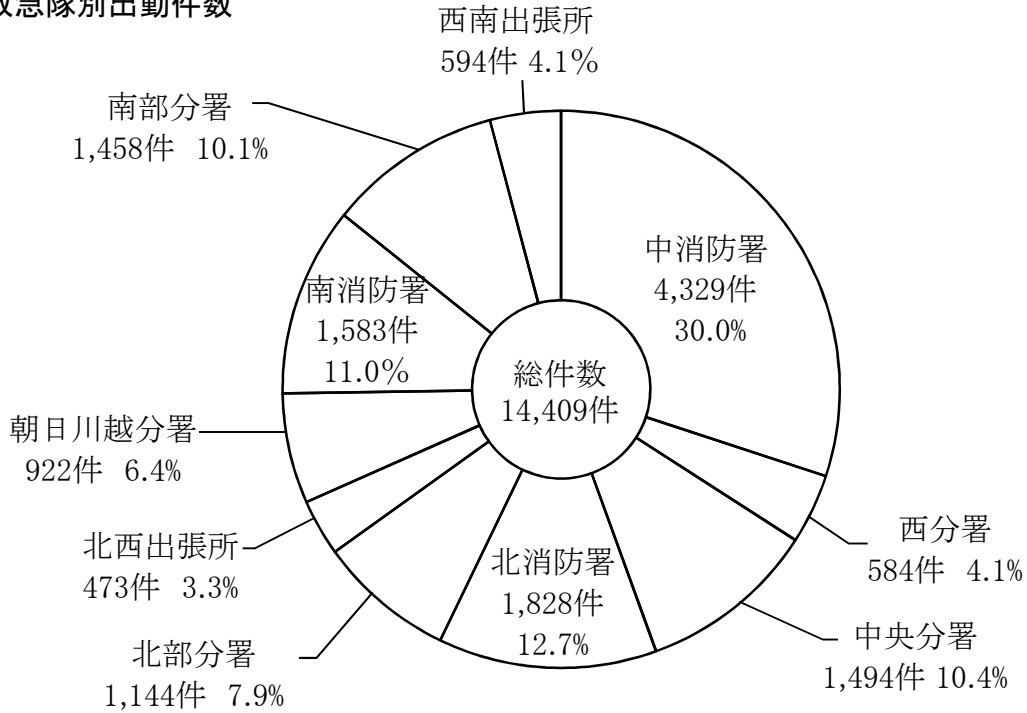
特異事案(高速道路事案、管轄外事案、現場まで20分以上要した事案、AA連携の2台目)を除いた
指令から現場到着までの所要時間

救 急 概 要

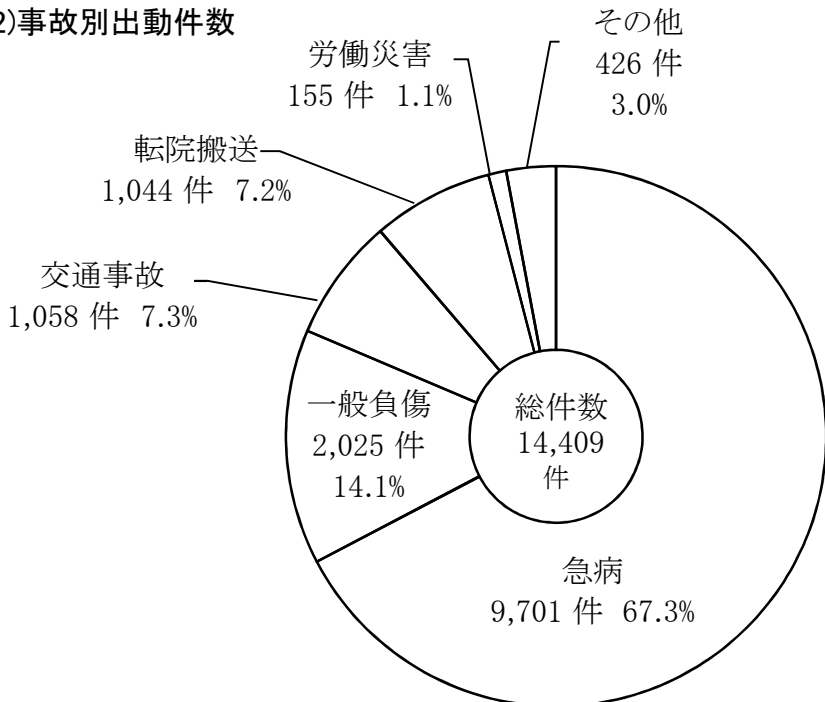
(令和3年中)

区 分	件数・人員	一日平均
救急出動件数	14,409件	39.5件
搬送件数	12,773件	35.0件
搬送人員	12,862人	35.2人

(1)救急隊別出動件数



(2)事故別出動件数



※小数点以下第2位を四捨五入
 ※四捨五入により100%にならないことがあります

救急発生状況比較

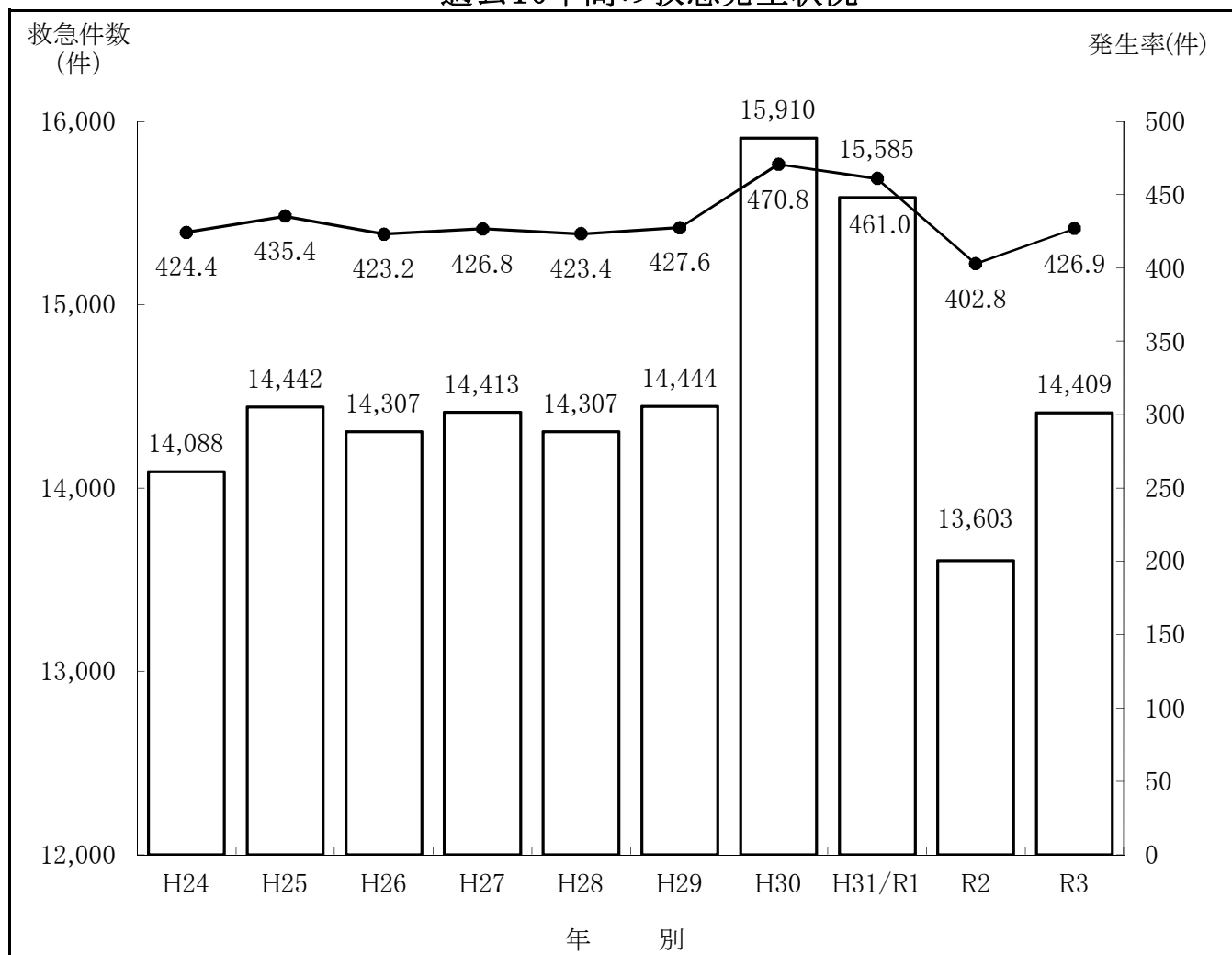
区 分		年 別				
		平成29年	平成30年	平成31年/ 令和元年	令和2年	令和3年
全 国	救急件数	6,342,147件	6,605,213件	6,639,767件	5,933,277件	未確定
	発生率	499.2件	519.9件	522.7件	470.5件	未確定
三重県	救急件数	94,160件	100,560件	98,919件	87,314件	未確定
	発生率	518.5件	553.8件	544.7件	493.2件	未確定
四日市市 (朝日、川越 町含)	救急件数	14,444件	15,910件	15,585件	13,603件	14,409件
	発生率	427.6件	470.8件	461.0件	402.8件	426.9件

※救急自動車による救急出動件数

$$\text{発生率} = \frac{\text{救急件数}}{\text{人 口}} \times 10,000$$

(人口1万人あたりの発生件数)

過去10年間の救急発生状況



地区別救急出場状況

地区別		区分		出場件数		搬送件数		搬送人員	
		合計							
		14,409 件	100 %	12,773 件	100 %	12,862 人	100 %		
中 消 防 署	小計	6,129	42.54	5,387	42.17	5,424	42.17		
	共同	592	4.11	461	3.61	461	3.58		
	同和	18	0.12	17	0.13	17	0.13		
	中央	103	0.71	87	0.68	90	0.70		
	港	115	0.80	105	0.82	105	0.82		
	浜田	653	4.53	547	4.28	552	4.29		
	橋北	319	2.21	290	2.27	291	2.26		
	海蔵	499	3.46	444	3.48	445	3.46		
	常磐	1,302	9.04	1,136	8.89	1,146	8.91		
	川島	373	2.59	339	2.65	341	2.65		
	神前	337	2.34	309	2.42	312	2.43		
	桜 県	496	3.44	451	3.53	452	3.51		
	三重	248	1.72	230	1.80	232	1.80		
	三重	1,074	7.45	971	7.60	980	7.62		
北 消 防 署	小計	3,256	22.60	2,907	22.76	2,929	22.77		
	羽津	799	5.55	729	5.71	736	5.72		
	富田	534	3.71	480	3.76	483	3.76		
	富洲原	361	2.51	314	2.46	314	2.44		
	大矢知	628	4.36	550	4.31	550	4.28		
	八郷	405	2.81	355	2.78	361	2.81		
	下野	337	2.34	301	2.36	304	2.36		
	保々	192	1.33	178	1.39	181	1.41		
南 消 防 署	小計	4,072	28.26	3,648	28.56	3,675	28.57		
	塩浜	409	2.84	371	2.90	372	2.89		
	日永	1,099	7.63	982	7.69	990	7.70		
	四郷	1,009	7.00	890	6.97	896	6.97		
	内部	557	3.87	504	3.95	507	3.94		
	河原田	214	1.49	190	1.49	197	1.53		
	小山田	210	1.46	192	1.50	193	1.50		
	水沢 楠	133	0.92	119	0.93	120	0.93		
	楠	441	3.06	400	3.13	400	3.11		
高速自動車道		35	0.24	26	0.20	29	0.23		
市 外	小計	917	6.36	805	6.30	805	6.26		
	朝日町	351	2.44	310	2.43	310	2.41		
	川越町	560	3.89	491	3.84	491	3.82		
	その他	6	0.04	4	0.03	4	0.03		

月別救急出場状況

事故別	区分	月別												
		合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
合計	出場件数	14,409	1,184	1,036	1,145	1,107	1,094	1,111	1,320	1,501	1,207	1,187	1,200	1,317
	搬送人員	12,862	1,058	913	1,010	999	992	965	1,177	1,327	1,082	1,071	1,092	1,176
火災	出場件数	60	6	7	4	5	7	5	3	6	4	4	6	3
	搬送人員	9	2	0	1	0	1	1	0	1	0	0	1	2
自然災害	出場件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	搬送人員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
水難	出場件数	12	1	2	0	0	0	0	0	2	6	1	0	0
	搬送人員	9	1	2	0	0	0	0	0	0	5	1	0	0
交通	出場件数	1,058	87	82	84	92	83	90	91	83	65	91	92	118
	搬送人員	977	83	79	78	77	78	76	84	71	62	85	90	114
労働災害	出場件数	155	10	14	10	12	13	12	12	12	19	12	17	12
	搬送人員	147	9	14	10	12	13	11	9	11	18	12	16	12
運動競技	出場件数	99	6	9	9	13	3	7	6	11	2	8	13	12
	搬送人員	100	6	9	9	13	3	7	6	12	2	9	12	12
一般負傷	出場件数	2,025	167	165	165	154	159	142	156	162	145	208	187	215
	搬送人員	1,849	151	148	141	139	150	126	145	154	129	198	174	194
加害	出場件数	55	3	2	5	1	5	4	7	7	5	4	4	8
	搬送人員	40	2	1	4	1	4	4	6	2	3	4	4	5
自損行為	出場件数	113	11	16	14	8	11	10	5	11	10	6	3	8
	搬送人員	71	5	9	9	8	6	7	4	6	7	4	2	4
急病	出場件数	9,701	807	628	743	726	740	746	953	1,094	848	778	799	839
	搬送人員	8,623	719	547	660	657	669	646	849	967	763	685	725	736
転院搬送	出場件数	1,044	80	104	99	92	68	87	74	104	96	74	69	97
	搬送人員	1,037	80	104	98	92	68	87	74	103	93	73	68	97
その他	出場件数	87	6	7	12	4	5	8	13	9	7	1	10	5
	搬送人員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

応急手当の普及計画

大切な人の命は、救急隊が到着するまでの間に、傷病者の近くに居合わせた住民の方が適切な応急手当を実施することで、助かる可能性が高くなります。

本市では、平成6年から本格的に住民に対する応急手当の普及啓発活動を開始し、各自治会や各種団体を対象にした普通救命講習や上級救命講習を開催しています。

また、毎月第2土曜日に一般公募による定期普通救命講習を開催し、個人での受講希望者への対応も行っています。さらに事業所や各種団体等において、応急手当の普及啓発活動の中心的な役割を担ってもらえるよう、指導者養成コースである応急手当普及員講習や指導員講習なども計画的に開催しており、現在、管内には約1,500名の応急手当普及員及び指導員がいます。

なお、令和3年中の心肺停止傷病者に対する家族等による応急手当実施率は52.4%となっています。

応急手当普及啓発活動の状況

○普通救命講習の実績 (83回) 823人 (令和3年中)

講習 実施 月	講習 回数	男 女 別		修了者 合計 数	消 防 防 災 団 隊	自 治 会	公 務 員	P T A	事 業 所 等	福 祉 関 係	学 校 関 係	そ の 他 (定期 含む)
		男	女									
合 計	83回	509	314	823	80	11	13		285	106	144	184
1 月	6回	41	17	58					45	3		10
2 月	6回	40	18	58					40	13		5
3 月	5回	31	11	42		4			15	11		12
4 月	7回	40	9	49	2				42			5
5 月	4回	9	13	22					10			12
6 月	9回	98	43	141					19	20	83	19
7 月	13回	88	44	132	53		13		26	12	10	18
8 月	3回	5	14	19						3	1	15
9 月	3回	1	11	12					12			
10月	12回	66	64	130	21				22	40		47
11月	5回	47	10	57		7			35			15
12月	10回	43	60	103	4				19	4	50	26

※ 応急手当普及員にて34回実施、受講者240人含む。

○上級救命講習の実績

一般公募・学校関係・事業所等	実施回数 2回 26名(男18名・女 8名)
----------------	---------------------------

○応急手当指導員講習の実績

消防団員・消防職員	新規講習 3回・再講習 0回 26名(男22名・女 4名)
-----------	----------------------------------

○応急手当普及員講習の実績

事業所・市職員・教職員・一般公募等	新規講習 1回・再講習 10回 221名(男172名・女49名)
-------------------	-------------------------------------

○救命入門コース(90分)の実績： 時間的な制約や年齢により、従来型の講習への参加が難しい市民を対象に、平成24年4月1日から実施。併せて普通救命講習へ繋げるための講習とする。

一般・学校関係・事業所等	実施回数 18回 177名(男103名・女74名)
--------------	------------------------------

心肺機能停止傷病者の救命率

- ◎ 救命率とは、救急搬送した心肺停止傷病者の1ヵ月後の生存率です。
ただし、調査の条件としては、心臓に原因があり、かつ一般市民等により心肺機能停止の時点が目撃された傷病者を対象としています。

年別	区 分	四日市市 (朝日、川越町含む)	全 国
平成 29年	救急隊が搬送した 全ての心肺停止傷病者数	283人	127,018人
	心臓に原因があるもので 一般市民に目撃された傷病者数	67人	25,538人
	1ヵ月後の生存者数	9人	3,444人
	救命率	13.4%	13.5%
平成 30年	救急隊が搬送した 全ての心肺停止傷病者数	361人	127,718人
	心臓に原因があるもので 一般市民に目撃された傷病者数	89人	25,756人
	1ヵ月後の生存者数	13人	3,584人
	救命率	14.6%	13.9%
平成 31年 ／ 令和 元年	救急隊が搬送した 全ての心肺停止傷病者数	306人	126,271人
	心臓に原因があるもので 一般市民に目撃された傷病者数	69人	25,560人
	1ヵ月後の生存者数	12人	3,559人
	救命率	17.4%	13.9%
令 和 2 年	救急隊が搬送した 全ての心肺停止傷病者数	338人	125,928人
	心臓に原因があるもので 一般市民に目撃された傷病者数	73人	25,790人
	1ヵ月後の生存者数	11人	3,155人
	救命率	15.1%	12.2%
令 和 3 年	救急隊が搬送した 全ての心肺停止傷病者数	296人	未確定
	心臓に原因があるもので 一般市民に目撃された傷病者数	72人	未確定
	1ヵ月後の生存者数	7人	未確定
	救命率	9.7%	未確定

$$\text{※救命率} = \frac{\text{1ヵ月後の生存者数}}{\text{心臓に原因があるもので
一般市民に目撃された傷病者数}}$$

通信・気象

一 目 統 計

令和3年中

119番通報取扱状況

受 信 総 件 数		19,624件
携 帯 電 話 受 信 件 数		10,966件
一日あたりの平均受信件数		53.7件
一日あたりの携帯電話による平均受信件数		30.0件
通 報 件 数 の 多 か っ た 月	8月	1,881件
通 報 件 数 の 少 な っ た 月	2月	1,423件

指令事務の共同運用

四日市市と桑名市の2消防本部は、平成19年4月1日から「四日市市及び桑名市消防通信指令事務協議会」を設置して、桑名市消防本部において消防通信指令事務の共同運用を開始しました。

平成28年4月1日から消防救急無線のデジタル化に併せて、新たに菰野町を加えた3消防本部による新消防指令センターを四日市市中消防署中央分署に整備し運用を開始しました。

1 目的

地方自治法（昭和22年法律第67号）第252条の2の2第1項の規定に基づき、複雑多様化する消防需要に広域的に対応し、住民の期待と信頼に応えられる消防サービスの高度化を図るため、消防通信指令施設において行う消防通信指令に関する事務を共同して管理し、及び執行する。

2 担当事務

①災害通報の受信 ②出動指令 ③通信統制 ④情報の収集伝達

【概要】

施設の名称	三重北消防指令センター
設置場所	四日市市中消防署中央分署
管内人口及び面積	管内人口約60万人 面積723km ²
管内署所数	20署所
指令センター員	総員27名 四日市市消防本部14名 桑名市消防本部10名 菰野町消防本部3名

消防通信施設の概要

高機能消防通信指令システムには次の機能を備え、119番通報受付から出動指令までの時間短縮及び消防車・救急車が災害場所に到着するまでの時間短縮を図っています。

1 統合型位置情報通知システム

固定電話やIP電話、携帯電話からの119番通報に対し通報場所の位置を特定するためのシステムで、固定・IP電話番号は番号情報から、携帯電話はGPS機能による位置情報から通報場所を絞り込み地図上に通報場所を表示します。

2 車両位置管理システム

GPS（衛星利用測位システム）機能により、出向している消防車や救急車の走行している位置を把握して、災害場所に近い消防車・救急車（直近車両の隊編成）に対して出動指令を出します。

3 消防団への出動指令

消防団への出動指令は、出動対象分団車庫へFAXによる指令書を送信するとともに、出動対象団員へ電話音声による順次指令とEメール指令を送信します。

4 Net119・FAX119緊急通報システム

音声による119番通報が困難な聴覚障害や言語障害のある方が、スマートフォン等の専用アプリからNet119、又はFAXを利用しての火災・救急事案等の緊急通報を受信します。

5 三者間電話通訳システム

外国人の方からの119番通報時、迅速に災害・救急要請現場へ消防隊・救急隊を出動させるため、電話通訳センターを介して24時間365日21か国語の言語に対応します。

6 119番映像通報システム

火災等の災害現場や傷病者の状況把握のため映像が必要と判断した場合に、通報者のスマートフォンで撮影したビデオ映像を消防指令センターへ送信してもらい、災害現場や傷病者の状況を映像で共有します。

● 119番通報受付取扱状況

月別通報件数（四日市市消防本部管内）

【 】はFAX119、（ ）はNet119 それぞれ内数（令和3年中）

月	火災	救急	救助	警戒	悪戯	間違い	訓練 試験	問合せ	転送	合計
1	26	1157【1】	13	20	1	145	84	130	14	1,590
2	28	1,003	8	14	3	159	96	104	8	1,423
3	13	1,125	7	7	1	181	189	99	10	1,632
4	12	1,088	13	12	0	145	99	99	7	1,475
5	18	1,063	8	17	1	151	99	124	11	1,492
6	10	1,074	7	21	0	162【1】	99	108	13	1,494
7	11	1,280	11	19	1	203	114	149	8	1,796
8	8	1436【3】	8	30	1	166	55	162	15	1,881
9	6	1,171	7	21	1	168	107	124	13	1,618
10	5	1,169	7	13	0	176	173	109	11	1,663
11	25	1,165	8	26	1	172	229	108	19	1,753
12	8	1,283	7	29	1	200	133	130	16	1,807
合計	170	14,014【4】	104	229	11	2,028【1】	1,477	1,446	145	19,624

（備考）火災等の災害通報には重複通報含む。

回線別通報件数（四日市市消防本部管内）

（令和3年中）

種別	区分	火災	救急	救助	警戒	悪戯	間違い	訓練 試験	問合せ	転送	合計
119	固定	23	2,132	13	39	3	297	958	178	5	3,648
	IP	21	4,194	15	17	1	219	275	257	6	5,005
	携帯	126	7,684	76	173	7	1,511	244	1,011	134	10,966
	FAX	0	4	0	0	0	1	0	0	0	5
Net119		0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計		170	14,014	104	229	11	2,028	1,477	1,446	145	19,624

消防本部別通報件数

【 】はFAX119、（ ）はNet119 それぞれ内数（令和3年中）

本部	区分	火災	救急	救助	警戒	悪戯	間違い	訓練 試験	問合せ	転送	合計
四日市市		170	14,014【4】	104	229	11	2,028【1】	1,477	1,446	145	19,624
桑名市		161	8,685(1)	54	96	2	1,110	837	726	71	11,742
菰野町		31	1,411	30	22	1	181	165	167	7	2,015
合計		362	24,110【4】(1)	188	347	14	3,319【1】	2,479	2,339	223	33,381

通信施設保有状況

(令和4年4月1日現在)

所属別 区分	消防緊急通信指令施設Ⅲ型	火災報知専用電話(119)	M C A 無線	指 令 電 話	道 路 公 団	加入 電話 (回線)	災害 問い合わせ 案内(回線)	消防無線電話				消防無線電話		県防災無線電話		市 防 災 行 政 用 無 線 電 話	フ ァ ク シ ミ リ	無 線 フ ァ ク シ ミ リ	携 帯 電 話
								基 地 局	移 動			4 0 0 M H Z	地 上 ・ 衛 星	防 災 相 互 波					
									消 防 車 両	そ の 他 車 両	携 帯				可 搬 型 ・ 半 固 定 型				
合計	1	14	2	11	1	31	15	1	72	24	81	15	114	5	4	13	40	1	28
消防本部	1	14	2		1	12	15	1		9	7	4	13	5	3	2	2	1	5
中消防署				1		4			9	2	8	2	19			1	1		5
中央分署				1		1			6	2	5	1	11			1	1		2
西分署				1		2			3	1	4	1	7			1	1		2
港分署				1		1			1		1			1	1	1			
北消防署				1		2			7	3	7	2	15			1	1		3
北部分署				1		1			5	1	5	1	8			1	1		2
朝日川越分署				1		2			2	1	4	1	7			1	1		2
北西出張所				1		1			2		2		6			1	1		1
南消防署				1		3			8	3	7	2	15			1	1		3
南部分署				1		1			2		5	1	7			1	1		2
西南出張所				1		1			2		2		6			1	1		1
消防団	団本部								1										
	消防団								24		24						24		
	水防対応班										2						3		

※北西出張所・西南出張所・消防団・水防対応班はFAXと電話回線兼用 ※県防災行政無線電話には、FAX・衛星可搬型地球局含む。

無線配置状況

消防本部	中消防署	中央分署	北消防署	南消防署
○車載無線(四日市本部) ・指揮車 51・52 ・広報車 61・62・63・64・65・66 ・資機材搬送車 81 ○携帯無線 四日市本部101~104 131・141・151 ○可搬型・半固定型無線 四日市本部200~202・三重北指令200 ○署活系携帯無線 四日市本部301~313 ○基地局(三重北指令) 三重県防災行政無線(固定局) 四日市市防災行政無線(固定局)	○車載無線(四日市中) ・水槽付ポンプ車 1 ・ポンプ車 2 ・はしご車 31 ・大型化学高所放水車 10 ・救助工作車(Ⅲ型) 41 ・泡原液搬送車 71 ・指揮車/広報車 51 / 61 ・高規格救急車 救急四日市中1~3 ○携帯無線 101~106・141・191 ○可搬型・半固定型無線 200・201 ○署活系携帯無線 301~312・341~344 391~393	○車載無線(四日市中央) ・水槽付ポンプ車 1 ・ポンプ車 2 ・水槽車 5 ・広報車 61 ・資機材搬送車 81 ・支援車 支援1 ・重機搬送車 重機1 ・高規格救急車 救急四日市中央1 ○携帯無線 101~105 ○半固定型無線 200 ○署活系携帯無線 301~311	○車載無線(四日市北) ・水槽付ポンプ車 1 ・ポンプ車 2 ・化学車 10 ・屈折はしご車 31 ・救助工作車(Ⅱ型) 41 ・指揮車/広報車 51 / 61 ・原液運搬車 72 ・高規格救急車 救急四日市北1・2 ○携帯無線 101~106・191 ○可搬型・半固定型無線 200・201 ○署活系携帯無線 301~312・391~393	○車載無線(四日市南) ・水槽付ポンプ車 1 ・ポンプ車 2 ・化学車 10 ・高所放水車 31 ・救助工作車(Ⅱ型) 41 ・泡原液搬送車 71 ・指揮車/広報車 51 / 61 ・資機材搬送車 81 ・高規格救急車 救急四日市南1・2 ○携帯無線 101~106・191 ○可搬型・半固定型無線 200・201 ○署活系携帯無線 301~312・391~393
四日市市消防団	西分署	港分署	北部分署	南部分署
(四日市市消防団) ○車載無線 ・ポンプ車 団本部1 ・ダンプ 団本部2・3 ・ポンプ車(24消防分団) 各分団1 ○携帯無線 24消防分団 各分団2	○車載無線(四日市西) ・水槽付ポンプ車 1・3 ・広報車 61 ・高規格救急車 救急四日市西1 ○携帯無線 101~104 ○半固定型無線 200 ○署活系携帯無線 301~307	○車載無線(四日市港) ・水難救助車 41 ○携帯無線 四日市港101 ○署活系携帯無線 四日市朝川1 ・水槽付ポンプ車 1 ・広報車 61 ・高規格救急車 救急四日市朝川1 ○携帯無線 101~104 ○半固定型無線 200 ○署活系携帯無線 301~307	○車載無線(四日市北部) ・ポンプ車 2 ・水槽付ポンプ車 四日市北3 ・高規格救急車 救急四日市北部1 ・大容量送水ポンプ車 特装1 ・大型放水砲車 特装2 ・資機材搬送車 81 ○携帯無線 101~105 ○半固定型無線 200 ○署活系携帯無線 300~307 北西出張所 ○車載無線(四日市北西) ・ポンプ車 2 ・高規格救急車 救急四日市北西1 ○携帯無線 101・102 ○署活系携帯無線 301~306	○車載無線(四日市南部) ・ポンプ車 2 ・水槽付ポンプ車 四日市南3 ・高規格救急車 救急四日市南部1 ○携帯無線 101~105 ○半固定型無線 200 ○署活系携帯無線 301~307 西南出張所 ○車載無線(四日市西南) ・ポンプ車 2 ・高規格救急車 救急四日市西南1 ○携帯無線 101・102 ○署活系携帯無線 301~306

警報・注意報・情報等の発表状況(四日市市)

(令和3年中)

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	発表回数計
特別警報	暴風特別警報	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	暴風雪特別警報	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	大雨特別警報	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	大雪特別警報	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	高潮特別警報	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	波浪特別警報	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
警報	暴風警報	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	暴風雪警報	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	大雨警報	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2
	大雪警報	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	洪水警報	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	波浪警報	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
注意報	高潮警報	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	大雨注意報	0	0	1	1	1	2	7	6	5	0	0	0	23
	大雪注意報	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	4
	風雪注意報	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	3
	雷 注意報	3	3	5	6	6	10	8	6	5	3	5	0	60
	強風注意報	8	7	8	7	3	1	0	3	1	6	4	10	58
	融雪注意報	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	濃霧注意報	1	0	1	3	8	0	2	0	2	0	0	0	17
	乾燥注意報	1	2	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	7
	なだれ注意報	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	低温注意報	5	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	9
	霜 注意報	0	0	11	4	0	0	0	0	0	0	0	0	15
	着氷注意報	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	着雪注意報	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
	洪水注意報	0	0	0	1	0	0	2	1	2	0	0	0	6
波浪注意報	0	1	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	4	
高潮注意報	0	1	2	0	0	0	2	6	12	6	1	0	30	
計		19	17	30	25	18	13	21	24	29	15	10	20	241
火災気象通報		4	6	3	8	0	0	0	0	1	1	0	3	26
土砂災害警戒情報		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
竜巻注意情報		0	0	1	0	1	0	2	0	0	0	0	1	5
大津波警報		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
津波警報		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
津波注意報		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

注1) 同一種類の警報・注意報を継続する場合に発表した警報・注意報は回数に含めない。

注2) 火災気象通報は三重県北部を対象に発表した回数を示す。

注3) 土砂災害警戒情報は四日市市に発表した一連の情報を1回と数えた回数を示す。

注4) 竜巻注意情報は三重県北中部に発表した一連の情報を1回と数えた回数を示す。

注5) 大津波警報・津波警報・津波注意報は、「伊勢・三河湾」を対象に発表した回数を示す。

予 防

一 目 統 計

令和3年度

広報活動		303件
広報催事に対する参加者数		24,991人
立入検査数		4,547件
建築同意数（消防通知は除く）		560件
防火対象物		13,539棟
		<small>注)H25年度から延べ面積150㎡以上の数</small>
中高層ビル	4階以上	1,517棟
危険物関係事務処理件数		3,695件
危険物施設数		3,987施設
火災予防条例に基づく届出件数		9,515件

広 報 活 動 状 況

(令和3年度)

種別	回数／人員	合計	消防本部	中署管内	北署管内		南署管内
					北署及び北部分署	朝川分署	
広報車等による宣伝活動	回数	15	13	2	0	0	0
防火講演会 座談会	回数	16	9	3	1	1	2
	人員	1,062	419	170	90	25	358
防火映画会	回数	12	0	0	11	0	1
	人員	642	0	0	576	0	66
自衛消防隊等訓練指導	回数	116	20	35	20	14	27
	人員	8,510	1,027	2,461	1,907	755	2,360
庁舎見学	回数	39	0	17	12	2	8
	人員	2,256	0	959	691	195	411
防火展	回数	5	4	0	1	0	0
	人員	5,650	5,400	0	250	0	0
防火教室	回数	40	0	16	10	3	11
	人員	2,873	0	1,112	818	290	653
防災教室	回数	24	0	11	7	3	3
	人員	2,859	0	1,179	831	444	405
地震体験車	回数	7	0	6	1	0	0
	人員	717	0	621	96	0	0
火災予防相談	回数	29	0	12	5	3	9
合計	回数	303	46	102	68	26	61
	人員	24,569	6,846	6,502	5,259	1,709	4,253

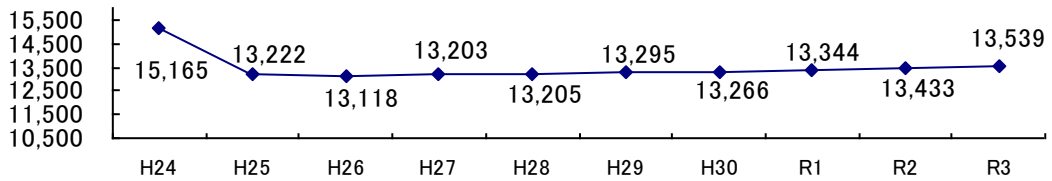
広 報 用 印 刷 物

(令和3年度)

種別	回数／部数	合計	消防本部	中署管内	北署管内		南署管内
					北署及び北部分署	朝川分署	
チラシ	部数	10,935	7,115	1,420	2,400	0	0
ポスター	部数	7,376	7,355	0	21	0	0
広報発行物	部数	1,199,552	1,190,084	9,468	0	0	0
その他広報用資材	部数	4,155	4,000	0	155	0	0
合計	部数	1,222,018	1,208,554	10,888	2,576	0	0

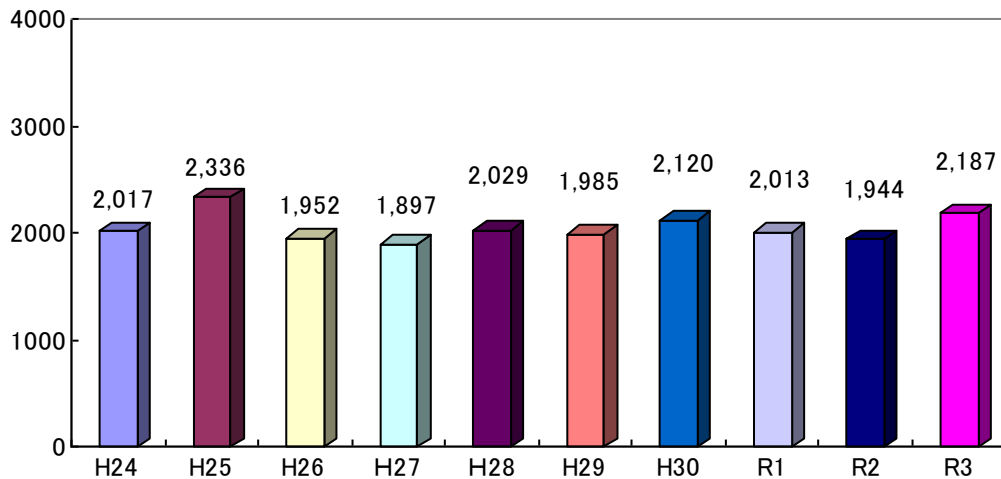
建築同意状況及び防火対象物の推移

防火対象物数



注)H25年度から延べ面積 150㎡以上の数

建築同意件数



建築同意件数

(令和3年度)

区分 項目	件数	
	同意	不同意
新築	467	0
増築	87	0
移転	1	0
修繕	3	0
用途変更	1	0
模様替え	1	0
小計	560	0
消防通知	1,627	0
合計	2,187	0

消防用設備等届出状況

(令和3年度)

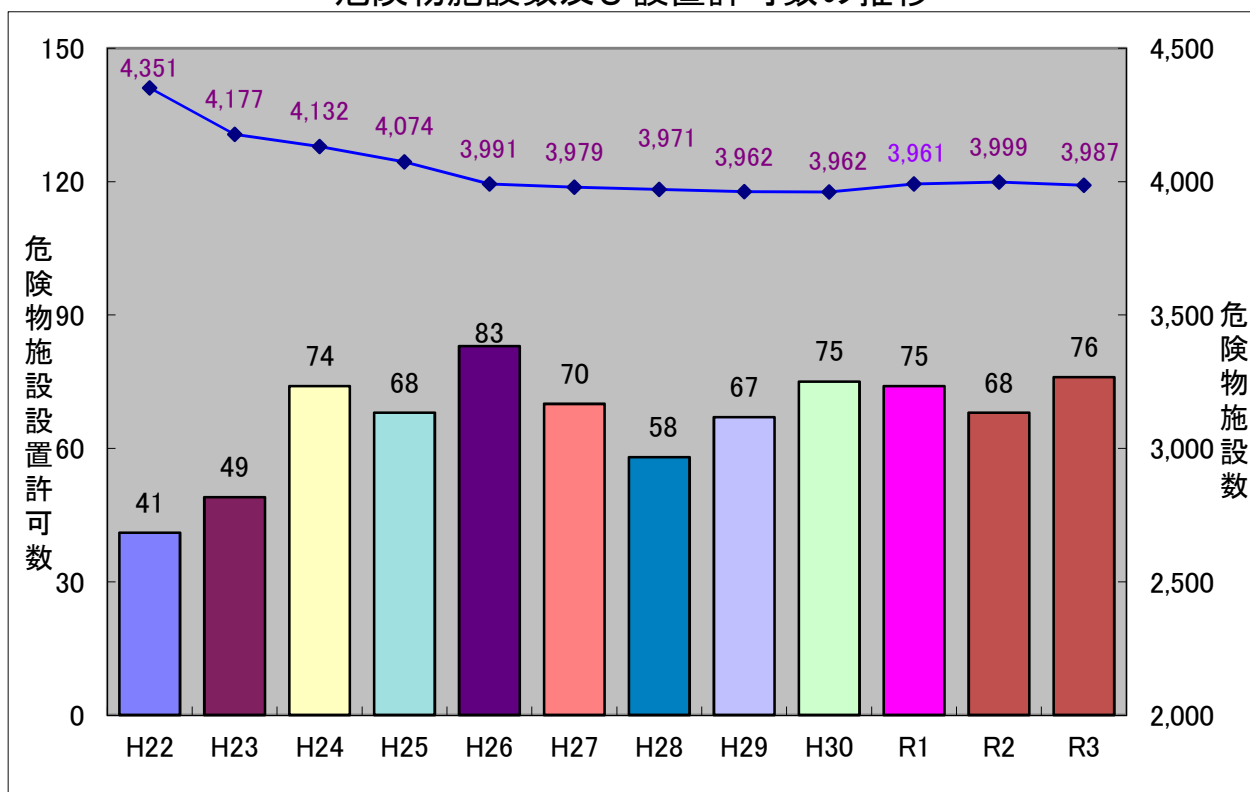
工事計画書	着工届出	設置届出
107件	719件	830件

危険物仮貯蔵・仮取扱申請承認状況

(令和3年度)

区分	署別	合計	署別		
			中署	北署	南署
仮貯蔵		140	3	133	4
仮取扱		26	14	2	10

危険物施設数及び設置許可数の推移



危険物関係事務処理状況

(令和3年度)

	許可		完成検査	
	設置	変更	設置	変更
製造所	3	162	1	147
屋内貯蔵所	6	16	6	14
屋外タンク貯蔵所	5	263	5	211
屋内タンク貯蔵所	6	0	0	0
地下タンク貯蔵所	2	0	5	1
簡易タンク貯蔵所	0	0	0	0
移動タンク貯蔵所	44	8	47	8
屋外貯蔵所	1	1	1	1
給油取扱所	1	21	3	20
販売取扱所	0	0	0	0
移送取扱所	0	45	0	32
一般取扱所	8	202	8	195
合計	76	718	76	629

完成検査前検査	138
水張検査	81
水圧検査	43
溶接部検査	14
基礎地盤検査	0
保安検査(定期・臨時)	11

予防規程認可	29
--------	----

仮使用	555
仮貯蔵・仮取扱	161

変更届出(軽微な変更工事等)	734
廃止届出	75
その他届出	493

火災予防条例等に基づく届出事務処理状況

区分	署別	合計	本部	中署	西分署	中央分署	北署	北部分署	朝川分署	南署	南部分署
防火対象物使用開始届		296	0	94	4	47	54	13	18	53	13
防火管理者選解任届		602	0	204	14	67	105	26	48	110	28
消防計画作成(変更)届		687	0	228	20	80	116	35	52	119	37
共同防火管理協議事項作成(変更)届		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
消火・避難訓練実施計画書		947	0	316	25	69	156	51	117	163	50
工事中の消防計画届		2	0	0	1	0	1	0	0	0	0
防火対象物定期点検報告		175	0	65	1	12	29	1	17	39	11
防火対象物点検報告特例認定申請		9	0	3	0	0	0	0	2	4	0
消防用設備等設置届		830	52	182	9	50	89	37	68	303	40
消防用設備等着工届		719	139	190	8	40	73	25	49	159	36
消防用設備等の特例適用願い		22	6	9	0	1	1	1	1	3	0
消防用設備等点検結果報告		4,307	0	1324	130	348	703	320	356	878	248
炉		5	0	2	1	0	1	1	0	0	0
厨房設備		1	0	1	0	0	0	0	0	0	0
温風暖房機		2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
ボイラー		17	0	1	0	1	3	1	1	6	4
給湯沸湯設備		6	0	0	0	1	1	1	1	0	2
乾燥設備		4	0	0	0	3	0	0	1	0	0
サウナ設備		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヒートポンプ冷暖房機		1	0	1	0	0	0	0	0	0	0
火花を生じる設備		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
放電加工機		1	0	0	1	0	0	0	0	0	0
発電設備		36	0	3	0	12	9	0	3	6	3
変電設備		128	0	14	1	38	19	5	14	26	11
蓄電池設備		31	0	8	0	10	2	1	2	6	2
ネオン管灯設備		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定洞道		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
水素ガス気球届		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
熱風炉		1	0	0	0	0	0	1	0	0	0
少量危険物		258	0	21	0	115	39	6	3	62	12
指定可燃物		104	0	15	0	2	14	2	7	58	6
圧縮アセチレンガス		53	0	6	3	7	8	5	7	14	3
液化石油ガス		90	0	30	1	7	23	6	2	15	6
無水硫酸		1	0	0	0	0	1	0	0	0	0
生石灰		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
毒物		3	0	2	0	1	0	0	0	0	0
劇物		10	0	5	0	1	0	0	0	4	0
高圧ガス		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
喫煙届		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
裸火		12	0	11	0	1	0	0	0	0	0
危険物品持込		26	0	15	0	0	5	0	0	6	0
避難訓練実施計画届(法第36条)		3	0	2	0	0	1	0	0	0	0
自衛消防組織設置(変更)届		11	0	3	0	1	2	1	0	2	2
防災管理者選解任届		19	0	10	0	0	5	0	0	1	3
防災管理消防計画作成(変更)届		20	0	13	0	0	3	0	1	2	1
防災管理点検報告届		31	0	5	0	4	7	2	2	8	3
防災管理点検報告特例認定申請		4	0	3	0	0	0	0	1	0	0
統括防火管理者選解任届		3	0	1	0	0	2	0	0	0	0
全体の消防計画作成(変更)(防火)届		4	0	3	0	0	1	0	0	0	0
統括防災管理者選解任届		2	0	0	0	0	2	0	0	0	0
全体の消防計画作成(変更)(防災)届		4	0	2	0	0	1	0	0	0	1
表示マーク交付(更新)申請		2	0	2	0	0	0	0	0	0	0
露店等の開設届		26	0	7	3	2	11	0	1	2	0

防火対象物状況(階層別)

令和4年4月1日現在

階層の別	政令別表項目別 合計	1		2				3		4	5		6											7	8	9		10	11	12		13		14	15	16		17	18																
		イ	ロ	イ	ロ	ハ	ニ	イ	ロ		イ	ロ	(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(1)	(2)			(3)	(4)			(5)	イ	ロ	イ			ロ	イ			ロ	イ	ロ													
		劇場・映画館	公会堂・集会場	キャバレー・カフェー	遊技場等	風営法規定する性風俗関連特殊営業を営む店舗等	カラオケ等	待合・料理店	飲食店		百貨店・マーケット	旅館・ホテル	寄宿舍・下宿・共同住宅	病院	有床診療所	病院及び有床診療所(左記を除外)	無床診療所・無床助産所	特別養護老人ホーム等	老人短期入所施設	救護施設	乳児院	障害児入所施設	障害者支援施設			老人デイサービス等	更生施設			施設・保育所・児童養護施設等	児童発達支援センター等	身体障害者福祉センター等	幼稚園・盲学校等			学	図書館・美術館			蒸気・熱気浴場	イに掲げる以外の公衆浴場	車両の停車場	神社・寺院	工場・作業場	映画・テレビスタジオ	自動車庫・駐車場	飛行機等の格納庫	倉庫	その他の事業所	①④⑤⑥⑨イが存する複合用途防火対象物	イ以外の複合用途防火対象物	地下街	準地下街	文化財	延長50m以上のアーケード
		合計	20	189	0	20	0	11	4		327	551	51	3,741	5	4	23	191	126	0	2	2	22			74	0			94	13	69	60			421	9			5	3	9	203	2,307	0	152	0	1,827	1,913	740	327	0	0	5	19
地上階	1階	4,008	0	75	0	9	0	3	1	131	345	0	15	0	0	4	30	33	0	0	0	13	35	0	51	6	22	26	147	2	1	1	3	131	1,050	0	100	0	1,241	464	34	13	0	0	3	19									
	2階	6,092	11	97	0	10	0	6	2	119	174	13	2,220	2	1	6	131	58	0	1	2	9	23	0	40	7	35	29	85	4	4	2	5	64	1,008	0	36	0	506	967	290	123	0	0	2	0									
	3階	1,921	7	14	0	0	0	0	1	35	24	11	777	1	2	3	24	19	0	1	0	0	10	0	2	0	10	4	126	2	0	0	1	7	158	0	7	0	63	330	189	93	0	0	0	0									
	4階	683	0	1	0	0	0	1	0	25	7	2	283	0	0	2	5	9	0	0	0	0	1	0	0	0	2	1	42	0	0	0	0	0	52	0	5	0	12	85	109	39	0	0	0	0									
	5階	360	1	1	0	1	0	0	0	12	1	3	203	1	0	3	1	4	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	13	0	0	0	0	1	15	0	1	0	4	30	38	25	0	0	0	0									
	6階	124	0	0	0	0	0	1	0	3	0	6	39	1	0	1	0	3	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	4	1	0	0	0	0	18	0	0	0	1	7	23	13	0	0	0	0									
	7階	90	1	0	0	0	0	0	0	1	0	4	34	0	1	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	3	0	1	0	0	14	18	9	0	0	0	0										
	8階	77	0	1	0	0	0	0	0	1	0	3	36	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	2	0	2	0	0	9	13	6	0	0	0	0										
	9階	45	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	29	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	3	8	3	0	0	0	0										
	10階	37	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	17	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	10	2	0	0	0	0									
	11階	24	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	21	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0									
	12階	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0									
	13階	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0									
	14階	21	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0								
	15階	32	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	30	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0								
	16階以上	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0							
上記のうち地階を有するもの	地下1階	246	2	3	0	0	0	1	0	13	1	7	32	0	0	9	3	4	0	0	0	1	2	0	0	0	1	4	4	1	1	0	1	1	15	0	1	0	4	86	40	9	0	0	0	0									
	地下2階	18	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	3	0	0	12	1	0	0	0	0	0	0										
	地下3階以下	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0									
地下のみ	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0									

防火対象物状況(地区別)

令和4年4月1日現在

地区の別	政令別表項目別	合計	1		2				3		4	5		6										7	8	9		10	11	12		13		14	15	16		16	16	17	18												
			イ	ロ	イ	ロ	ハ	ニ	イ	ロ		イ	ロ	イ					ロ							イ	ロ			イ	ロ	イ	ロ			イ	ロ					イ	ロ										
			劇場・映画館	公会堂・集会所	キャパレール・カフェ	遊技場	当風等規定する性能格別等	カラオケ	待合・料理店	飲食店		百貨店・マーケット	旅館・ホテル	寄宿舎・下宿・共同住宅	病院	有床診療所	(3) く病院及び有床診療所(左記を所除)	(4) 無床診療所・無床助産所	(1) 特別老人短期入所施設	(2) 老人デイサービス	(3) 更生施設	(4) 施設	(5) 児童発達支援センター等			(1) 身体障害者福祉センター等	(2) 幼稚園・盲学校等			学	図書館・美術館	蒸気・熱気浴場	イに掲げる以外の公衆浴場			車両の停車場	神社・寺院					工場・作業場	映画・テレビスタジオ	自動車庫・駐車場	飛行機等の格納庫	倉庫	その他の事業所	(1)・(4)・(5)・(6)イ以外の複合用途防火対象物	(1)・(4)・(5)・(6)イ以外の複合用途防火対象物	地下街	地下街	文庫	延長50m以上のアーケード
			イ	ロ	イ	ロ	ハ	ニ	イ	ロ		イ	ロ	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)			(1)	(2)			(3)	(4)	(5)	イ			ロ	イ					ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	
合計	13,539	20	189	0	20	0	11	4	327	551	51	3,741	5	4	23	191	126	0	2	2	22	74	0	94	13	69	60	421	9	5	3	9	203	2,307	0	152	0	1,827	1,913	740	327	0	0	5	19								
中消防署管内	小計	5,113	2	62	0	7	0	5	1	208	224	29	1,527	2	2	8	94	48	0	0	3	30	0	37	6	25	25	147	2	2	2	4	80	524	0	75	0	549	719	456	189	0	0	0	19								
共同	588	0	2	0	0	0	1	0	90	22	9	83	0	0	0	5	1	0	0	0	1	0	1	0	3	3	11	0	1	2	0	10	8	0	17	0	20	62	187	34	0	0	0	15									
同和	14	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	3	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	3	0	0	0	0									
中央	125	0	0	0	0	0	0	1	7	1	2	17	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	3	0	0	1	7	5	0	2	0	5	33	24	7	0	0	0	4									
港	282	0	4	0	0	0	0	0	2	3	1	21	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	47	0	2	0	109	78	3	7	0	0	0	0									
浜田	931	2	6	0	2	0	0	0	12	39	8	229	0	0	1	8	0	0	0	0	3	0	4	1	1	1	22	1	0	0	0	8	94	0	31	0	123	181	91	63	0	0	0	0									
常盤	1,111	0	14	0	1	0	2	0	36	65	4	611	0	0	3	16	17	0	0	0	7	0	10	2	4	4	13	1	0	0	0	14	38	0	6	0	44	97	67	35	0	0	0	0									
橋北	303	0	4	0	0	0	0	0	3	7	1	68	0	0	0	2	4	0	0	0	0	0	0	1	0	2	0	7	0	0	0	2	59	0	2	0	66	53	12	10	0	0	0	0									
海蔵	490	0	2	0	1	0	1	0	6	18	0	175	0	0	0	6	4	0	0	0	3	0	3	1	4	2	8	0	1	0	2	7	83	0	1	0	85	49	16	12	0	0	0	0									
三重	557	0	7	0	2	0	1	0	24	30	1	178	1	0	3	22	6	0	0	2	9	0	8	0	4	3	21	0	0	0	12	69	0	0	0	48	74	27	5	0	0	0	0										
神前	154	0	5	0	1	0	0	0	10	7	1	21	0	0	0	9	4	0	0	0	1	0	1	0	2	1	31	0	0	0	0	6	23	0	5	0	8	11	5	2	0	0	0	0									
川島	148	0	2	0	0	0	0	0	5	5	0	69	0	1	1	6	4	0	0	0	1	0	3	0	1	3	5	0	0	0	0	4	8	0	2	0	4	10	12	2	0	0	0	0									
県	216	0	4	0	0	0	0	0	5	12	1	16	1	0	0	6	3	0	0	0	2	0	2	1	1	3	12	0	0	0	0	6	59	0	3	0	23	47	3	6	0	0	0	0									
桜	194	0	12	0	0	0	0	0	8	12	1	36	0	0	0	9	4	0	0	1	2	0	3	1	1	5	14	0	0	0	1	3	31	0	4	0	12	22	9	3	0	0	0	0									
北消防署管内	小計	4,213	15	67	0	5	0	4	1	60	163	3	1,307	0	2	3	54	36	0	0	7	14	0	29	2	16	16	143	4	2	0	3	56	878	0	43	0	578	468	155	78	0	0	1	0								
富田	396	0	3	0	0	0	0	0	2	16	0	169	0	1	0	11	4	0	0	0	2	0	1	1	2	2	22	0	1	0	1	9	33	0	3	0	31	45	24	13	0	0	0	0									
羽津	1,024	9	7	0	2	0	1	0	14	47	1	270	0	0	3	8	2	0	0	3	0	4	1	4	4	15	0	0	0	0	8	274	0	13	0	156	132	31	15	0	0	0	0										
富洲原	285	0	5	0	1	0	1	1	11	15	1	68	0	0	0	5	5	0	0	0	2	0	5	0	1	3	9	0	0	0	4	59	0	4	0	36	21	20	8	0	0	0	0										
大矢知	547	0	6	0	0	0	0	0	6	23	0	312	0	0	0	9	8	0	0	0	4	0	3	0	0	3	8	1	0	0	11	49	0	2	0	48	26	23	4	0	0	1	0										
八郷	397	0	11	0	0	0	0	0	3	10	0	69	0	0	0	6	4	0	0	0	1	0	3	0	2	2	37	1	0	0	1	6	118	0	2	0	45	53	19	4	0	0	0	0									
下野	178	0	7	0	0	0	0	0	2	6	0	70	0	0	0	1	4	0	0	0	1	0	3	0	2	1	10	0	0	0	3	24	0	2	0	10	18	9	5	0	0	0	0										
保々	204	1	6	0	0	0	0	0	1	6	0	41	0	0	0	2	0	0	0	0	1	0	2	0	0	0	15	0	0	0	6	51	0	0	0	49	17	4	2	0	0	0	0										
川越町	873	4	12	0	2	0	2	0	13	24	1	238	0	1	0	6	4	0	0	3	4	0	6	0	3	1	18	0	0	1	4	194	0	17	0	165	113	16	21	0	0	0	0										
朝日町	309	1	10	0	0	0	0	0	8	16	0	70	0	0	0	8	3	0	0	0	0	0	2	0	2	0	9	2	1	0	0	5	76	0	0	38	43	9	6	0	0	0	0										
南消防署管内	小計	4,213	3	60	0	8	0	2	2	59	164	19	907	3	0	12	43	42	0	2	12	30	0	28	5	28	19	131	3	1	1	2	67	905	0	34	0	700	726	129	60	0	0	4	0								
塩浜	797	0	4	0	0	0	0	0	7	12	6	60	0	0	0	1	3	0	0	0	4	0	4	1	1	0	10	0	0	1	10	234	0	8	0	177	224	20	10	0	0	0	0										
日永	1,019	2	13	0	3	0	1	0	25	89	2	316	0	0	6	13	11	0	2	0	5	0	7	0	8	1	41	0	0	1	10	148	0	6	0	115	150	33	11	0	0	0	0										
河原田	569	0	4	0	3	0	0	2	0	15	1	54	0	0	0	1	4	0	0	0	1	0	1	0	1	0	14	0	0	0	5	180	0	5	0	144	122	8	4	0	0	0	0										
四郷	494	0	9	0	0	0	0	0	11	17	1	238	0	0	0	13	9	0	0	1	4	6	0	10	3	8	13	34	0	0	12	19	0	0	15	28	31	11	0	0	1	0											
内都	434	0	6	0	2	0	1	0	12	15	2	95	1	0	0	9	4	0	0	1	8	5	0	3	0	10	5	12	0	1	0	10	81	0	7	0	77	43	15	9	0	0	0	0									
小山田	161	0	7	0	0	0	0	0	2	3	0	10	0	0	0	5	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	8	0	0	0	9	63	0	1	0	19	20	5	4	0	0	0	0										
水沢	190	0	6	0	0	0	0	0	1	3	6	7	2	0	6	0	3	0	0	0	2	0	1	0	0	0	3	2	0	0	2	47	0	0	0	26	69	3	1	0	0	0	0										
楠																																																					

数量・類別危険物施設設置状況

令和4年4月1日現在

区分	製造所等の別	合計	製造所	貯蔵所									取扱所						事業所数			
				小計	屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	特定屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	14klを越える被率引車	屋外貯蔵所	小計	給油取扱所	第1種販売取扱所	第2種販売取扱所	移送取扱所		特定移送取扱所	一般取扱所	
合計		3,987	133	3,146	366	1,624	311	60	139	14	828	306	115	708	193	4	0	59	0	452	656	
数量別	5倍以下	510	7	427	102	92	0	24	60	14	114	5	21	76	5	1	0	0	0	0	70	
	5倍を越え10倍以下	409	17	289	62	105	0	8	27		50	2	37	103	22	2	0	0	0	0	79	
	10倍～50倍 "	986	17	770	87	427	0	28	35		151	23	42	199	84	1	0	2	0	0	112	
	50倍～100倍 "	601	15	510	25	158	0	0	7		314	95	6	76	10	0	0	0	0	0	66	
	100倍～150倍 "	351	6	324	35	126	0	0	4		159	153	0	21	6	0	0	2	0	0	13	
	150倍～200倍 "	107	4	81	13	55	2	0	2		4	4	7	22	12	0	0	2	0	0	8	
	200倍～1,000倍 "	525	34	371	25	304	57	0	4		36	24	2	120	53	0	0	7	0	0	60	
	1,000倍～5,000倍 "	222	19	168	11	157	68	0	0		0	0	0	35	1	0	0	10	0	0	24	
	5,000倍～10,000倍 "	68	2	57	3	54	48	0	0		0	0	0	9	0	0	0	2	0	0	7	
10,000倍を越えるもの	208	12	149	3	146	136	0	0		0	0	0	47	0	0	0	34	0	0	13		
類別	単	第1類	5		3	3	0	0	0		0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2	
		第2類	22	1	18	7	11	0	0	0		0	0	0	3	0	0	0	1	0	0	2
		第3類	46	5	33	4	29	0	0	0		0	0	0	8	0	0	0	0	0	0	8
	独	第4類	3,709	105	2,965	301	1,553	309	60	139	14	784	278	114	639	193	2	0	54	0	0	390
		第5類	13		12	9	3	0	0	0		0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
		第6類	49		46	1	28	2	0	0		17	5	0	3	0	0	0	1	0	0	2
		混在	143	22	69	41	0	0	0	0		27	23	1	52	0	2	0	3	0	0	47

地区別危険物施設設置状況

令和4年4月1日現在

地区別	区分	合計	製造所	貯蔵所								取扱所				
				小計	屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	小計	給油取扱所	販売取扱所	移送取扱所	一般取扱所
合計		3,987	133	3,146	366	1,624	60	139	14	828	115	708	193	4	59	452
中消防署管内	小計	786	24	605	51	240	37	57	7	187	26	157	57	1	14	85
	共同	8	0	4	0	0	1	3	0	0	0	4	2	1	0	1
	同和	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	中央	13	0	11	4	0	0	1	0	6	0	2	1	0	0	1
	港	266	6	224	16	108	2	8	0	77	13	36	7	0	2	27
	浜田	122	3	103	6	3	2	14	1	72	5	16	11	0	0	5
	橋北	170	10	128	5	113	0	1	0	5	4	32	4	0	12	16
	海蔵	20	0	15	1	0	1	2	0	11	0	5	4	0	0	1
	常磐	13	0	8	3	0	0	5	0	0	0	5	2	0	0	3
	川島	4	0	1	0	1	0	0	0	0	0	3	3	0	0	0
	神前	14	0	9	3	0	0	3	0	0	3	5	4	0	0	1
	桜	17	1	12	3	0	0	5	2	2	0	4	3	0	0	1
県	35	0	22	3	9	1	4	1	4	0	13	6	0	0	7	
三重	104	4	68	7	6	30	11	3	10	1	32	10	0	0	22	
北消防署管内	小計	1,208	48	951	109	442	14	41	5	290	50	209	64	0	16	129
	羽津	533	34	403	42	271	1	6	0	68	15	96	8	0	15	73
	富田	42	0	36	5	0	3	6	2	16	4	6	6	0	0	0
	富洲原	56	2	46	9	2	2	1	0	24	8	8	7	0	0	1
	大矢知	32	0	21	14	1	0	4	0	2	0	11	3	0	0	8
	八郷	19	0	13	4	0	3	1	1	4	0	6	5	0	0	1
	下野	9	0	7	3	1	0	1	1	1	0	2	1	0	0	1
	保々	24	1	15	7	4	0	1	0	1	2	8	4	0	0	4
	朝日町	50	0	38	7	12	2	0	1	12	4	12	6	0	0	6
	川越町	443	11	372	18	151	3	21	0	162	17	60	24	0	1	35
南消防署管内	小計	1,993	61	1,590	206	942	9	41	2	351	39	342	72	3	29	238
	塩浜	845	30	681	62	462	4	10	0	130	13	134	13	0	25	96
	日永	360	13	279	42	183	1	12	1	30	10	68	13	2	1	52
	四郷	9	0	4	1	2	0	0	0	1	0	5	3	0	0	2
	内都	77	1	55	6	6	0	4	0	39	0	21	13	0	0	8
	河原田	386	11	312	59	208	2	1	0	33	9	63	10	1	2	50
	小山田	76	2	53	5	21	1	4	1	20	1	21	10	0	0	11
	水沢	16	0	12	2	7	0	3	0	0	0	4	4	0	0	0
楠	224	4	194	29	53	1	7	0	98	6	26	6	0	1	19	

事業所等別危険物施設状況

令和4年4月1日現在

施設	区分	合計	コンビナート				その他
			小計	第1コンビナート	第2コンビナート	第3コンビナート	
合計		3,987	1,932	1,212	318	402	2,055
製造所		133	98	49	16	33	35
貯蔵所	小計	3,146	1,502	959	252	291	1,644
	屋内貯蔵所	366	153	110	15	28	213
	屋外タンク貯蔵所	1,624	1,290	817	220	253	334
	屋内タンク貯蔵所	60	2	2	0	0	58
	地下タンク貯蔵所	139	7	4	3	0	132
	簡易タンク貯蔵所	14	0	0	0	0	14
	移動タンク貯蔵所	828	1	0	1	0	827
	屋外貯蔵所	115	49	26	13	10	66
取扱所	小計	708	332	204	50	78	376
	給油取扱所（営業用）	73	0	0	0	0	73
	給油取扱所（自家用）	120	2	2	0	0	118
	販売取扱所	4	0	0	0	0	4
	移送取扱所	59	58	29	14	15	1
	一般取扱所	452	272	173	36	63	180

コンビナート概要

事業所数

(令和4年4月1日現在)

事業所種別	第1コンビナート	第2コンビナート	第3コンビナート	コンビナート全体
第1種事業所	6	3	7	34
第2種事業所	12	2	4	
合計	18	5	11	

石油等の貯蔵取扱量及び高圧ガス処理量

石油等区分	第1コンビナート	第2コンビナート	第3コンビナート	コンビナート全体
石油貯蔵量 (kl)	3,275,900	1,410,099	188,716	4,874,715
石油取扱量 (kl)	886,003	1,001,299	71,847	1,959,149
石油合計量 (kl)	4,161,903	2,411,398	260,563	6,833,864
高圧ガス処理量 (Nm ³)	288,258,946	91,004,547	215,814,714	595,078,207

特定防災施設

消火用屋外給水施設設置状況

種別	消火栓単独施設	貯水槽単独施設	合計
設置事業所数			
27	27	0	27

流出油等防止堤設置状況

事業所数 及び ブロック数	対象タンク 数及び 合計容量	ブロックの 最大収容 容量	収容タンク 数	収容タンク の総容量	法定堤 内容量	堤内容量	堤の総延長
3社 10ブロック	96基 4,091,512 kl	232,210 kl	243 基	4,636,082 kl	702,195 kl	917,192 kl	15.34 km

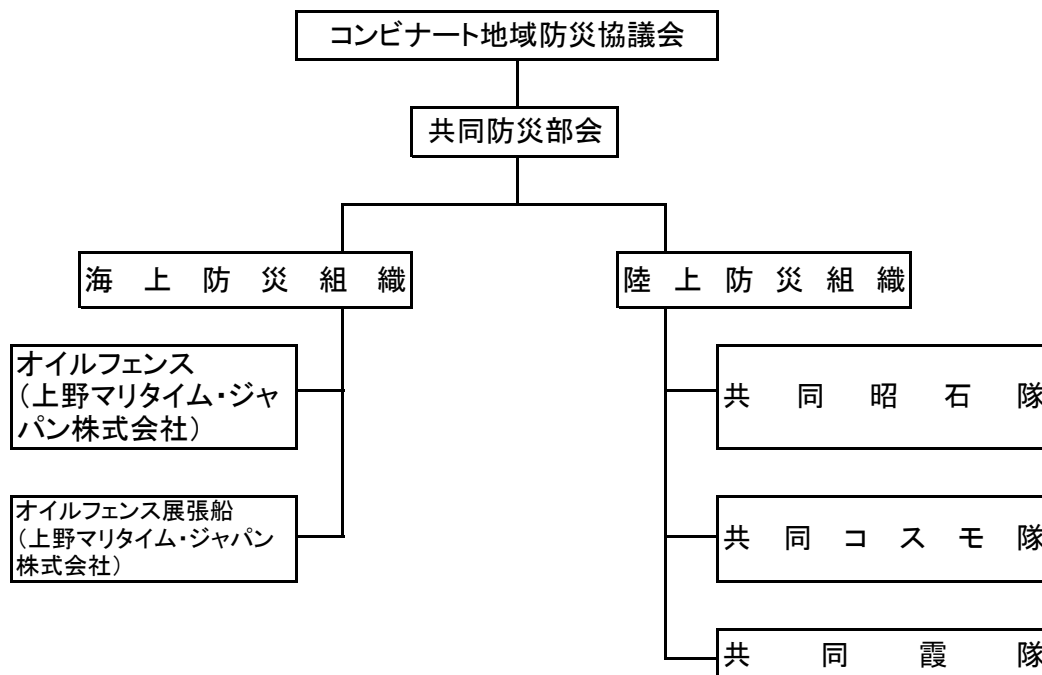
非常通報設備(MCA無線機)導入状況

区分	導入事業所数	導入台数
第1種事業所	14	19
第2種事業所	16	21
合計	30	40

コンビナート防災体制

(共同防災体制)

(令和4年4月1日現在)



(1) 海上防災組織防災隊員(計)

総 数	8人
船舶乗組員	4人
その他の防災要員	4人

(2) 防災資機材(計)

オイルフェンス:	B型 2,160m
オイルフェンス展張船:	1隻

(1) 陸上防災組織防災隊員(計)

総 数	56人
指揮者・機関員	27人
その他の防災要員	29人

(2) 防災資機材(計)

2 点 セ ッ ト	3セット
泡 消 火 薬 剤	36.56kℓ

(自衛消防体制)

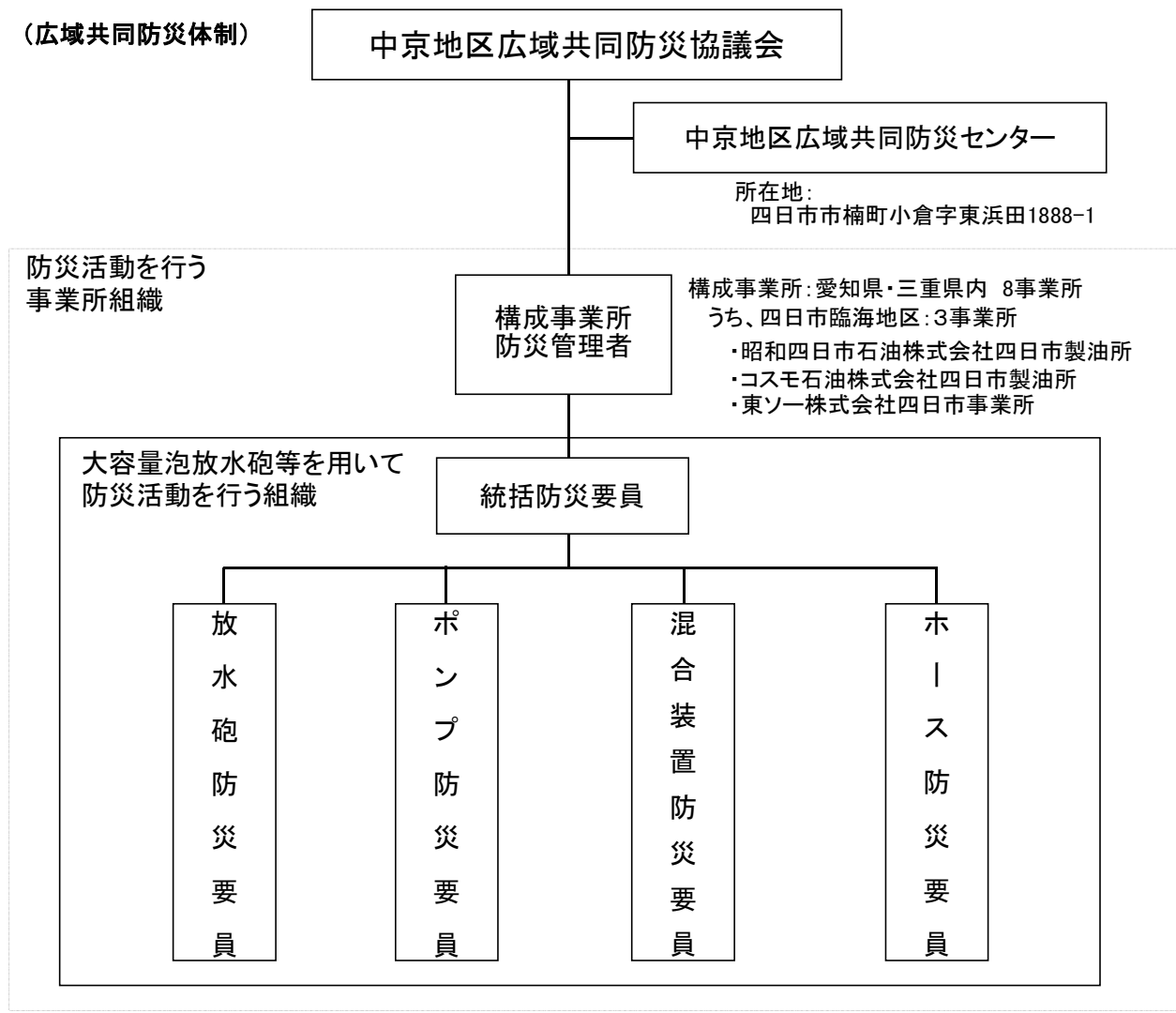
(1) 防災隊員(計)

総 数	1,219人
専 任	290人
兼 任	929人

(2) 防災資機材(計)

オイルフェンス展張船	:	2隻
油回収船・油回収装置付	:	3隻
オイルフェンス	:	11,020m
泡消火薬剤	:	287kℓ
大型化学消防車	:	1台
大型高所放水車	:	0台
泡原液搬送車	:	1台
大型化学高所放水車	:	2台
甲種普通化学消防車	:	8台
その他消防車	:	2台

(広域共同防災体制)



防災資機材の備付状況

項 目	数 量	要 目	備 付 場 所
放水砲	2砲	ノンアスピレート型 10,000~30,000L/min 可変ノズル2基	中京地区広域 共同防災センター
水中ポンプ	2ユニット	水中ポンプ(4台/1ユニット) 公称能力30,000L/min(1ユニット)	
加圧ポンプ	4台 (1系統2台)	公称能力30,000L/min/台	
ホース	3510m	12B・リール式 計26セット 150m×18セット、100m×5セット 50m×3セット(20m未満のホース含む)	
耐熱服	4着	KA-2000 東消型フードエプロンタイプ 呼吸器内蔵型	
空気呼吸器	4個	A1F(CX)-815FZ ゲージ内蔵型	
泡消火薬剤	74kl	メガフォームCV-1 (AR-AFFF 1%型)	
消火薬剤用 仮設タンク	2個	ET-20 20KL	

四日市臨海地区特定事業所配置図

令和4年4月1日現在



四日市臨海地区特定事業所

	番号	種別	事業所名
第1コンビナート	1	第一種	三菱ケミカル(株)三重事業所 北大治田地区
	2	〃	株式会社 ENEOS マテリアル
	3	〃	三菱ケミカル(株)三重事業所 塩浜地区
	4	〃 (※)	コスモ石油(株)塩浜油槽所
	5	〃	昭和四日市石油(株)四日市製油所
	6	〃 (※)	三菱マテリアル(株)四日市工場
	7	第二種	三菱ケミカル(株)三重事業所 川尻地区
	8	〃	三菱ケミカル(株)三重事業所 大治田地区
	9	〃	(株)ジェイエスピー四日市 第一工場
	10	〃	四日市合成(株)四日市工場
	11	〃	四日市合成(株)六呂見工場
	12	〃	東邦化学工業(株)四日市工場
	13	〃	味の素(株)東海事業所
	14	〃	三菱瓦斯化学(株)四日市工場
	15	〃	日本トランスシティ(株)東邦町タンクヤード
	16	〃	中部海運(株)東邦町タンクヤード
	17	〃	石原産業(株)四日市工場
	18	〃	ライオン・スペシャリティ・ケミカルズ(株)四日市工場
第2コンビナート	19	第一種	コスモ石油(株)四日市製油所
	20	〃 (※)	コスモ石油(株)第1陸上出荷場
	21	〃	KH ネオケム(株)四日市工場 午起製造所
	22	第二種	(株)JERA 四日市火力発電所
	23	〃	第一工業製薬(株)四日市工場 千歳地区
第3コンビナート	24	第一種	KH ネオケム(株)四日市工場 霞ヶ浦製造所
	25	〃	東ソー(株)四日市事業所
	26	〃	丸善石油化学(株)四日市工場
	27	〃 (※)	四日市オキシトン(株)四日市工場
	28	〃	四日市エルピージー基地(株)霞事業所
	29	〃	日本ポリプロ(株)四日市工場
	30	〃 (※)	DIC(株)四日市工場
	31	第二種	(株)JERA 四日市 LNG センター
	32	〃	東邦ガス(株)四日市工場
	33	〃	コスモ石油(株)四日市霞発電所
	34	〃	第一工業製薬(株)四日市工場 霞地区

注) (※) はレイアウト対象外事業所を示す。

消 防 団

四 日 市 市 消 防 団 の 沿 革

江戸時代	各村に火の番所が設けられ、五人組という自治制度のもとに防火、消防活動が行われていた。また、江戸や城下町には町火消が組織されていた
明治19年	四日市に初めて火防組が組織される 消防夫59人
明治20年	火防組12組消防夫864 人となる
明治24年	火防組が消防組と改名される
明治25年	消防組23組消防夫1,309 人となる
明治27年 2月	勅令をもって消防規制が公布される 消防組規制により、消防組の全国的な統一が行われる
明治28年 12月26日	各町自警消防組を統一し、新たに四日市消防組として発足 四日市町消防組 第1番組川原町、末永、浜一色（橋北地区） 第2番組西町、久六町、比丘尻町、堅町 南町、北町、上新町（共同地区） 第3番組中町、境町、八幡町、中新町 四ツ谷新町、南新町、（同和地区） 第4番組浜町、北条町、下新町、新町（同盟地区） 第5番組蔵町、北納屋町、中納屋町 桶ノ町、袋町、高砂町、稲葉町、南納屋町（港地区） 第6番組浜田、赤堀（浜田地区） 配置人員 組頭1人 小頭6人 消防手193人 合計200人 配備器具 ポンプ6 大水桶12 小水桶64 梯子6 鷹口31 刺又6 釣13 斧6 大縄6 纏 6 旗6 高張提灯6 弓張提灯62 消口札6
明治30年	市政実施とともに四日市消防組も市に引き継がれる
大正6年 10月	第5番組（港地区）に初めてガソリンポンプを配置
大正12年 1月	全ての組にガソリンポンプを配置
大正15年	初めて自動車ポンプを購入し、組頭直属のもとに自動車隊が登場
昭和5年	市域の拡大に伴って第7番組（海蔵地区）第8番組（塩浜地区）が本市消防組に編入
昭和7年	本市上水道が完成し、消火栓355基を設置
昭和14年 1月	政府は準戦時体制から戦時体制に切り換えを強行し、警防団令を發布した
昭和14年 4月1日	昭和6年頃に結成され、防空活動を行っていた防護団と消防組を合体し、四日市警防団を設置した 警防団は消防組と同一区画の8分団とした 定員 622人（内本部消防部16人） 分団に警護、消防、救護の3部を置く 初代警防団長 九鬼紋七氏
昭和16年	本市が富田町等2町3村を併合
昭和16年 10月3日	富田、富洲原両町の警防団を合体し、四日市北警防団を結成 四日市北警防団は、本部を富田警察署に置く 6分団 定員 363人 自動車ポンプ2台 ガソリンポンプ4台 腕用ポンプ3台 羽津、常磐、日永の各村警防団は四日市警防団の第9.10.11分団として本市に引き継がれた
昭和17年 8月	四日市警防団第5分団（港地区）に海上部を設置
昭和18年 6月	海上部を四日市警防団海上分団とし、発動機船2、消防艇1、短艇4を装備した
昭和18年	四郷、内部両村が併合され四日市市には2警防団20分団になる
昭和22年 9月	新消防団令に基づき、四日市市消防団と四日市市北消防団が組織され再出発した 四日市市消防団 本部と7分団 725人編成 初代団長 九鬼紋十郎氏 四日市市北消防団 富田、富洲原地区を区域とする 6分団 225人編成 初代団長 大野正平氏
昭和23年 2月29日	消防組織法の施行により、四日市市消防団と四日市市北消防団を四日市市消防団として一本化した 初代消防団長 九鬼紋十郎氏

昭和24年 8月11日	2代目四日市市消防団長に大野正平氏就任
昭和26年 4月1日	四日市市消防団は消防団本部と橋北、港、中部、海蔵、塩浜、羽津、常磐、日永、四郷、内部、富田、富洲原、海上の13分団 四日市市消防団の定員 716名
昭和27年	四日市市消防団の定員 718名
昭和28年	四日市市消防団の定員 646名
昭和29年 3月	小山田村が合併され、小山田村消防団が四日市市消防団に編入
昭和29年 7月	市町村の合併により、河原田、神前、川島、桜、梶、三重、大矢知、八郷、下野の9分団が増加し、23分団 四日市市消防団の定員 1,156名
昭和32年	市町村の合併により、保々、水沢の2分団が増加し25分団とした
昭和35年	四日市市消防団の定員 1,258名とした
昭和39年	中部分団を廃止し、四日市市消防団の定員の見直しを実施24分団1,258名→427名
昭和53年 2月28日	大野正平氏消防団長を退任
昭和53年 3月1日	3代目消防団長に榊原孫七氏就任
昭和63年	海上分団に消防車両が配備され、全消防分団に消防車両が配備された
平成元年 1月31日	榊原孫七氏消防団長を退任
平成元年 2月1日	4代目消防団長に岩田忠兵衛氏就任
平成7年 3月3日	四日市市消防団・四日市市消防本部連名で、消防庁長官表彰を受章
平成9年 1月31日	岩田忠兵衛氏消防団長を退任
平成9年 2月1日	5代目消防団長に後藤正義氏就任
平成13年 7月31日	後藤正義氏消防団長を退任
平成13年 8月1日	6代目消防団長に堀善澄氏就任
平成17年 2月7日	四日市市と楠町の合併に伴い、四日市市消防団と四日市市楠消防団の2団制をとる
平成17年 9月1日	港分団を廃止し、女性消防団員15名による「サルビア分団」を結成し、26分団とした
平成18年 2月24日	四日市市消防団が、消防庁長官から「消防団地域活動表彰」(団員確保功労)を受賞
平成22年 4月1日	四日市市消防団と四日市市楠消防団を四日市市消防団として一団化した 一団化に伴い、14分団で増員をするとともに機能別団員を採用し、定員を620名とした
平成22年 10月1日	7代目消防団長に稲垣貢氏就任
平成25年 8月1日	8代目消防団長に伊藤忠夫氏就任
令和2年 4月1日	北楠分団、南楠分団の2分団を楠分団として一分団化し、25分団とした 警防部水防対応班を警防部大規模災害対応班として再編成した

歴代四日市市消防団長

代	氏名	在職期間
初	九鬼 紋十郎	昭和23年 9月29日 ~ 昭和24年 8月10日
2	大野 正平	昭和24年 8月11日 ~ 昭和53年 2月28日
3	榊原 孫七	昭和53年 3月1日 ~ 平成元年 1月31日
4	岩田 忠兵衛	平成元年 2月1日 ~ 平成9年 1月31日
5	後藤 正義	平成9年 2月1日 ~ 平成13年 7月31日
6	堀 善澄	平成13年 8月1日 ~ 平成22年 8月29日
7	稲垣 貢	平成22年10月1日 ~ 平成25年 7月31日
8	伊藤 忠夫	平成25年 8月1日 ~ 現在

歴代四日市市楠消防団長

代	氏名	在職期間
初	橋本 巳貴也	平成17年 2月7日 ~ 平成22年3月31日

消 防 団 員 の 配 置 状 況

(令和4年4月1日現在)

分 団	区 分	団員数							
		合 計	団 長	副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員
	合 計 (条例定数620)	543	1	4	25	25	51	101	336
	団 本 部	77	1	4			2	8	62
四 日 市 市 消 防 団	サルビア分団	11			1	1	1	2	6
	北 羽 津 分 団	21			1	1	2	4	13
	富 田 分 団	21			1	1	2	4	13
	富 洲 原 分 団	12			1	1	2	4	4
	ロ 大 矢 知 分 団	22			1	1	2	4	14
	八 郷 分 団	18			1	1	2	4	10
	ク 下 野 分 団	20			1	1	2	4	12
	保 々 分 団	21			1	1	2	4	13
	橋 北 分 団	13			1	1	2	3	6
	中 海 蔵 分 団	16			1	1	2	3	9
	海 上 分 団	16			1	1	2	3	9
	ブ 常 磐 分 団	20			1	1	2	4	12
	ロ 三 重 分 団	19			1	1	2	4	11
	神 前 分 団	22			1	1	2	4	14
	ク 川 島 分 団	18			1	1	2	4	10
	県 分 団	22			1	1	2	4	14
	桜 分 団	20			1	1	2	4	12
	南 塩 浜 分 団	17			1	1	2	3	10
日 永 分 団	19			1	1	2	4	11	
ブ 河 原 田 分 団	17			1	1	2	3	10	
内 部 分 団	19			1	1	2	4	11	
ロ 四 郷 分 団	18			1	1	2	4	10	
ッ 小 山 田 分 団	20			1	1	2	4	12	
ク 水 沢 分 団	22			1	1	2	4	14	
楠 分 団	22			1	1	2	4	14	

四 日 市 市 消 防 団 員 の 状 況

職業別消防団員数

(令和4年4月1日現在)

団員数 (人)	職業別	農業	建設業	製造業	電気	運輸	卸売	金融	サービス業	公務	その他
		林業			ガス	通信業	小売業	保険業	不動産業		
543		26	60	177	熱供給	水道業	飲食業	7	55	24	81

消防団員の年令別状況

平均年令 48才

(令和4年4月1日現在)

階級	区分 総数	18~20才	21~25才	26~30才	31~35才	36~40才	41~45才	46~50才	51~55才	56才以上
		543	13	19	15	35	50	62	101	90
団長	1									1
副団長	4									4
分団長	25						1	1	3	20
副分団長	25							3	5	17
部長	49						3	8	13	25
班長	94		1		1	4	9	21	30	28
団員	345	13	18	15	34	46	49	68	39	63

消防団員の在職年数状況

平均勤続年数 14年

(令和4年4月1日現在)

階級	区分 総数	5年未満	5年以上 ~ 10年未満	10年以上 ~ 15年未満	15年以上 ~ 20年未満	20年以上 ~ 25年未満	25年以上 ~ 30年未満	30年以上
		543	99	98	113	68	50	53

消防団員出動状況

(令和3年度)

月別		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
計	回数	135	109	200	146	85	65	105	231	257	124	96	215
	人員	748	665	1,196	1,212	650	503	673	1,462	1,383	972	729	1,284
災害出動	回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	人員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11
災害出動 (4時間未満)	回数	20	20	15	6	13	12	6	19	9	10	30	27
	人員	114	123	108	58	72	82	40	109	61	66	163	168
警 戒	回数	0	0	0	0	1	0	0	0	83	8	0	2
	人員	0	0	0	0	12	0	0	0	556	44	0	17
訓 練	回数	27	27	87	76	22	11	40	44	37	48	19	32
	人員	190	188	631	751	166	93	288	394	244	499	192	273
広 報 活 動	回数	0	0	1	0	2	0	1	70	2	5	7	68
	人員	0	0	2	0	9	0	6	444	13	25	54	405
警 防 調 査	回数	7	9	7	6	10	8	6	9	8	5	5	8
	人員	78	71	76	55	103	80	70	101	87	48	52	90
会 議	回数	44	12	27	8	6	0	24	9	45	1	1	41
	人員	61	22	33	24	19	0	42	23	56	10	9	59
研 修	回数	6	9	10	1	0	0	2	12	10	3	5	8
	人員	27	19	24	1	0	0	2	23	43	11	17	24
消 防 用 件	回数	0	7	26	19	1	1	1	44	34	18	4	5
	人員	0	25	93	57	1	1	5	151	72	38	26	9
ポ ン プ 点 検	回数	31	25	27	30	30	33	25	24	29	26	25	23
	人員	278	217	229	266	268	247	220	217	251	231	216	228

消防団訓練・研修実施状況

種 別	実 施 機 関	期 間	参加人員
分団長研修	消 防 本 部	中止	-
警防・機関リーダー研修	各 消 防 署	5月～3月	70名
普 通 科	三重県消防学校	6月26日～10月27日(2日間)	1名(四郷分団員)
分団指揮課程	三重県消防学校	10月23日～10月24日(2日間)	1名(保々分団員)
幹部科現場指揮課程	三重県消防学校	10月30日～10月31日(2日間)	1名(橋北分団員)
応 急 手 当 指 導 員	各 消 防 署	5月、11月	12名
消防団員1日教育研修	三重県消防学校	1月23日、30日	5分団 8名
防 災 訓 練	四 日 市 市	中止	-
規 律 訓 練	各 消 防 署	11月中	63名
春・秋の火災予防運動. 訓練	各 消 防 署	11月9日～11月15日	417名
		3月1日～3月7日	401名
文 化 財 防 火 デ ー	各 消 防 署	1月中	11名
			合 計 818名

サルビア分団活動状況

四日市市消防団の女性消防分団（以下 サルビア分団）は、平成17年9月に、消防団の活性化対策の一助とするために結成されました。

主に火災予防啓発活動を行っており、具体的には、幼児を対象として行う大型紙芝居や小・中学生を対象として防火教室、防災教室、応急手当普及講習などの訓練指導を中心に活動しています。男性の団員とは違い、災害出動はしませんが、女性ならではの、きめ細かでソフトな対応能力を活用し創意工夫をしながら減災活動に取り組んでいます。

サルビア分団年間活動状況	令和3年度（回／年）
予防広報（大型紙芝居を含む）	7回

消防団防災支援者の登録状況

「災害」への備えとしては、被害の発生を防ぐ「もの」の備えと、被害は出てもその拡大を防ぐ「ひと」・「こと」の備えが必要であるといわれています。特に大規模災害が発生した場合には、地域における消火・救助・避難誘導等の防災活動が被害の拡大を食い止めるために重要になってきます。

そのため、四日市市として安全で安心して暮らせるまちづくりの推進事業の一環として、四日市市消防団から退職されました団員の消火技術や防災の知識・技術・経験を活かし、消防分団及び自主防災隊が行う消防・防災活動をボランティアで支援する四日市市消防団防災支援者制度を創設したものです。

登録状況

令和4年4月1日現在 128名